# 令和元年度防衛省行政事業レビューの点検結果等について

行政改革推進本部事務局の指示に基づき、所掌の事業に係る予算の執行状況等について、 他省庁と同様に、事業の無駄の削減及び効率性等の観点から検証し、事業内容の見直しを行い、その結果を概算要求等に反映。

点検結果については、行政事業レビューシート等により防衛省ホームページにおいて掲載を行う。

## 1 令和元年度行政事業レビューの点検結果について

点検対象344事業、うち75事業(公開プロセス対象3事業を含む)については、外部 有識者による点検を併せて実施。点検結果は以下の通り。

① 現状通り 69事業

② 事業内容の一部改善 231事業 (うち公開プロセス 2事業)

③ 事業全体の抜本的な改善 1事業(うち公開プロセス 1事業)

④ 廃止 0事業

⑤ 平成30年度事業終了又は

令和 元年度事業終了予定 43事業

合計 344事業

# 2 令和2年度概算要求への反映状況等について

上記の点検結果、令和2年度概算要求において、<u>約▲35億円</u>(歳出ベース)を縮減した ほか、次期契約に向け一者応札の改善など執行等に係る改善を指摘。

- (1) 縮減事例(令和2年度概算要求への反映状況)
  - ①執行状況(予算と執行のかい離等)を踏まえて改善の余地があるもの。
    - ○主機等(艦艇の動力)オーバーホール(2)要求額 約95億円)
    - ⇒対象機材を(仕様内容・数量)精査することにより **約**▲10億円
  - ②単位当たりコストに改善の余地があるもの。
    - ○部隊等における教育・訓練に要する経費(2)要求額 約612億円)
    - ⇒執行状況や市場価格を踏まえ、積算の見直しを行った 約▲3億円
  - ③公開プロセスにおいて指摘があり、引き続き改善を図っているもの(過年度分含む)。
    - ○騒音防止事業(一般防音)(2)要求額 約87億円)
    - ⇒これまでの<u>コスト削減に対する取組事例</u>をまとめた「騒音防止事業に係る経済性を 考慮した計画・工法集」を各地方防衛局において<u>地方公共団体等へ周知し、事例を採</u> 用したことによるコスト削減効果 **約**▲ **7**億円

#### (2) 執行等改善に係る指摘の事例

- 競争性の確保が不十分(参入障壁の検証不足)
- ⇒ 業態調査、不参加企業へのアンケート調査による参入障壁の分析を指摘。
- ⇒ アンケート結果による制限事項の改善(仕様書の見直し等)を指摘。 等
- 高落札率が継続しており、価格交渉の余地がある。
- ⇒ 詳細な見積内訳を入手し、数量、単価の妥当性検証を指摘。
- ⇒ 習熟効果等を考慮した価格交渉を指摘。 等
- 他の事業でも同様の器材の購入があり、まとめ買いの余地がある。
- ⇒ 他の事業とまとめて調達することにより、スケールメリットを生かした調達を指摘。
- ・ 装備品の修理事業において、修理間隔の検証を確認できないもの。
- ⇒ 修理間隔の延伸の検討を指摘。

執行機関は改善に取り組み、次期契約等に反映。反映結果については、次年度の レビューシートにおいて確認。

#### 3 公開プロセス案件の対応状況

○ 基地防空用SAM

(主なコメント及び対応の方向性)

- ・経済性の追求(競争性の確保・コスト低減の追求)に係る指摘を受け
- ⇒ 官民意見交換会を通じて競争性の確保に努めつつ、車両部分については海外発注の余地を検証していく。 併せて、各自衛隊間の共通品の共同調達を引き続き推進していく。
- 〇 民間海上輸送力活用に係わるPFI事業

(主なコメント及び対応の方向性)

- ・次期契約に向けて、経済性・有効性を高めたスキームの検討に係る指摘を受け
- ⇒ 業態調査を通じて複数社の参入を目指し、また、応札グループ会社にヒアリングを行い適正な契約期間や仕様の精査を 行う。
  - ・待機時の船舶の有効活用に係る指摘を受け
- ⇒ より民間収益事業が充実するように官側からも活用方法について提案し有効性を高めていく。
- 騒音防止事業 (一般防音)

(主なコメント及び対応の方向性)

- ・自治体(補助対象)へ競争契約の促進等の指導に係る指摘を受け
- ⇒ 地方自治体等の契約方法を確認する項目を盛り込んだチェックシートを作成し、地方自治体等の競争契約の促進等、効果的な改善策の指導に努める。

#### 防衛省

### 平成31年度行政事業レビュー事業単位整理表兼点検結果の平成32年度予算概算要求への反映状況間表

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替:	えることと	tā.				平成る	干及行政争	栗レビュー事業単位整埋表素点を	<b>関和米の平</b>	・成32年	及了异保	异安水′	>の反映仏沈嗣衣									(単位:百万円)
事業 事業名	事業開始 年度		30年度	平成30年 執行		外部有識者の所見		行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き		反映状況	備考	担当部局庁	会計区分	項·事項			平成30年度レビューシ	一卜番号	外部有識者点検対象 (公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 調査 基等
施策名:1-(1)周辺海空域における安全確保	半度	(予定)年度 補止	後予算額	可能額	執行額		評価結果	所見の概要	A	В	B-A=C	反映額	反映內容						1つ目	2つ目	3つ目	※対象となる場合、埋 調査 董等 由を記載
001 弊業(海上自衛隊)	\$40	終了予定なし	20, 094	19, 801	19, 641	外部有識者の点検対象外である。		・ 一般接手や必要などによる接手は接接に努めてるとのことだ。 一部が見まず一番が高、密われる(素)でカンス原産場となっているものがある。単本の特性上、接手性が増きづかると思われるものについては、透明性と確保したうえで、数据的の接手はあるのではない、随便契約とすることも検討し、現地なの接手は、可能なの表示とないない。 関係を原し、カン、東なる音楽は、原理な原見をより指数な楽器もり指数な楽器も、カン、東なる音楽的の支流性のようなない。	69,596	54, 323	▲15, 272	-	競争性による極熱の妥当性を裏めることが困難であると思 われるものについては、恐怖性を確保したうえて随意契約 も行等改善 もすることを検討し、可能に関い詳細な多種もり内容を入 手に、コスト組成の地を検証することにより更なる価格 の妥当性向上に努める。	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器専高等整備費 (大等項) 武器専用等の購入に必要な経費	防衛省	- 0001 - 00			平成28年查对象
002 主機等オーバーホール	НЗ	終了予定なし	-	6, 985		・平成効率度において執行率の極下があられるが、 その裏別が相を行い、その効果をレビューシートに 配載することは、対抗の労争性について国の対象 解を得られるようにするとともに、適切な予算計上 及び予算執行があられたい。 ・極めて減い専門性を必要とするなど、やむを得ず 能差契約を行われてはなるない場合には、音楽的 業等を考慮した展産業や価格炎が挙による価格面 での適正化に別ある必要がある。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	7, 021	9,526	2, 505	▲956	- 機関要求時に46台であった途出予算での登儀計画を 機関要求時に19台を国債での登儀計画へ先送りすること で、955.952千円を総滅した。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 既総登積費 (大事項) 艦船の登儀維持に必要な経費	防衛省	- 0003 - 00			その他
003 ソーナー用ラバーウィンドウの登書	H4	終了予定なし	8, 496	1, 511	1, 021	外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度 (30年度、589) や予算額を起謝している年度があり、指節の子質の力と、特別の必要の参加がある。 ・最後当たりコストをみると防害者のから変滅しているため、・現を当たりコストをみるよう。 また、これが、明年度は、日本の本の主なが、日本の本の主なが、日本の本の主なが、日本の本の主なが、日本の本の主ない。 また、それらの改組をレビューシートに記載し、より透明性を連集するをかられば、見類機を挙において更なら程度関係を追求するをかられば、見類機を挙において更なら程度関係を追求する。	933	586	▲347	-	年度内に改善を検 ・計画的な予算の計上・執行のため、2年度予算要求以降 改善を認る計画である。 ・価格の妥当性について分析を行う。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器専用等登機費 (大等項) 武器専用等の購入に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0005 - 00			平成29年度対象
004 機需評知機の整備等	H2	終了予定なし	847	847	1, 142	外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	- 毎年度、執行部が予算額を認過しており、計画的な予算の計上・執行の選等の参加があるためいては、超幸性の発展が計では、超幸性の発展が上では、極端の支援性の実施である。 ・ 他部の支援性の実施である。とは、自身性の表現性と連合した。 というない、選手の関連を表現しません。 このようない、対象に、重要を表現しません。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない。 このようない、大きない、大きない。 このようない、大きない、このようない。 このようない、このようない。 このようない、このようない。 このようない、このようない。 このようない、このようない、このようない。 このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない。 このようない、このようない、このようない、このようない、このようない。 このようない、このようない。このようない、このようない、このようない、このようない、このようない。このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このようない、このない、このない、このない、このない、このない、このない、このない、この	696	1, 332	637	-	年度内に改善を検 ・計画的な予算の計上・執行のため、2年度予算要求以降 計 計 ・価格の妥当性について分析を行う。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器専用等登機費</li><li>(次事項) 武器専用等の登機維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0006 - 00			平成27年度対象
005 製造中止部品対策 (水中武器の部)	H21	終了予定なし	538	538	704	外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・1 者の大は超軍事種が高端傾向となることから、競争性を高 めためのユネケの発酵表生、出たり、返回の発酵機をかっていまった。 するだけでなく、野難な内部を入手し、コスト接近の地がないかを担し、繊維の学事において変るコスト接近のあ地がないかを担し、繊維をリコストをみると「防衛者のかて開走しているため、コストが実化を要しまるが、他様の受害性だっないて分析し、適正領等をしているでは、受る機能を対しているというでは、要は機能を対しているというでは、一般では、要は他を対して変るを機能が高された。 と述るようによった。	320	51	<b>▲</b> 270	-	・競争性を高めるためのエ夫し、今後更に詳細な内限を入 手する。また、コストは重め合地がないり実表と個性だが 計 は、当党別の場合を分析及び適性価格を追及し、よ り透明性の確保に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器車両等登機費 (大事項) 武器車両等の整機維持に必要な軽費</li></ul>	防衛省	- 0007 - 00			平成29年後対象
006 イージス戦闘システムに関わる国内登債部勢 の整備	н	終了予定なし	930	930		・事業所管制所による直接、改善を参照すると、作 事業所管制所による工程監護を図るなど、予算制 等の場合に実施っていることは認められる。 別を構 方の効率化に努めていることは認められる。 別を構 所で、効率的な予算制行、予算要求に努められた。 同名と機に対して「公職」とよび無効の制作を い、その秘集から複数を他の場合は、部名人利にて がおよって、(制度と対して)をは、上級のは がなしている。」となっているが、上級等に一巻し かな場所なく(制度と対して)をよったが。、公事 を実施してんどあり、となっていることから、公事 学業化してんな事が概念されることがあ、公事 で構成している。これは、透明 では、また、と、では、単純を一切である。 とは、その数率のである。 とは、これないか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	802	828	26	-	本事業は性質上、競争性の中で振得の呆点性を得ることは 国際であるため、原産職者や個別の影響により登略の設定 転行等改善 に努める。また、信格の適正化に努めた契約実践等を今後 の予事要求に反映させる。	-	防電装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器事高等整備費 (大事項) 武器専高等の整備維持に必要な経費</li></ul>	訪衝省	- 0008 - 00			その他
007 機雷処分員等の整備等	H12	終了予定なし	849	849		・自己点様において、部品のまとめ買い、交換部品 の智能性を基本ことによるコスト無難場力、またか の智能性を基本ことによるコスト無難場力、またか として、一般など、反応者を整や下昇力は認められるが、公益を受 しても、一般な力な反映性を求めるのではな と、反応者を整や下昇力は認められるが、公益を受 と、対力に同様としたが、 と、対力に同様としたが、 と、対力に同様としたが、 を経費の位置をはかったほうがよいのではないか。 さらにレビューントでは、「様子子をし」に なっているが、現本機能を体のオーバーホール・ス ケジュールは、中美機的に明らかにできないのか。	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	745	1,534	788	-	年度内に改善を検・経算を任遂する対策を検討する。 ・接痛無能の影響(関わる事業については、適宜本シート 対 に追加する計画である。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等登機費 (次等項) 武器車両等の登機維持に必要な軽費	防衛省	- 0009 - 00			その他
008 MK 4 6 魚雷等の定期検査	Н7	終了予定なし	2, 647	2, 647	2, 365	・様か 下高い場門性を必要とするがと、やりちます。 機能を開発を行うなければならない場合には、直接効果等を考慮した原産者を中極地変等による機能 乗等を考慮した原産者を中極地変等による機能 での適差に化労働・一部部品の外表化や殴り外した。 で現場を可以降・一部部品の外表化や殴り外した。 便できる。引き続きこれら発掘を進められたい。	朝 前 現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	2,583	2, 583	▲92	定期映査の延伸、一部部品の片道化や取り外した部品の配 用なくを関リ、92(1)千円のコスト組織を指った。 見か数単等に基づえ、冒熱を加えなる単語を等の指析直正 位に努力でした。 5 域を、連絡の低減に努力で、	1	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等型機費 (文本項) 武器等高等の型機維持に必要な経費	防衛省	- 0010 - 00			その他
009 急雷の棒理等	\$36	終了予定なし	385	385	313	水部有漢者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 有事や目をかめ実践を報意したうえての推議を改成情報。 ・ 有事を開発のの実践を報道した。 ・ 有事を開発のできませる。 ・ 日本の理解の変更となる。 ・ 日本の理解の変更となる。 ・ 日本の理解となる。 ・ 日本の主ないなど、 ・ 日本の主ないないなど、 ・ 日本の主ないなど、 ・ 日本の主ないなど、 ・ 日本の主ないなど、 ・ 日本の主ないなど、 ・ 日本の主ないなど、 ・ 日本の主	238	282	44	▲32	在連や将来の必要数を勘案したうえでの修理数量の精素を 行った無象。22 [77千円のコストの組織を行った。 まつれ は が 14 (14 ) では はか。一名の裏の形式になっざるを得ないことから契約方 式の裏し事を回り、支出を選定の妥当性について国民の 理解を得られるように努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器専済等整備費 (大等項) 武器専済等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0012 - 00			平成27年度対象
010 魚雷登塘用消耗品	\$37	終了予定なし	761	761	740	外部有漢者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・必要な部材等の一抵調達などの更なるコスト組織方実についても動物し、適切の予算要素、操作に対められたい(似に関いても無力と、上では、一般によったいとしてレーン・ルンストンと対象や性を確保し、対象で調達を行っていることからませたの選択とあるを必要とのことであるが、一者なるの状況をしている。というには必要がよったことによったという。一般なるの状況を行っている。というに記憶することにより、実施大温度の表達性について国民の措施を得られるようにすべき。	-	-	-	-	適切な予算要求、執行を実施する取り組みとして、定額交 機関側の延伸等を行っている。また、公室による競争性の 執例であないもなど、事業の特性から一番な事が改正しな を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器専両等登橋駅 (大等項) 武器専両等の登儀維持に必要な経費	防衛省	- 0013 - 00			平成27年後対象
011 不用弾薬の外注処分	Н7	終了予定なし	362	362	380	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き、契約実績の分析及びコスト総滅方策の検討等を不 断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要 求、予算執行に努められたい。	357	-	▲357	-	製約実績を予算要求に反映しコスト総減に努めている。引 続き、効率的な予算要求、予算執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0014 - 00			平成29年度对象
012	H7	終了予定なし	779	779	763	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	※、ア典級打に対のられたい。 ・随意契約にあたっては、原価精査や価格交渉による価格面での適正化を追求されたい。また、引き続き、契約実績の分析及びコスト総減方策の検討等を不断に実施し、効率的な子算要	785	814	29	-	年度内に改善を検 に、現態構造等を行い、価格面での適正化を追求するととも に 現態機能の分解及びコスト経過が真の検討を行い、効 率的な予算変素・予算執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な軽費	防衛省	- 0015 - 00			平成27年度対象
彼の至端未務の氏向安託								びコスト総派万乗の検討等を不断に実施し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。					率的な予算要求・予算執行に努める。		部		(八争項) 原足像の至調程行に必要な整質					

※平月	ま31年以降の表記は、新元号に読み替				平成30年	年度	I		行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度	平成32年度	#7/A			反映状況							74	 (単位:百万円)
事業番号	事 業 名	事業開始年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度 補正後予算額	執行 可能額	執行額	外部有識者の所見	評価結果	所見の概要	当初予算額 A	要求額	差引き B-A=C	反映额		反映內容	请考	担当部局庁	会計区分	填·事項		1つ目	平成30年度レビュー 2つ目	 (公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 のを超える場合 由を記載 報告 基金
013	潜水艦の主畜電池の換装及び購入	H16	終了予定なし	6, 333	6, 333	6, 058	・自己直接おいて、インセンティブを適用しコストの削減を握っていることは認定できるが、国民が チェックすることが開業など、一トに記述的できるが、国民が ないことから「その地コストの開業や効率でに対して ないこから「その地コストの開業や効率でに対し ・資金の最大を参照すると、蓄電池の発表を指した ・方と、「最美知しているものののようと、「まました」 おらず、随業が削減である。「通常性を対しているものが、また、主意 電池の設金・地入についても、なが一者の基となし、 かる経験がの高い場合がイマミではない。また、主意 電池の設金・地入についても、なが一者の基となし、 かる経験の私、場合はから、技術水準の大手でも企業がからない。 にない場の背景を歴史が多ります。となかまた。 ない場の音をと発生するの差があるのではない か、更に、所来性料を選出て、海外製品が存在しない い、あるいはその音があるのではない のであればその首、記載する必要があのではない のであればその首、記載する必要があのではない のであればその首、記載する必要があのではない のであればその首、記載する必要があのではない のであればその首、記載する必要があのではない	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	5, 136	3,519	<b>▲</b> 1.616	<b>A</b> 33	総波	・インセンティブを適同したことによるコストの削減額 (22.50平円) を大変使予事取得額に収収した。 ・高電池の接受機所については、透明性を確保したうえでの契約方式の軽度の活でいては、透明を実施を参与するだけでなく、詳細な内閣を入手し、コスト性原の余地ないが検証し、循形交渉をおいて変らる、コスト性原立等があった。 た、透電電池の設定・結入についても、海外を含む他の企即によった。 から、一番が着となった理由について、下等の波 間に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 艦船階重費 (大事項) 艦船の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0016 - 00		 その他
014	潜水艦救難態勢の維持	H20	終了予定なし	44	44	41	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・次期契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれば、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることから契約方式の妥当性を触旋のうえ、価格面に注力した取組を推進し、価格の低減に努めてほしい。	95	306	210	-	年度内に改善を検討	<ul> <li>園近の実績準価を参考とするだけでなく、詳細な内訳を入 手し、コスト低減の余地がないか、価格面に注かした検証 を進め、価格交渉等において更なるコスト総減に努める。</li> </ul>	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 艦船整備費 (大事項) 艦船の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0017 - 00		 平成28年度対象
015	潜水艦潜舵の換装	H21	H33	-	-	-	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・次期契約に向けて、現在の教訓事項等を整理し、仕様に反検 するなど引き続き、経費節減に係る取組を推進してほしい。	-	-	-	-	現状通り	実績を踏まえた仕様の精査及び詳細な内訳を基にした価格 の精査を行い、経費節減に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 艦船整備費 (大事項) 艦船の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0018 - 00		 平成27年度対象
	概如修理費 (海自)	\$40	終了予定なし		80, 800	79, 186	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 事業の性質上、競争性を進めることが顕著と思われるものについては、競争性のより取得となってきるかと、対しているのであるかどうかを十分に検討し、やひを得ない場合には放式的な影争性を求めるよりは、延繋列かとっことも検討し、原版・別なる服力を構立し、原格な協議を必要がない場合となっている。 (19 日本の本語を検証し、原用に努められたい。)	71, 560	75, 708	4, 148	-	執行等改善	概念の維持機像及び特殊な効率装備品等の維持機能は極め て高い専門性を必要をすることから、随意契約としている ものもある。また、これらに関しては多くが十分形容 れたものであると考えられるが、引き機を指摘面での適正 化に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」 31,855	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 監船を連費 (大事項) 監船の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0019 - 00		 平成30年度対象
	施策名:1-(1)周辺海空域における安全確保、1 と類(誘導弾)	I-(2) 島しょ都に S39	終了予定なし	651	635	675	外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争人札、公募を実施しているものの、一者応札、一者 応募の状況が見受けられることから、実限分析のうえ、その理 由についてレビューシートにおいて説明に、事者を選定の安当 相について収扱の影響を与られるようにできるともになれるな 大のための場計を実施し、競争性の拡大に努かられたい。	289	757	468	-	執行等改善	誘導弾の計器校正に使用する計測器機であり、その特殊 性から一者な私や一者な暴の状況となっているが、応札者 基大の機計及び競争性の拡大に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器兼高等整備費 (大事項) 武器華南等の購入に必要な経費	防衛省	- 0020 - 00		 平成27年度対象
018	誘導強	H15	終了予定なし	27.097	27, 162	26, 805	外部有謀者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	、	45, 450	41, 834	▲3,617	-	執行等改善	1 1式返貨階地が登落等等 (協會) と基地位定用SAM (空會) のように共和された場所を要する認等等を 同一ロットで製造することによるコスト制減や、12式域対 開送等等の一個調整。(2年度及び2年度取得予定から 構造を26年度契約でまたの質い)によるスケールメリッ してよるスケールメリッ しては、12式を対しては、12式を いった。12式を 関係を 関係を の契約当日数によって大きく複雑が生じているが、選挙等 中、代表的交換等(の契約当日数の対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器等高等整備費 (大事項) 武器等高等の購入に必要な経費	防衛省	- 0021 - 00		 平成26年度対象
019	96式多目的誘導弾システム	НВ	終了予定なし	1, 851	1, 851	1, 851	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・現在は漢音弾の順連が柱であるところ、一括調連をするな ど、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討に努められたい。 ・継続業件においても、習熟効果等を考慮した原価査定におい てコスト低減を図る余地があるのではないか。	1, 230	-	<b>▲</b> 1, 230	-	執行等改善	該導弾の一括領連によるスケールメリットや冒熱効果 等、効率的な予算要求、予算執行が反映できるよう引き続 き検討を実施する。	-	防御装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器率両等整備費 (大事項) 武器率両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0022 - 00		 平成26年度対象
020	基·检防空用SAM	S56	終了予定なし	40	41	43	【コスト低減の取り組みについて】 ・機材の個人に当たり、入れ状況の低調が替くのご のおは、価格の受証を表に向けて、中来時免主菌 の力に、一体のではない。 コストを選ばいるを持ちをありてほしい。 また、全事の設立者について指令を支急 なっているか、検証することができないか。 ・毎日前に回いては当外発生も動の地がある ・名自信期間にある研究をいては、「執入会社 が関係のでないない。」 ・毎年間間のには一切に、「成外の会社 のでは、「大きないない」 ・延伸間側にある研究をは、「大きないない。」 「大きないないないないないない。」 「大きないないないないないないないないないないないないないないないない。」 は、一般によった。 「は、一般によった」といて、「大きないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	事業内容の一部改善	公園プロセスの国際、有調者からのコメントを踏まえて、適切 に対応されたい。	379	20, 886	20,507	-		「コスト経域の取り場所について」 ・ 低度な人民性が必要を関する。 ・ 長期の表していては、今後と ・ 長別時代に対する主意が表しまって接受可能を企業と終 ・ 長期の表している。 ・ 日別時代に対する主意が表しまって接受可能を必要を ・ 日別時代に対するという。 ・ 日別時代に対して、最初が関する人材の関連を ・ 日別時代について、最初が関する人材の関連会社とともにコ ・ 日間の場合としている。 ・ 日間のの場合としている。 ・ 日間ののは、 ・ 日間のは、 ・	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 都 整備計画局	一般会計	(項) 武器等高等型機能 (大事項) 武器等高等の理人に必要な賠責 (大事項) 武器等高等の登機維持に必要な経費	防衛省	- 0023 - 00		 その他
021	彈薬 (航空自集隊)	\$51	終了予定なし	14, 405	14, 808	14, 059	外部有調者の点検対象外である。		- 平成が学生、30年度の執行において、連載して機能があることから、計画において整備すべき等がの機能が進れているのではどの印象を持たれることから、事業所管拠限による技機があった。 一年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	3, 749	25, 367	21, 617	-	執行等改善	29年度及び30年度の締結は、ともに製造に必要な部村の確保が遅れたこと等による製造中の止むを確ない場面であった。これらは製造の整備による影響ないとは変えないものかに対定である。 それをしたして、適正な顕達リードタイムを検討することとしたして、適正な顕達リードタイムを検討することとしたして、適正な顕達リードタイムを検討することとしたした。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」703	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	<ul><li>(項) 武器等両等登録費</li><li>(大事項) 武器等両等の購入に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0024 - 00		 平成26年度対象
022	a-力(誘導武器装備品維持分 部品)	S48	終了予定なし	994	994	870	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっては、可能な限り詳細な見積内容を入手 し、コスト極減の余地を検証し、最格な原価査定や適切な価格 交渉により、更なる価格の妥当性向した労かられたい。 引き続き、契約実積の分析なフェスト組成方面の検討等を不 断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要 求、予算執行を努められたい。	-	-	-	-	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、会社見類 の精査、適切な原価査定などを実施し、引き続き価格の妥 当性向上に努める。また、故障状況のさらなる精査を行 い、予算実実施費での計画的な管理を行い、予算要求、予 算執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0025 - 00		 平成30年度対象
023	短SAM(C)地上器材の定期整備	H19	終了予定なし	1, 269	1, 269	1, 298	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・修理部所の基件について、3 さ続き、適正な整備時期を追求 対状であると同じ、このでは、5 の発揮のの影響として、接 対状であると記載して思しい。 また、海地観光電光海半年が機能してものであれば、関節効果等を踏 まえた。J海地観光電景型でおいてコスト低減を図る余地があ るのではないか、(無統)	662	680	17	-	執行等改善	報理院局の互称けついて、整備品の運用における完全性 等を考慮しつ、引き続き、選定の運輸的表を指す。 う別的の、また、調理監査第1により運搬した機構機を活っ う別的の、また、調理監査第1により運搬した機構機を活っ 用して、全社提出の見精整の機構が可能性における意との適正性を検討することで、より選正な場合の 実際に努力でいくまれて、整備機能とおける際に係る工 教授減などコスト機減の方質を引続き検討していく。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等登儀費 (大事項) 武器等高等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0026 - 00		 平成20年度対象
024	短SAM(誘導武器被構品維持分 部品)	\$57	終了予定なし	780	780	554	・事業の概要にあるとおり、本事業における疾患は 可能率の資料であると思料する。アウトカム、アウ ドウリトの記述に可能率を開催につる主義の成 ドウリトの記述に対象を有機につる主義の成 リカリーのでは、 ・子算器・執行解解の意立の終行者を参照すると、 ・子算器・執行解解の意立の終行者を参照すると、 便を影響して限入できるものであれば、探鏡を考め 便を動して限入できるものであれば、探鏡を考め ・事業の効率性に関して、「保護を持つさらが、 関内容等を指定、上側のなかであるととを把握した。」とのコメントがあるが、どうして過ぎであ た。」とのコメントがあるが、どうして過ぎである。 と判断できたのが関がなく、 労働性を直検でき ているのか子等である。	を ま 事業内容の一部改善	外都有業者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	執行等改善	外部有識者の所見を踏まえ、予算・執行影響院の情報発 有を控禁するともに、効率的な予算要求及び予算執い等 の、基本効率の対しがある。また。 で、実施内容のより評価をかれてを進起した。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等整備費 (大事項) 武器等周等の整備維持に必要な軽費	防衛省	- 0027 - 00		 その他
025	多目的誘導弾ジスドム地上器材の定期登機	H2O	終了予定なし	-	-	-	・支出売リストを参照すると、随意契約(公事)の 理量において、海原科単となっており、価格が加上 は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	事業内容の一部改善	外部有談者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	1,018	710	▲308	-	執行等改善	が終末職者の所見を補まえ、会社提出の見精章の価値の 実当性支援が募集機能における企業の適正性を認定すること でより確定を制度を関いますること でより確定であるできませる。 単性に関して、実施内容のより詳細な状況を追応した。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武嘉県高等を書費 (大事項) 武嘉県高等の登儀経済に必要な経費	訪衝省	- 0028 - 00		 その他
026	武器修理費 (陸自)	不明	終了予定なし	12, 090	12, 032	11, 543	外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17, 673	23, 296	5, 624	-	執行等改善	接導武器等製造素線会社に対して、製造影響、影力、応 性影用等を確認する等、応味器を整やすったの機能をす ので、製造の場合にはいて美国の者を予制を予算し、要 国分析に基づく改善集の機能に努みる。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武高県高等登倉費 (大事項) 武高県南等の登儀権持に必要な経費	防衛省	- 0029 - 00 防衛	新 新31 - 0002 - 00	 平成28年度対象

事 業 名	事業開始年度	する。 事業終了 (予定)年度 補証	成30年度 正後予算額	平成3 執行 可能額	O 年度 外部有識者の所見 執行額	評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き	反映額	反映状況	備考	担当部局庁	会計区分	項·華項			平成30年度レビューシート者			外部有識者点検対象 (公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 1	単位:百万円 委託 補助 調査 金等 基
27 弾薬整備等に関わる民間委託	\$43	終了予定なし	593	593	566 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・公事を実施しているものの、一者応募の状況が見受けれるこ とから、その要因について検証し、競争性が働く工夫を検討す るのか、競争性のなかで極熱の妥当性が図られる分野ではなけ	3, 199	B 447	B − A = C	<ul> <li>執行等改善</li> </ul>	本事業は、研業整備等の高度な技術を必要とするものでまり、競争性の中で価格の妥当性を図ることは困難であるが り、原価精査や価格交渉等により価格の経滅に努める。ま	-	防衛装備庁 プロジェクト管理	一般会計	(項)武器車両等整備費 (大事項)武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0030 - 00	2つ目	32目	3つを超える場合	平成29年度対象	
200万数機構製のであり、ことが (40.1 株理							れば契約方式を見直し、原価精査や価格交渉等による価格面で の適正化に努めることにより注力すべきではないか。 ・公募を実施しているものの、一者心募事状況が見受けれるこ とから、その英国について検証し、競争性が働く工夫を検討す					た、価格の適正化に努めた契約実績等を今後の予算要求に 反映させる。 本事業は、研業整備等の高度な技術を必要とするものであ り、競争性の中で価格の妥当性を図ることは困難であるだ	ħ.	防衛装備庁									+
78	H20	終了予定なし	260	260	250 外都有識者の血検対象外である。	事業内容の一部改善	とから、その専別について検証し、競争性が極くて来を検討するのか、競争性のなかで振格の妥当性が図られる分野ではなければ契約方式を見直し、服備報告や商格交渉等による価格面での適正化に努めることにより注力すべきではないか。	-	234	234	- 執行等改善	り、競争性の中で価格の妥当性を図ることは国際である。 原価精査や価格交渉等により価格の総潔に努める。また、価格の起源に努めた。 た、価格の重正化に努めた契約実績等を今後の予算要求に 反映させる。	-	プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項)武器車両等整備費 (大事項)武器車両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0031 - 00				平成29年度対象	-
29 地対空路導彈維持部品	\$63	終了予定なし	6, 218	6, 090	6,147 外部有限者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・必要の影響者の一振舞点とどの変ならストを選択方面についても特別に、通りケ手変素、熱けた例のられたい(仮記) 実施している最減の原程があるのであれば、内間についてレ ビューシートに記載してもらいたり、 ・毎年機能が発生しており、かつ機能制におり、最高が関い ・毎年機能が発生しており、かつ機能制におり、最高が関い ・日本の場合というであり、一日本のでは、日本のでは、 ・本本の音楽術による意味側に最短者由を記載すべきと もに、本本の音楽術による意味側に最短者由を記載すべき。	5, 830	14, 668	8, 838	- 執行等改善	本事業で取り扱っている部材の内、一部の部材について、 令和元年後予算において長期契約による日施契約を実施す ることにより、コスト機械を図っている。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器事高等整備費 (大事項) 武器事間等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0032 - 00				平成28年度対象	
00 39/A维持部品	\$47	終了予定なし	321	194	490 外部有限者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・必要な部材等の一部課達などの更なるコスト観波方面についても検針し、適切な子質要素、執行に努わられたい(仮に配に実施している観波のを報があるのであれば、内容についてレニューシートに配してもらいたい。 ・連続して不再報が発生し、また、30年度は執行報が予算を大幅に返過して不同報が発生し、また、30年度は執行報が予算を大幅に必要している状式であるため、実配分値のうえ、適切な予算業業、執行に努かられたい。また、その提出については「事業所書集新による点像・改善」欄に適切に定載し返明をそ	-	-	-	- 執行等改善	30年度の執行額経過については、対価空便犯措置の回路 増加や回路回路地などのミサイルが低空間に指行され 機会が増えたことが見えられる。本事業は子成30年度 要が増加したことが考えられる。本事業は子成30年度 第7年度(39年度・46日であるため、本事業における スト電流の設備や得られた効果については類似事業に及 させることとしたい。	5 fr 	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器事高等整備費 (大事項) 武器署高等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0033 - 00				平成27年度対象	
GI 39/A等修理费	H21	Н30	763	726	・事業の効率性に関して、「契約演儀及び業者登録 により報題している」ことを理由として単位をより コスト等の大庫が受事であるとしているが、最当性 の検討が十分とは東では、機能を開発にある。 ことが望まれる。 も本事業は手馬3の年度が終了年度、(別事業へ統 台)であるが、本事業におけるコスト報道の避役・ 得られた効果については婚心事業に適宜反映して求 しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	- 予定遇り終了	事業の効率性について、振信事業においても引き続き検診 することとしたい。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器等高等整備費 (大事項) 武器等高等の整備維持に必要な軽費</li></ul>	防衛省	- 0034 - 00				その他	
02 瀬水艦 (SS)	H22	H30	49,680	49, 680	49,155 外部有識者の直接対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	64, 125	65, 764	1, 638	- 予定通9終了	本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、原始 の事業に-運動に長続していく。	以「新しい日本のための 優先課題推進枠」172	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 干成26年度潜水瓶建造费 (大事項) 干成26年度进水瓶建造机必要な经费 (水事項) 干成26年度进水瓶建造机必要な经费 (第) 代本項) 干成26年度进水服建造汇必要な经费 (第) 代本项) 干成26年度进水服建造汇必要な经费 (第) 干成26年度进水服建造汇必要な经费 (第) 干成26年度进水服建造工必要な经费 (第) 干成36年度进水服建造工必要经费 (第) 干成36年度进水服建造工必要经费 (第) 干成36年度进水服建造工必要な经费 (第) 干成36年度地水服建造工必要な经费 (第) 中成36年度地水服建造工厂。 (本等) 中和26年度进水服建造工厂。 (本等) 中和26年度进水服建工厂。 (本等) 中和26年度进水服建工厂。	防衛省	- 0035 - 00				平成27年度対象	
33 振海艇 (MSC)	H23	終了予定なし	510	510	499 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 次期契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれ ば、一般競争における価格の妥当性追求には服界があることか ら契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推 進し、価格の能滅上努めて建しい。	9,048	9, 434	385	- 執行等改善	詳細な内訳を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、 価格交渉等において更なるコスト組減に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」159	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 艦船登備費 (大事項) 艦船速速に必要な経費	防衛省	- 0036 - 00				平成29年度対象	
34 固定翼嵴戒機(P-1)の取得	H19	終了予定なし	97, 398	97, 503	97,193 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・次開契約時に向けて、競争性が働く見込みがない分野であれ は、一般競争における価格の妥当性追求には限界があることか ら契約方式の妥当性を検証のうえ、価格面に注力した取組を推 進し、価格の低減に努かてほしい。 ・疾患日標をみると、遠来率が7万と低く、計画的な事業の推進	36, 779	78, 988	42, 209	_ 年度内に改善をも 計	・契約実績の分析及びコスト総滅方策の検討を行い、価利 の低減に努める。 ・中期防に基づき計画的な整備に努める。	8 「新しい日本のための 優先課題推進枠」8	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費 (項) 航空機管機費 (大事項) 特定防衛調達航空機の購入に必要な経費	防衛省	- 0037 - 00				平成29年度対象	
35 戦闘機 (F-15) 近代化改修	H16	H34	4, 915	3, 445	4.312 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	に努めてほしい。  ・経済性、効率性の取組が推進されており、有効な事業の推進 に努めていることがレビューシートから確認できる。 他方、競争性が働きつらいが打においては、価格が高止まり になり、高速性率が緩快する傾向があることから、価格面に注 力した取組をきるに推進し、極格の低減に努めてほしい。	11, 224	6,500	▲4, 724	- 現状通り	今後も、原価監査等を通じてコストを精査し、適正な予算 執行に努める。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0038 - 00				平成28年度対象	
36 SH-60K搭載電子機器整備用構成品	H15	終了予定なし	1, 527	1, 270	1.189 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	<ul> <li>契約実績の分析及びコスト総減方策の検討を不断に実施し、 その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行 に努められたい。また、本事業で取り組んだコスト低減方策や 物率化にコステースを必要が違こっている。13字終事業能するとと</li> </ul>	-	242	242	_ 年度内に改善を核 計	・契約実績の分析及びコスト総滅方策の検討を行い、効率 的な予算要求、予算執行に努める。 ・本事業で取り組んだコスト低減策について、後継機の事業に反映していく。	1	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項)武器車両等整備費 (大事項)武器車両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0039 - 00				平成30年度対象	
37 P-1用整備用器材の整備	H19	終了予定なし	153	295	275 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	もに、類似の事業にも適切に反映されたい。 - 一部の契約について、一般競争人札の結果、一者応札となっているようだが、その実際について機能し、競争性が癒く工夫を検討するのが、競争性のない、競争性のないで機能の妥当化学場合も分子等による価格面での適正にに努めることにより送すするさせない。	4.077	327	▲3, 750	_ 年度内に改善を移 計	・一般競争入札の結果、一者応札となっている契約については、その要因について分析し、改善可能な部分については改善を図っていく。 ・過去の契約実績等を請まえ、原価精査を行い、価格面で	rl	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0040 - 00				平成27年度対象	
38 搭載武器支援器材	\$47	終了予定なし	96	96	63 外部有識者の直検対象外である。	事業内容の一部改善	いか。 - 支出先リストを見ると、落札率が著しく低い契約が見受けられることから、要因分析の上、適切な予事要求に努められたい。 - 引き続き、契約実積の分析及びコスト低減方策の検討等を行	13	-	▲13	- 執行等改善	の適正化に努める。 引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を 行い、効率的な予算要求及び予算執行に努める。なお、3 成32年度要求は行わなかったため、次年度以降反映する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0041 - 00				平成27年度対象	
39 F-15用整備器材(搭載)	H17	H30	-	-	1.992 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	<ul><li>い、効率的な子類要求、予算執行に努められたい。</li><li>- 平成30年度で終了る事業ではあるが、本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映されたい。</li></ul>	-	-	-	- 予定通り終了	・業者見積の精査、工数削減等、本事業で得られた効率化 等のノウハウについて他事業においても効率化に努める。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0042 - 00				平成30年度対象	
40 戦闘機 (F-35A) の取得	H24	終了予定なし	237, 142	240, 172	239,006 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	2 名英雄して報送があり、計画において豊富イベキアー3 の 砂管油が無れているではその間を持たれることから受か 前のうえ、その理論についてビスーシードにおいて観察 所の2条性でいて国民の管理を与われることがもなった。 は行の全性について国民の管理を与れるようにするとし に可能と限り効率的な子葉単行に努められたい。 実験を性が低くなかがないであれた業の政院特別に合わ せた調金を行うなど、機な製帯に係る機関の更なる成績を図る ため、実施展化を向離との水があります。	15, 313	79, 721	64, 408	- 執行等改善	・繊維については、契約展行において進外からの材料の 能に選加が生く基準やと乗りが構作によるものが 大き機能については計画をリに取得できている。引き続き、効率的な子能を行い切から、 ・これまでも、米国政府がお得するまとめ買いて参加し、 ・これまでも、米国政府がお得するまとの買いて参加し、 対象のは一般のである。 対象のは、対象のは、 対象のは、 対象のは、 対象のは、 対象のは、 対象のは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 新立機能備費 (大事項) 新立機の購入に必要な経費	防衛省	- 0043 - 00				平成30年度対象	
41 滑空機の性能確認検査	\$30	終了予定なし	0.3	0.3	0 外部有識者の直検対象外である。	現状通り	・平成29年素において、執行率が低いがその理由をレビューシートの事業所管題等による直接機に定理し、執行の英書性にいて関係の基準をあるようによって、予している場合がある。 また、少額経過度においては、発見もり内容の発表による原料を表した。 また、少額経過度においては、発見もり内容の表表による原料を表した。 大左回り換予性向上により、更らるコスト低速を進まされた。 い、	0.3	0.3	0	- 現状通り	・少額経歴契約については、引き続き見積もり内容の間による極端の適正化を図るとともに、近端部域等の研究に の公会の起じしは保証、呼吸扱い合への代替を制 動便入後の実施とどな礼を拡大を図ることによる競争性が、 また、執行機の分析等により経費制減を図り、効率を な予算要素・執行に別める。	<u>Б</u>	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0044 - 00				平成29年度対象	
42 航空機修理部品及び整備用消耗品	\$30	終了予定なし	2	2	4 外部有識者の点検対象がである。	現状通り	一者を北め案件について、「人札に需要素をからかたを見込んでいたが、無ちとして考なれたのと、とのことださ、人につか可能な業者に参加しなかった理由についてとアリングを付けるとすが、実性性能が、大きないたいました。 機能が、大きな性能がに努わるためは、リリコ等の基準としる場合では、大きないでは、大きないであった。 の選手をした。 は、大きないであった。 は、大きないでは、またないであった。 は、大きないでは、またないでは、またないであった。 は、大きないでは、また	2	2	▲0	▲ 0.21 総減	・広札看拡大に向け、入札参加可度な業者が参加しなか、 七世間について第四分を行うとともに、近離経験等の 宗板への公告の貼り出し体脈、呼吸艦の公告への仕株書 が、無侵入机の実施とて進めており、引き継ぎな札者が に向けての触対を行う。 また、少能配を契約については見機内容の搭配しまる。 格の直正とや尽札者拡大施器等による競争性の由し等を多 話し、コストの低点を図った様果、本の生々度展界実が おいては、令和元年度予算に比べて21千円縮減させてい る。	<b>日</b>	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0045 - 00				平成29年度対象	
43 定期修理	\$30	H30	153	153	・事業概要や自己直接の記載が丁家であり、判断の 機能がかかりやすいものとなっていた。 19 49 かったのでは、19 5 年 19 5 日本 かったた効果については類似事業に適宜反映して彼 しい。	終了工中	外部有識者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	- 予定通り終了	・本事業で得られたコスト服滅の取組や得られた効果につ いては、類似事業に反映していく。	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器事高等整備費 (大事項) 武器事高等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0046 - 00				その他	
44 T700エンジンの整備	H16	終了予定なし	516	516	607 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・支援契約時に向けて、接令性が働く見込みがない分野であれば、一般発針における番組の支出性達式には原本があることから、最初面にありた効能を推進、場合物の成出があることがし、 ・ 一般の表現がある。 ・ 「他の表現がある。」 ・ 「他の表現がある。 ・ 「他のなる。 ・ 「他のなる。	708	160	<b>▲</b> 548	_ 年度内に改善をも 計	・支援契約時に向けて、価格面での妥当性の検討や効率4 の取り組かに努める。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会1+	(項) 航空機能機費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0047 - 00				平成27年度対象	
45 緊急射出装置用部品	\$47	終了予定なし	2, 427	2, 091	・ 平成功卓度の教行総が予算額を大幅に超過しているが、その契助分析を行い、その対象をレビューシートに記載することにより執行の支援性についる。 4.602 などを予禁上走が予禁を持つに関わられた。 通・ ウィモンスに基づく随東契約については、原産額を申を通客交渉等による価格室での選正化に努められたい。	事業内容の一部改善	外都有識者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	2,048	3,060	1, 011	_ 年度内に改善を析 計	平成30年度の執行値が予算師を大幅に超過している要因 は、輸入器品の多くで製造業種が上昇したことが展立す る、引き続き、見登機の制産を製造、通切の予算が 及び予算執行に努力に、また、ライセンスに基づく随意 契約について、尿振動者等に努力でまいりたい。	5 E BA	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機能機関 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0048 - 00				その他	
	H28	終了予定なし	20, 319	20, 319	20,423 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	<ul> <li>・米空軍の取得時期に合わせた順連、また、まとめ買いを行うことにより経費の縮減に努めていることは評価できる。引き続き、米貎との価格交渉により、取得価格の低減・抑制に努めら、</li> </ul>	13, 007	17, 323	4, 316	<ul><li>現状通り</li></ul>	令和2年度予算要求において、4機一括取得(まとめ買い)を行うとともに、初度部品等の取得時期について精査	-	防衛装備庁 プロジェクト管理	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費	防衛省	- 0049 - 00				平成29年度対象	+

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

※平庫	3 1年以降の表記は、新元号に読み替	えることとす	· 6.						<del>_</del>															(単位:百万円)
事業番号	事 業 名	事業開始年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度 補正後予算額	平成30 執行 可能額	年度 執行額	外部有識者の所見	評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成31年度 当初予算額 A	平成32年度 要求額 日	差引き B-A=C	反映額		反映状況 反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項·事項	1	128	平成30年度レビュ		外部有識者点検対象 (公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 調査 基金等 品を記載
047	F-15用端末装置の取得	H15	H34	-	-		- 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・ 一括納入を実施し、コスト削減が図られたことは評価できる。引き続き、米側との価格交渉により、取得価格の低減・抑制に努められたい。	-	-	-	-	現状通り	・引き続き、米側との価格交渉により、取得価格の低減・ 抑制に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器率両等整備費 (大事項) 武器率両等の購入に必要な経費		- 0050 - 00			平成30年度対象
048	地対空誘導弾へ「刊わト	\$63	終了予定なし	58, 480	58, 480	58, 394	4 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ライセンスに基づく映画契約については、原価機差や価格交 が等による価格面での適正化に努められたい。また、引き続 き、契約契値の分析及びコスト核液施強の検討等を行い、効率 的な予算要求、予算執行に努められたい。	2, 885	137, 609	134, 724	-	執行等改善	効率的な予算要求及び執行のため、コスト低減に向けた価格報査及び価格交渉を実施	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武路車両等整備費 (大事項) 武路車両等の購入に必要な経費 (項) 防能力基整整備費 (大事項) 人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省	- 0051 - 00			平成30年度対象
049	通信機器購入費(空自)	\$47	終了予定なし	33, 602	40, 620	39, 245	5 外部有識者の直検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して機能があり、計画において整備すべる固定式3次元 レーダ装置等の整備が遅れているのではとの印象を持たれるこ とっていまし、他のの交流性では、国際の支援を与れるよう こであるともに可能な思り効率的では、国際の支援を与れるよう にするとともに可能な思り効率的である。 一生間返走をものと、コスト低波や効率化に向けた工夫の検 討に努められたい。	48, 491	29, 083	▲19, 408	-	執行等改善	南が国際迅速域の常徳的な事項監視監禁を維持するため、本事業が計画機関やでまてできるよう引き継ぎ契約者 デア・大阪の場合がある。 一種調理をにより出えた経過を図った予算執行に努め、 更なる効率化及び合理化を検討していく。	每牛煙箱放准於:	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0052 - 00			平成28年度対象
050	べトリセット・システムの機動展開能力の確保	H21	H31	-	-		・「成体・改善規集」において、「反生品ベースの 事業のを指令することにより、場合の従業を図って 行く」と記載があるが、これは、装備品の「ファマ リー也(陸上的解除と共通の無別)」を行うことは よりコスト解版を図ったことであり、ライヴっとは よりコスト解版を図ったことであり、大いった区 就がないと回見には、コスト能域の政能が任わらない いのではないが、また、装備品の「ファミリー他」 そ行わなかったが、また、装備品の「ファミリー他」 べきではないか。	~ ~ ~ ~	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	予定通り終了	が都有温者の所見を踏まえ設備品のファミリー化としたことを今後明確化していく。	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器県南等整備費 (大事項) 武器県南等の購入に必要な経費	防衛省	- 0053 - 00			最終実施年度
051	EMD任務用機動展開用車両の取得 (BMD)	H22	H34	131	131	135	5 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・海札率がほぼ10%となっているが、その理由についてレビューシートに記載し、価格の妥当性について国民の理解が得られるようにすべき。 また、一者な礼については、納金が編島であったため一者な 礼となったとのことであり、やむを得ないものと考えられるが、引き被き、競争性強強に向けて推進されたい	2	13	11	-	執行等改善	・契約実績の分析を進め、価格の適正化を図る。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」1	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0054 - 00			平成30年度対象
052	ベトリカナ定用修理費	Н7	終了予定なし	276	276	6, 075	「5 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 平成20年度の執行事が50%、平成20年度の執行事の2020と分析 特価が予算能を対し上記の状態が終了いる。その要因を分析し、その機悪をレビューシートに記載することにより、執行 原型信性について直接の労働を得られるうまでするともに、 分析機能を請求え通信な予算計上及び予算執行に努められた リライセンルによく位義を投削されている。要称をあたし した原音素をき行うなど、変なる価格高での適正化を図られた。	-	-	-	-	執行等改善	ペトリオット定期停運については、現在、他の事業と整理 総合中であり、予算額及が紹介係の計上時に震酷が発生し たことから大きな電影性にたい なお、ペトリオット定期停車提早場で執行率を確認した故 また、国際必要を考慮した場面を また、国際必要を考慮した概念を の、更なる価格面での適正化を追求する。	-	防御装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器商用等整備費 (大事項) 武器商用等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0055 - 00			平成30年度対象
	地対空誘導弾構成品修理費	Н7	終了予定なし	1,534	583	2, 417	・ 平成30年度の執行個が予算順を大幅に超過しているが、その実現が何を行い、その映画をレビューンで、日本の情報をレビューンで、国際の情報をはいるが、日本の情報を対している。 日本の世界が開始が開始しませない。 また、日本の一般が開始によって、レビューシートとで得らない。 アイセンスに基づく機器が開発とを表することでは、原理を開始している。 日本の過去でに努められたい。 また、日本の一般では		ライセンスに基づく随意契約については、富熟効果等を考慮 した販売量をも行うなど、更なも動格室での過乏化を図られた い。	1, 338	549	▲789	-	執行等改善	ベトリオット領域品格理費については、現在、他の事業と 登理総合中であり、予算総数が執行機の対上時に回廊が発 至したことから大きで事場が生じた。 記述、103.4%であった。 部業、103.4%であった。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器県両等監備費 (大事項) 武器県両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0056 - 00			その他
054	施業名:1-(1)周辺海空域における安全確保、I- 生物防護器資材	H17	終了予定なし	296	296	263	3 外部有識者の直検対象外である。		・ 次展別時に向けて、接着性が備く見込みがない分野であれ ば、一般無利における極端の支援性違乳には展示があることか ら契約方式の支援性を機能のうえ、使用表に注かしたを観色者 差し、極熱の根据に努かてほしい。 ・整備期間の支援が対象が大型がついて、レビュージートド の他のコスト削減や効率をの工夫」様に記載し、優全化に係る 透明性を集合なに係る	287	58	▲228	-	執行等改善	清耗品の所要数を再検討し、極算要求額229百万円の低減を発施	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器専用等款債費 (大事項) 武器専用等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0058 - 00			平成30年度対象
	施策名:1-(1)周辺海空域における安全確保、1- 5-7(該導武器装備品維持分 役務)	-(2)島しょ部に S48	対する攻撃への対 終了予定なし	応、1−(3) 弾道ミサ- 526	イル攻撃への対 526		宇宙室間及びサイバー室間における対応、I-(5)大規模 4 外部有識者の点検対象外である。	災害等への対応	・執行率が低い年度(30年度、41%)や予算額を超過している年度があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余息がある。 ・次期投資率に向けて、超争性が増く変あかがない分野であれ ・次期投資率に向けて、超争性が増く変あかがない分野である。 も契約すなの事態を発揮のうえ、価格面に注えした取締を推 進し、価格の低減に努めてほしい。	-	-	-	-	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、今後とも 契約方式の妥当性の検証を行い、効率的な予算執行に繋が 6.また、被機能の助理状況により、 6.また、被機能の助理状況により、 対象を対象 対象を対象 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武品県両等登債費 (大事項) 武品県両等の登債維持に必要な経費	防衛省	- 0059 - 00			平成27年度対象
056	自動警戒管制組織の弾道: 1/4/対処機能 (BMD) 自動警戒管制組織の航空警戒管制機能の近代 化	H14	終了予定なし	534	534	534	4 外部有識者の直検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き継ぎ、契約実績を分析し更なるコスト経域方葉の検討等 を行い効率的な予整統計、予算実形があったが、 ・公幕を実施しているものの、一者な事の状況が見受けられ る。事業の性見法骨性を実あることが開発と思われるものに ついては、競争性のない契約とならざるご母ない事情が本当に あるかどうかを入りに、競生と乗るい事情が本当に 記事性とあめるよりは、総差契約とし、総数交渉や原価機能等 による価格響での選集化等があることも検討してはどうか。	4, 038	3, 703	▲335	-	執行等改善	・ 棚続して契約実施の分析、さらなるコスト指減方賞を移 計し、効率的な予算執行、予算要求に努める。 ・ 仕様に応じ競争性のない契約となるざるを得ない事情が 本当にあるかどうかを十分に検討する。	t –	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器県南等駐債費 (大事項) 武器県南等の購入に必要な経費	防衛省	- 0060 - 00			平成27年度対象
057	基地警備関連装備品	\$63	終了予定なし	39	204	199	9 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 仕様改正、一括調達等を行い、予算執行の効率化に努めていることが認められる。引き継きコスト極端方風の検討等を行い 効率的な予測要求、予算執行に努められたい。 ・他方、1歳がれの状況も見受けられることから、引き継き要 因の分析と結果を踏まえた改善に努める必要がある。	232	309	π	-	執行等改善	・1者応札の状況を改善するため、要員を分析し競争性を 確保する。	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0061 - 00			平成29年度対象
058	武器購入費 (海自)	\$47	終了予定なし	69, 452	69, 442	41, 441	11 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・3年東は、執行率が切れと低いことから、東級分析のうえ、 その理由についてレビューシートにおいて説明し、執行の英当 性に立い、国際の機能を与れるようにするとともに適切で ・ 「概要規則にあたっては、原価機を一部を持ちませいともの機能 での選を化に努められたい。また、引き続き、契約無償の分析 及びユスト版系のようにない。 成立ストに成るのは、対象の場合である。	50, 718	56, 472	5, 754	-	年度内に改善を移動	- 市広札・湯一となる理由について、蒸飲・航空機関連 部品のように、安全性及び協能性単毛維修するため、問題 連キャナーカーとの可能性機等により、配面の必要であった。 ののの対象性機等により、配面の必要であってある。 が、代色を表現を取ってきまった。 の拡充にあるためには、では、一般を表現を表すれる。 ・ 無限なり核立機構能気容等のの選出は対象機品の命分 性、専門性によりな、仕事をの選出し対象機品の命分 は、専門性によりましましまった。 対象機能の変更しましまり、競争性の対象 大工物が起めている考えれるが、 引き続き、仕事者の変更し事を実施していき、競争性の対 大工物が起めている考えれるが、		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器業両等整備費 (大事項) 武器業両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0062 - 00			平成28年度対象
059	<b>建築村</b> 現入費(海自)	\$47	終了予定なし	5, 522	6, 273	6, 900	10 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・繊維の状況が顕著していることから東京分布のうえ、その世 由について事業所管部局による終業等のレビューシート上に おいて説明、表所の完全性について国際の理解を得った。 うにするとともに可能な限り効率的な予算教育に努められた。 ・まとの長いや民生主の活用、非常関係の近等等のコスト制で成 対力が行われることは野歌できる。他力で全体コスト制度の状 の形成の形式を表現している。	6, 650	7. 169	519	-	年度内に改善を移 計	・経経管別についてその理由と「事業の効率性」の順に 能した。 ・契約契模の分析を実施するとともに、名事業に応じて見 会品の展界や性軽者の見見し及びまとの買いの習能性 は実体を実施し、分析を見ならばからなど、名目、 の効率化に努めるとともに、事業の執行したたっては、仕 報告の分更化、分析を関係の記事、契約機能の分解とだっては、 大・地震はついて検討し、更なる効率的な予算執行、予算 要求に努める。	で 「新しい日本のための 優先課題推進枠」711	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器展前等整備費 (大事項) 武器展前等の購入に必要な経費	防衛省	- 0063 - 00			平成29年度対象
060	武器修研費(空自)	S47	終了予定なし	22, 859	22, 824	14, 284	4 州部有温者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・契約方式について、一般接条人札の発表、1本を礼となっ いるようだがもか可能について検証、 無管化学後(工夫を被 対するのか、競争性のなかで価格の実施性が成分までは だければ契約方式を見重し、原価機を一般構え支端による分野では なければ契約方式で、も、電池機を一般構造を進むに 一般機能性に対象らることにより送力がイミではないか。 実施機能性に対する。電池機能を付いてはないか、また、必要な能 でつかまに、機能を関心を始めからのではないか、また、必要な能 に、適性な手業を表、数件に関からなたい。(信に正正・実施して い、過程な手業を表、数件に関からなたい。(信に正正・実施して いる機能の設施があるのであれば、内部についてレビューシー トに配慮してもかいたい)	15, 794	19, 642	3, 849	-	年度内に改善をも計	・ 市本なの一般競争入札について、仕様等を適宜見直し 自会性を確保できているかどうかを十分に機計し、適定の は一般を表現していては、実施や今後の調道の機能を参索 は、経験を設施については、実施や今後の調道の機能を参索 が、した上で、下部放棄を反映させるしてコトを確認であ ある。 ったトリオットミサイルの総当の一部を、長期包括契約す ることにより、コスト機就を添っている。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」 2.907	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器兼高等整備費 (大事項) 武器兼高等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0064 - 00			平成29年度对象
061	武器修理費(海自)	S43	終了予定なし	42,830	43, 464	44, 432	2 州部有温者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 平成治年度、20年度の銀行において、連続して極越があることからその間書きとはニカートに取真し、銀行の美術性につて国際の選集を与れるようにで、一般総争人規の選手で、一者収析かつ高減単の選挙が見受けられる。実際について分所し、その機業をビビューンにというに分解し、その機能をビビューとにより支出光度の受害性について同様の環境を得るようによった。	46, 862	34, 911	<b>▲</b> 11,951	-	年度内に改善を核 計	・経経管別についてその理由を「事業の効率性」の個にな 能した。 ・契約数据の分析を実施するとともに、各事業に応じて自 生品の経路や仕権者の見起し及びまとの買いの開始を は温をも実施しなりをも定るの様性のなど、自己、経 の基準も交換した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で 「新しい日本のための を優先課題推進枠」 10,179	防御装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器業高等整備費 (大事項) 武器業高等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0065 - 00			平成28年度対象
062	路路材等維持費 (海自)	\$47	終了予定なし	18,099	18, 851	18, 771	11 外部有混者の点接対象外である。		・一般競争人員の案件で、一者な礼かつ漢葉礼事の案件が見受けられる。要別について分析し、その無罪をレビューシートに 記載することによりませた光変の全場が出ていて国内の理解を 得られるようにするとをした。その分部結果を指すよび礼者を 次のための設計では、場合や10分割があるれたし、こと から、10分割がある。10分割があるれたし、こと から、20分割がある。10	20, 072	31, 051	10, 980	<b>A</b> 14		・一者が見となる理由について、無知・航空機関連製品の ように、安全性及び協動性単準確定するため、限速法やセ イラーの一の砂球機関車は基づいた場合の必要ならか起う ・ 一番を受ける場合である。 ・ 一番を受ける場合である。 ・ 一番を受ける場合である。 ・ 一番を受ける。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「新しい日本のための 優先課題推進枠」294	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器県南等監備費 (大事項) 武器県南等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0011 - 00 断	斯省 - 0066 -	00	平成29年度対象 〇
063	都際実験	H27	終了予定なし	257	257	218	9 外部有混者の点接対象外である。		- 単位版・リコストをあると「人利・参加をよど多(基リ)と あるが、実施として複数化の多人等でいるかの、機関がある あるが、実施として複数化の多人等でいるかの、機関がある 加がはければ、競争性におけて、価格の支出性を追求すること は困難であることかか、価格の多単性についてが何、通信 格を起家する高地があれば、見間積差別におけて変なる軽質能 また。それたの数率とピエコーンートに配載し、より週間性 を確偽すべき。 ・服告・イビルの調査におけて、同様の少価機長の調査をよ あ一般性争契的にすることにより、傷格性減を図る余地があ ら、	229	362	133	-	執行等改善	平成30年度経済業績、令む元生金部等業績において は、確認企業の必須を付きし、乗も乗り沖添めの高い。 助を実践している。また、命な2を要求は30年度第2は30年度 に基づ重素はていおり、32ト制減を前まえた要求と に基づ重素はていおり、32ト制減を前まえた要求と 別から、 別から、 の開始の取り組みは令む2年度制度実験においても継続す る。	E I	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器県両等駐債費 (大事項) 武器県両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0067 - 00			平成28年度対象

※平成31年	以降の表記は、新元号に読み着				平成30年間	度			行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度	平成32年度	差引き			反映状況							平成30年度レビュ	一シート番号	(単位:百万円) 外部有識者点検対象
事業 番号	事 業 名	事業開始 年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度 補正後予算額	執行 可能額	執行額	外部有識者の所見	評価結果	所見の概要	当初予算額 A	要求額	B-A=C	反映額		反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項·非項		1つ目	2つ目	- フート版 9 3つ目 3つを超える場	(公開プロセス含む) 委託 補助 ※対象となる場合、理 調査 由を記載 金等
064 92式対ル)	地雷原処理車 (施設器材のオーバーホー	H17	Н37	254	254	154 91	外部有識者の点接対象外である。	事業内容の一部改善	・執行事が低い生産 (30年度、30日 や予算額を設定している年度があり、指数の大事のかと、特別の金額の地がある。 ・現他当たりコストをみると「公募により参加を基別動物を確保しておりよるのが、実施してりまたを手が動から ・環化であり、あるが、実施して複数なか多人を得ているのか、実施との参加がなければ、競特性において、価格の実施とは影響を必要とから、場積の金融性につるいて変な経費が変ながある。 大事なる経費が減ぎる場合という。 大事なる経費が減ぎる場合という。 大事なる経費が減ぎる場合という。 大事なる経費が減ぎる場合という。 大事なる経費が減ぎる場合という。 大事なる経費が減ぎる場合という。 大事なる経費が減失されたい。 大事なる経費が減失されたい。 大事なる経費が減失されたい。 大事なる経費がある。 大事なる経費がある。 大事なる経費がある。 大事なる経費がある。 大事なるという。 大事なるといるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事なるという。 大事ななるという。 大事ななるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといる	137	137	-	-	年度内に改善を検討	日き被き、公里により入札参加者を募り、競争性により契 的部の前減に努めていく、オーバーホールにおいては回収 品を使用する等コスト制減に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項)武器等高等登儀費</li><li>(大事項)武器等両等の登儀維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0068 - 00			平成30年度対象
	戦車機 (施設器材のオーバーホール)	H18	Н38	388	388	4.率に対。 167 万 元 証 ・等材	・子算紙・執行機を参照すると30年度の執行率は 1/39と版く、他方、30年度のアウト力とである可動 第1256、49と100%を選成していない。財産を有動 第1256、49と100%を選成していない。財産を有動 ・支出先リストを参照すると、随意契約(公事)の ・支出先リストを参照すると、随意契約(公事)の 最終において、現在利率となっており、選集・計画報 まりになっている印象を持つ。また、「事業所管部 はったして、日本の事業を持つ。また、「事業所管部 はかて足している印象を持つ。 「事件性が個人なみかないのであれば、受験機会 等の価格面に注力し、より機能の安当性を高める分 を登める余地があるのではないか。	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。 ・報告曲だりコストをみると「公器により参加者を乗ります。 ・現代曲だりコストをみると「公器により参加者を乗ります。 ・ あるない計画と関係をしまいて、一般の交別をおき返れる とは知識であることから、価格の妥当性について分析し、適正 価格を進来するからかは、見積積要等において変なる経費 加減を進来されたい。	-	260	260	-	年度内に改善を検 計	この被視品については、製造類片負いの契約であり、カタ ログ調入と急い契約様子方のみ設置できるため、なかなか 契約額値で打ちっとは難しい状である。しかし、契約様子 手方に開催とし、乗びる毎年等においては粉品を選集より 多かに製造する力、準備軽減できるのではと創歴中であ も、	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器等高等登録費</li><li>(大事項) 武器等高等の登儀維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0089 - 00			その他
	: I-(1)周辺海空城における安全確保、 	1-(2)島しょ部に S30	対する攻撃への対 終了予定なし	け広、1-(3) 弾道ミサ 6	イル攻撃への対応、		空間及びサイバー空間における対応。 ト(5) 大規模) があ有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	襲撃の強化 ・ 一名な利の条件について、「入札に現意業者の参加を見込ん でいたが、無罪として業者が入札に不参加だったたか一名な利。 になった」とあるが、入札に参加を収金者で参加にかた 理由についてとアリングを行うなど、十分に要因分析を行い、 接手位の確認に対められたい。 また、総変契約にあたっては、見略もり内容の調査を十分に行い機能の選定とに対象られたい。	6	7	1	▲ 0.28	8 総減	行語事業レビュー構選チームの原見を設まえ、引き続き、 執行実態の分析をそ行い、効率的な予算級行、予算要求に 努める。 また、執行実績を指まえた上で、概算要求単価等を見直 し、288千円の能減を図ることができた。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武高寡高等登通費 (大事項) 武高奪局等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0004 - 00 防衛省	- 0079 -	00 防衛者 - 0092 - 00	平成30年度対象
067 新規率引	兩購入	H18	終了予定なし	4	1	ŧ	・レビューシートを参照しても必要性は理解できる ものの、無条性に係る工業や事業の有効性(選押の エ大にとり効果を拡大する合金があかり が確認 できない。 経条性、有効性を高めるための検証を進め、ま た。国民への説明男任を悪たすうえでも経済性・効 管・有効性に各な取り組みは機種的にレビュー シートに記載すべき。		外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	30	54	23	-	執行等改善	外部有限者の所見を指まえ、経済性・有効性を高めるため の検証を進め、更なるコスト経済方葉の検討を行い、効 単独な子類似す。再要表に別めるとともに、レビュー リントへの反映を行っていく。	「新しい日本のための 優先課題推選枠」7	) 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器幕両等登録費 (大事項) 武器幕両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0070 - 00			その他
068 甲類 (組	改革)	H2	終了予定なし	4, 105	4, 105	4, 089 91	外部有識者の直検対象外である。		・事業の世質上、競争性を素めることが個数と思われるものについては、競争のない契約となっざるを表心、場合は活動が本当にあるかとうかを十分に機計し、やひを得ない場合にはお式的な、競争性を求めるとりは、随意契約とすることも検討し、可能な限り詳細な見積もりを入手してコスト総成の余地を検証し、緩絡な原告差を引なる情を決事により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	11, 173	7, 401	▲3, 772	-	執行等改善	行政事業レビュー権進チームの所見を請まえ、契約方式に ついて検証するとともに、さらなるコスト帳組方策等の検 計を行い、効率的な予重執行、予重要求に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器車両等登機費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0071 - 00			平成28年度対象
069 甲類 (ジ	火砲)	\$62	終了予定なし	-	-	- 91	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	<ul> <li>一般競争入札により入札参加者を多く募り競争性の確保に努めているとのことであるが、入札の結果随意契約となってものについて、その理由をより明確な多での説明を行い、その結果をレビューシートに記載することにより支出先の選定及び価格の妥当性について国民の理解を得る必要がある。</li> </ul>	6, 088	6, 554	465	-	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、入利の結果 設施更契約の要別について、企業等への関き取り、市場調査 を実施し、競争性の拡大に努めるとともに、更なるコスト 低減方演導の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に 努める。	-	防衛装備庁プロ ジェクト管理部 整備計画局	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0072 - 00			平成30年度対象
070 甲類 (集	接甲車):96式装輪装甲車	НВ	終了予定なし	-	-	- 91	外部有識者の点検対象外である。		・後継貨機を含め次期契約の際には、まとめ買いによるスケールメリット、これまでの影道における智能効果を加味したែ能や 的民主をと称できるよう社株を変更する場のコスト組織対策 の検討等を不断に実施し、その帳券を反映することにより、効率的な予算要求、予算執行に努めれたい。  ・随意契約については、主に一般競争入机の結果によるものと	-	-	-	-	執行等改善	行政事業レビュー推選チームの所見を踏まえ、機器装備を 含めた契約の際は、企業等への関を取り、市場開査を実施 し競争性の拡大に努めるとともに、コスト促放方策等の検 討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項)武器車両等整備費 (大事項)武器車両等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0073 - 00			平成28年度対象
071 乙類 (세	化学器材)	H17	終了予定なし	1, 283	1, 354	1, 223 91	外部有識者の点様対象外である。	+*************************************	の歴史が、当社本が、は一の概要・人はの地域とよるも思い。 ついて分析し、その発展をレビューシートに記載することにより支地大選走の実施性について国産の実施を得られるようにすり支地大選走の実施性について国産の実施を得られるようにすることもに、その労働を発展を選択していることから、要別が何のうまでの強化について国産の実施を考えたようにするともに可能な限り、機能の交換性について国産の実施を得られるようにするともに可能な限り、機能の交換性について国産の実施を得られるようにするともに可能な限り、最初を対象である。	2, 843	2,522	▲321	-	執行等改善	新改塩製酵の所要を検討し、概算要求額221百万円の施 減を実施	-	防衛装備庁プロ ジェクト管理部 整備計画局	一般会計	(項) 武器展開等を通費 (大事項) 武器専用等の購入に必要な経費	防衛省	- 0074 - 00			平成28年度対象
072	通信器材)	\$55	終了予定なし	9, 782	7, 005	10,793 湖 り か	・ 点接結束で記載された、「仕様の見重し」「一語 頭達」「簡単性の構造」「民生品の活用」は指揮で さる。 、世界で、大きないであり、大きを開するとし、一種の利益である。 ・他力、大きないであり、大きないである。 ・他力、大きないであり、「一般では一般である。 いていている。 いていているれば、随意契約へ発行し思想精変者の がないのであれば、随意契約へ発行し思想精変者の かってはないか。		外部有理者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	28, 526	9, 661	<b>▲</b> 18, 865	-	現状通り	- 総裁争入札において、競争性が無く及及みがない場合、 総悪政体へ紹介し及機能関係の部級前に近かする場。 他来 性・事務の治学化を集めるための検討の実施に努かる。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器兼高等整備費 (大事項) 武器兼高等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0075 - 00			その他
073 乙類(前	施設區材)	H17	終了予定なし	10, 231	8, 798	13, 191 अ	外部有識者の点検対象外である。	***	・執行率が低い年度(29年度、26日)や予算器を超速している年度があり、計画的な予算の対土・執行の改善の水地がある。 東の当たりコントをみると「簡単」の機関・入財、とあるが、 サイでの間塞において機能はの多人を呼ているのか。 サイでの間塞において機能はの多人を呼ているのか。 現在することは対象である。 は、日本のでは、	3, 126	1, 819	<b>▲</b> 1,307	▲ 0.03	8 総波	防能力整備及び予算の制約の許容する範囲の中で同一品目 の同一程度での予算要求の実施に努める等のコスト経滅策 を関るととが、主参切の予算条件がに努めていく、 執行機能を指するたまで、仕様内容等を見重し、39千円の 輸送を振ることができた。	-	防順装備庁プロ ジェクト管理部 型備計画局	一般会計	(項) 武器兼高等整備費 (大事項) 武器兼両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0076 - 00			平成29年度対象
074 軽装甲基	<b>提</b> 勒布	H15	Н31	14	14	得者性に整はし、りしかし	・ 活動指摘及び活動製機 (アウトブラヤ) で、 改 ・ 活動指摘及び活動製機 (アウトブラヤ) で、 注意解析 を は において [編集の契約に至りて、 「編集解析 に おいて [編集の契約に至りて、 1898] に 下の [編集 1898	終了予定	・外部有理者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。 ・報告はヤリコストをみると「の裏により参加をを事り・・」 をあるが、実践とは複数社の多とを得ているのか、複数社の 参加がなければ、原参性において、価格の実出を必素することは関係であるとかか、機格の実出をごって分替し、 開始を追求するを必があれば、見機構造者において変なる機費 即成を追求されたい。	-	-	-	-	予定通り終了	本集画は、実施として、1社の参入であるものの、価格に ついては、他の情報によりでも取得数値により、価格の更知 かけ、他の情報によりでも取得数値により、価格の更知 かけ、他の情報の東京教皇を選手スで整理を検索し、価格 低減が個別へを受工機を開発を参加させる際により、事業 全体の機器低減を記る場合を 全体の機器低減を追えまする。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 法高非高等股債費 (大等項) 武器等両等の購入に必要な租費	防衛省	- 0077 - 00			最終実施年度
075 踏器材用	購入費等 (統幕)	H18	終了予定なし	4	4	2 91	外部有識者の血検対象外である。	事業内容の一部改善	・他途を見ても裏面の付減品の購入とのことだが、回路策の他 の事業と総合した事業単位とすることができないのか。 本事業が出版を追求することができないのか。 本事業が上級策を追求することができないのか。 とが効果的な機能につながるものでなければ、回路策の事業と 総合した事業単の任いな後、50% があり、計画的な予算の計 上、執行の迷るの地がある。	99	19	▲80	-	執行等改善	一部の専用限速事業を独合したため、本事業単位による検証を継続しつつ、他の事業単位との統合について検討を走める。 の年度の執行単については、車両等理が抽が予測より少な くなったと等に起ぼするものであることを確認。 引き検索・実検等を指する。計画的な予算計上、執行に努 める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」11	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項)武器東高等登總費 (大事項)武器車両等の購入に必要な程費	防衛省	- 0078 - 00 防衛省	- 0087 -	200	平成27年度対象
076 基地通信	富備品の損耗更新	\$55	終了予定なし	239	162	264 91	外部有識者の点検対象外である。		- 執行部が予算額を超過しているが、要因分析のうえ、適切な 予算要素、執行に努められたい。また、執行部が予算額を超過 している環由については、レゼニットにおいて説明し、執 行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべき。 ・仕機改正、・指議選挙を行い、予報状行の効率に失势ない あことが認めまれる。引き続きコスト権派方漢の創稿等を行い 効率的公子算来来不算無所にあかられたい。	-	5	5	-	執行等改善	執行極が手葉続を超過した要別については、可動率の増加、更に高材のを呼化や十分な予算の確定が出来ていないものと分解している。 また、引き機さっより様式方面の検討等を行うとともに効率的な予測要求、予算執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車用等整備費 (大事項) 武器車用等の購入に必要な経費 武器車用等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0080 - 00			平成30年度対象
077 通信機名	務据入費(海自)	不明	終了予定なし	31, 192	30, 658	25, 583 91	が都有識者の点検対象がである。	事業内容の一部改善	・繊維的状态が翻接していることから、計画において豊庸する さものが無色されていないのではのの際像を持たれることか の事業を基準を表現であるとも、 ・一者の基の分析を行い、更なるのれ者等の拡大の 検討を行うともに、コスト低減や効率化に向けた工夫の検討 に努められたい。	30, 778	50, 294	19, 516	-	年度内に改善を検討	・ 総接要別についてその指金を「事業の効率性」の際に足 取した。 ・ 一者応札・一社応募となる理由について、悪鉛・航空機 関連基準のように、学会生長が接触性等を指揮するため、 等のは、対象をは一般を表現を表現を表現を表現を は、ためまえるを受ける機能を は、ためまえるを受けるであるが、ないがた。 あるが、代格品の使用可容能について情報収集を行い、応 代格の放充に労命となどはご返びな機能を全役差する。 ・ 艦艇及が放立機能を提供する に、専門性により他のようなもない。 では、専門性により他のようなもない。 可以来を表現を表現を 可以来を表現を では、事門性により他のようなもない。 可以来を表現を では、事門性により他のようなもなられ 可以来を のなれた可能を に、特殊の及業に等を実施していき、競争性のな 大工を引を係るでは、	「新しい日本のための 優先課題推進枠」164	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等股機費 (大等項) 武器等高等の購入に必要な賠責	防衛省	- 0081 - 00			平成28年度対象
078 諸羅材則	薄入疫(空自)	不明	終了予定なし	28, 005	27. 637	27, 694 91	が都有識者の点検対象がである。		・機能の状況が継続していることから、要因分析のうえ、その 理由についてレビューシードにおいて説明も、執行の妥当性に かてい国限の理解等のもならがことともに可能を促進 事的な子類終行に努められたい。 一者な礼・一な素の分析を行い、更なら応札者等の拡大の 検討を行うこともに、コスト権威や効率をに向けた工夫の機計 に努められたい。	20, 432	21, 878	1, 446	-	執行等改善	・繊維は、原材料文は製造者に必要な部品の影響に係る期 断が原面の地面により当当時間高より長く要することとなっ たものや、販事業の直接があり、企画を接着まえた。 一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	「新しい日本のための 優先課題推進枠」866	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武嘉維高等整備費 (大事項) 武器維高等の購入に必要な報費	防衛省	- 0082 - 00			平成28年度対象

※平成	3 1年以降の表記は、新元号に読み替	えることとす	· 6.		平成30年	*			行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度	平成32年度			反映状況								(単位:百万円) 外部有識者点検対象
事業	事 業 名	事業開始 年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度 補正後予算額	as c	執行額	外部有識者の所見	評価結果	所見の概要	当初予算額	要求額	差引き B-A=C	反映額	反映内容	请考	担当部局庁	会計区分	項·事項		108	平成30年度レビュー 2つ目	 ・ (公開プロセス含む) 表記 (公開プロセス含む) 表記 (公開プロセス含む) 表記 (公開プロセス含む) 表記 (議費 由を記載 基金等
079	中央指揮システムの個別維持(中央システ ム)	H13	終了予定なし	2, 848	2, 848	2,841 外部有識者	識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・令和元年度は機材接続時限とのこと、システムの億料等は機材の更新時には既存企業以外の事業の参入の見込みがあることから、既存の取り組みである公告期間の起発し入れ情報の幅広い周知等だけでなく、応札者拡大のための検討を行い、新規参入の確保等による競争性の確保、引動られたい。	3, 345	2,581	<b>▲</b> 764	-	・一括領連によるコスト削減の検討及び契約実績等を分析 し、予算要求に反映した。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0083 - 00		 平成29年度対象
080	中央指揮システムの全体維持	H13	H31	1, 099	1, 099	940 外部有識者	進者の点検対象外である。	終了予定	参入の地球等による原甲性の地球に、プロジャルにい。 ・ 平成31年度で終了する事業ではあるが、一者応兆・一者応募の分析を行い、更なる応礼者等の拡大の検討を行う、要求内容の精査、といった本事業で得た効単化等のノウハウについては、今後、既仮の事業に適切に反映されたい。	802	-	▲802	-	予定通り終了 類似の事業に反映する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0084 - 00		 平成28年度対象
081	中央指揮システムの個別維持(専用通信)	H12	終了予定なし	808	808	797 外部有識者	業者の直検対象外である。	事業内容の一部改善	- 一般競争入札を実施しているものの一者応札の状況が見受けられることから、要因について分析するともに、引き続きる 各間間の延長や人は情か何能にい便知等の取組を行い、競争性 の向上に努められたい。 態度契約にあっては、原価精査や価格文学による価格面で の直汇化ささいに進えされたい。また、現在実施している効率 にのについては、更なる効率化のかの取録を確認されたい。	963	1, 799	836	-	執行等改善 引き続き、契約家舗等の分析及びコストを滅方策の検討等 を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」381	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な軽費	防衛省	- 0085 - 00		 平成29年度对象
082	通信維持費(統幕)	H18	終了予定なし	7, 399	7, 399	6,352 外部有識者	護者の点接対象外である。	事業内容の一部改善	・ 画館かみによれないて、一部があり、一部は大いの場合という。 ・ 画館から、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では	9, 357	8, 159	▲1, 198	<b>A</b> 3	- 高東東京 (研門、教皇) を見書すとともに、価格及び事 東市市の開発とより、3 200千円の経済を実施した。 に利息拡大による総合性の指揮については、引き続き方 策を検討し、競争性の推奨に対める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」787	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器事高等整備費 (大事項) 武器事同等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0086 - 00 防衛名	î - 0146 - 00	 平成29年度対象
083	中央指揮所の施設整備の維持	H12	終了予定なし	116	116	107 外部有識者	業者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・1者応札は積算単価が高額傾向となることから、競争性を高めるための工夫(英因分析とその改善は確実に実施し)や見積積置に当たり、建近の実施用を参考とするだけでなく、詳細な内駅を入手し、コスト低減の余地がないか検証し、価格交渉等において変なるコスト級減の券や放いか検証し、価格交渉等において変なるコスト級減に努めて致しい。	171	186	16	-	引き接き、公告展開の確保や入札情報の周知により1者応 執行等改善 また、詳細な見機内別を人手するとともに、その内容を構 走し、適切な価格欠渉を発売し、コスト細線に努める。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0088 - 00		 平成29年度对象
084	諸獅材等維持費 (統幕)	H18	終了予定なし	10	10	6 外部有識者	業者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 執行率が低い驾度 (30電度、56%) があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。 ・トラー等の利用品の譲進に高かっては、最等りの譲連機関と 共同額達を進める余地がないか執討してほしい。	35	34	<b>A</b> 1	▲ 0.223	・30年京の不用新については、毎村政策が当れ予測よりも 少ないこと等に起因するものであることを確認。 ・共同原連の可能性等の検討も含め、引き続き効率的な予 策執行実勢なていく、 ・執行実施を指えたとて、世様内容の見直しにより、 ZZZ子門の職産を励ることができた。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武福革而等至備費 (大事項) 武福革而等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0089 - 00		 平成28年度対象
085	車両の維持整備	H18	終了予定なし	6	6	6 外部有識者	護者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・使途を見ても東南の維持・海科品の購入とのことだが、同窓 間の他の事業と他のした事業時化とすることができないのか。 「本意を実施を関係しますることを参考をして世界を との事業が主要をしませない。 大きな事業が出来る。 は他のではずれば、同能の事業と は他した事業業化とすべき。 一般終予入れば取出するだれない。 多別の学の解に取り継か、一者がれの改善を図る余地がある のではないか。	7	7	-	-	(行政事業レビュー推進チームの所見を指まえ、1者応札に 取行等改善 でいて、十分な認認分部を行い、応募者数の拡大を図り効 率的な予算執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等登機費 (大等項) 武器等高等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0090 - 00		 平成30年度対象
086	気象通信端末の維持整備	H20	終了予定なし	0.5	0. 483	1 外部有識者	識者の点検対象外である。	現状通り	<ul> <li>通信提末の借料等は、機材の更新時には既存企業以外の事業者の参入の見込みがあることから、新規参入の確保に努められたい。</li> </ul>	-	-	-	-	現状通り 既似事業等において、機材の更新時期等に競争性を確保し た効率的な予算執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0091 - 00		 平成30年度对象
087	火器・装軌車等の修理(装軌車等外注整備)	H17	終了予定なし	10, 491	10, 491	10,697 外部有識者	進者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・開発事業者が関連技術・極めて高い専門性を必要とするな ど、やむを得ず随意契約を行わなければならない場合には、習 熱効果等を考慮した原価査定や価格交渉等による価格面での適 正化に努めるれたい。	13, 669	10, 988	▲2, 681	-	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、飯格な原価 教行等改善 査定や適正な価格交渉を行い、効率的な予算執行、予算要 求に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な軽費</li></ul>	防衛省	- 0093 - 00		 平成29年度対象
088	火器関係(部品・外注費)、装軌車関係(部品 費)	H17	終了予定なし	8, 031	8, 066	6,437 外部有識者	識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	<ul> <li>一般競争入札、公募を実施しているものの、一者応札、一者 応募の状況が見受けられることから、要因分析を行い、更なる 応札者等の拡大が創計を行うとともに、コスト低減や効率化に 向けた工夫の検討に努められたい。</li> </ul>	9, 178	13, 840	4, 662	-	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、競争性拡大 執行等改善 大・経滅方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な軽費	防衛省	- 0094 - 00		 平成28年度対象
089	火器・装軌車等の改善・改造	H17	終了予定なし	733	1, 861	1,849 外部有識者	進者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	連接して縁起があり、計画において登庫すべき火留等の整備 が遅れているのではとの印象を作れることから発図分析のう え、その理由について事業所管部局による直接構築のレビュー シーにおいて説明し、執行の単位について国産の運輸を得 られるようにするとともに可能と限り効率がよ予解状行に努め られたい。 ・ 緩秘案件においても、冒熱効果等を考慮した原価査定におい てコスト低減を図る余数があるのではないか。	2, 400	1,551	▲849	-	行政事業レビュー推進チームの所見を請まえ、レビュー サバ等改善 サードの定転を変更し、企業等への関き取り、市場開査に よりコスト低減力策等の検討を行い、効率的な予算執行、 予算要求に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項)武器率両等整備費 (大事項)武器率両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0095 - 00		 平成28年度対象
090	指揮所の近代化 (ハードウェアの整備)	Н5	終了予定なし	7.094	7, 094	6,977 外部有施引	進者の点検対象外である。	サ米いらい かから	、日本の主義の基本のからいていないが、 「国な原則・特性を整度しなが、支出をの選定を行っている とのことであるが、一般競争人利において一者な机かつ海札事 10 0 年となっているものがあることから、十分な型別分析を 実施し、応利者拡大のための総計を行い場争性の確保に努める れたい、競争性が確保できないのであれば、その状況の中で価 格低減のための検討を行われたい。	9, 133	9, 630	497	-	年度内に改善を検 本企業と単価低減に向けた効率化の延整を実施し、低減に 計 努めている。引き続き単価低減に向けた努力を実施する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器率両等整備費 (大事項) 武器率両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0096 - 00		 平成29年度対象
091	通信機器の修理等	H11	終了予定なし	2,836	2, 813	3,056 外部有識者	識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	原則として少額により入札者を多く男り競性を結婚していることから支援が実際をのことである。 者を第 すっとからないません こくからない はいません はいましん はいましま はいましん はいまん はいましん はいましん はいまん はいましん はいましん はいましん はいましん はいましん はいましん はいましん はいましん はいましん	3, 089	9, 360	6, 271	-	公事により競争性を確保しているが、一者な礼でかつ落札 事1005となっているものがあるため、要認分権を行うとと もに、応礼者拡大のための検討を行い、より競争性の確保 に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武昌東高等登曲費 (大事項) 武昌東南等の登集維持に必要な経費	防衛省	- 0098 - 00		 平成20年度対象
092	接輪車両の修理費の取得	H12	終了予定なし	3, 681	3, 927	3,675 外部有識者	識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 平成20年度、30年度の予算の状況を見ると、補正予算で取得 した開発用的が指導り継しとなっていることから、その理由等 についてレビュットとで呼らかにし、執行の妥当性につい て国民の理解が得られるようにすべき、 高業和ものもからくなっており、価格交渉等による価格面で の適正化に努められたい。	2, 683	3, 381	698	-	・補正予算で取得した同種相当分の値り越しについては、 需要地に相い、製造に不期の回数を要したため、至準度に 執行等改善・修理費で購入するものの多くは、純正都島の専用部店・ ・修理費で購入するものの多くは、純正都島の専用部店・ にしている。高利しているものとか考えれられるが、これ 以外の総品等について、可能とものは価格交渉等によって 価格電での選正を完成さるものとする。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等を機費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0099 - 00		 平成29年度対象
093	東両等の処分	H19	終了予定なし	34	39	26 外部有識者	業者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度(30年度,76%)があり、計画的な予算の計 上・執行の必需の余地がある。 ・他方、成果目標の連成度が毎年度90%となっており、加算的 に処理数が増えていくのではないか、適切な目標管理や財源を 有効に活用して機を連成する余地があるのではないか。	-	3	3	-	・行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、計画的な ・	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器専両等整備費 (大事項) 武器専両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0100 - 00		 平成29年度対象
094	自動車リサイクル法関連経費	H17	終了予定なし	19	22	12 外部有識者	護者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度(30年度、633)があり、計画的な予算の計 上、執行の改善の途地がある。 アウトカルについて、この事業の目標は何か、リサイクル等 を残害することにより、何を進死したいのか、各指製にどのよ うに繋びているかか、そういった点がりかるような目標管理 ぞすべきではないか。	17	17	<b>A</b> 0	-	・ 行政事業レビュー推進チールの所見を指まえ、計画的な ・ 再級のエアイップ、シュレッチがって、再級会連算には、 ・ 事態のエアイップ、シュレッチがって、再級会連算には、 ・ 報行等改善 かかを行うためには、カリナクル事がの変となりにあれる。 をなるが、出版事業は、「使用深外自動車の再変形化に では、出版本業は、「使用深外自動車の再変形化に では、出版本機とはのは、使用水外自動車に係る機業 物の選定な規定が変める物を開た。使用水・自動車に係る機業 物の選定な規定は受力の有効を用た。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等登録度 (大事項) 武器等同等の登儀維持に必要な経費	防衛省	- 0101 - 00		 平成20年度対象
095	接権車両の外注整備	Н5	終了予定なし	10	19	9 多いことが し、国民の 意契約にお	たリストを参加すると、一般競争人札を実施 さらのの、裏札平が100になっている契約が ともの。裏札平が1位になっている契約が ともの。 風化平が1位によっている契約が にものの無が4時へれるとうに、自 にあたっては、見積もり内容の構金を十分に 格の適正化に努められたい。		外部有識者の所見を指まえて、適切に対応されたい。	10	6	▲4	-	行政事業レビュー推進チームの所見を指まえ、価格の妥当 執行等改善 性を含め私行実態の分析等を行い、更なる競争性を高めた 予算執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等整備費 (大事項) 武器等両等の整備維持に必要な軽費	防衛省	- 0102 - 00		 その他
096	然料タンク車の水圧試験	Н5	終了予定なし	5	6	等のはもない。 「日本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	条約1000人のが見受けられるが、その確認 がレビューツーとで明らかにし、國際へ 順程を表すべき。また、少階級別において 値を表すべき。また、少階級別において 他を力値なたる機がも四の月半日により、天 であるが、まる競争性のの月半日により、天 であるが、まる競争性のの日といった。 にあるかの環目に関いておけた。 記載さるのの環目に関いておけた。 記載さるのの環目に関いておけた。 記載であるが、 には、 であるが、 には、 であるが、 には、 であるが、 には、 であるが、 には、 であるが、 には、 であるが、 には、 であるが、 には、 であるが、 には、 であるが、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	8	2	<b>≜</b> 5	-	・ 放映表面は法定表面が主体であり、高原利となるものと 考えられるが、これは外のコスト組度方面等の吸引を行 考えられるが、これは外のコスト組度方面等の吸引を行 等力を必要を 有からの皮肤を増加することに加え、事業者選定及び毎時 製行等改善 ・ 「事業而管部部による危険、改善」のう。「国東因及の の工程を検討したる危険、改善」のう。「国東因及の を入りました。 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器東高等を機管 (大事項) 武器東南等の整備維持に必要な経費	訪衝省	- 0103 - 00		 その他
097	<b>七字器材の修理</b>	H17	終了予定なし	663	590	限定的で到当たりコス ることが1 573 ・「発注の な算定基8 格の妥当性	基準を満たした見積となっているか」等、値 当性を追求し、レビューシートにおいても国 説明を果たすべく、透明性の確保に努めるべ	事意内容の <b>一部</b> 改革	外部有謀者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	748	751	3	-	展られた予算の中でで可能率を向上させるため、修理す 執行等改善 へき器材の使先無能や使用を指すえ、効率的な予算執行、 予算要素に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等整備費 (大事項) 武器等高等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0104 - 00		 その他
098	克弾等の外注処分	Н9	終了予定なし	647	647	641 外部有識者	<b>業者の点検対象外である。</b>	現状通り	・引き続き、部品の利活用等を通じたコスト低減及びまとめ発 注の検討等も含めて効率的な予算要求・執行に努められたい。	203	207	4	-	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、更なるコス 現状通り ト低減方策等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求 に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0105 - 00		 平成27年度対象
099	通信衛星の中継機能の借上 (三幕共同)	H2	Н33	802	802	802 外部有識者	識者の点検対象外である。		・一般競争入札により競争性を確保しているとのことであるが、熱要的に一者な札かつ海札率1000の状況となっていることから、要因が所のうえ、その理由についてレビューシートにいて以明し、事業者選定及び価格の妥当性について国民の理解を得られるようにされたい。	592	569	▲23	-	- 総競争入札による一者応札の分析を行い、更なるコスト 核行等改善 経済方集等の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に 努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0106 - 00		 平成27年度対象
100	航空機搭載通信機器維持・通信部品	\$47	終了予定なし	7, 141	7, 141	7,133 外部有識者	識者の点検対象外である。	TRODO NAT	・ 原生品の活用や必要な部材等の一括調達などの更なるコスト 総滅方第についても検討し、適切な予算要求、執行に努められ たい (仮に既に実施している総滅の取組があるのであれば、内	1, 422	4, 381	2, 960	-	年度内に改善を検・民生品については既に活用している。 ・ 日生品については既に活用している。 ・ 日報連などのコスト経道方策について検討を行い、適 がひて予算表す。執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費 (項) 航空整接機費 (大事項) 執空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0107 - 00		 平成28年度対象
101	Kuバンド衛星通信用経費	H18	終了予定なし	1, 769	1, 769	1,769 外部有識者	維者の点検対象外である。	現状通り	容についてレビューシートに記載してもらいたい)  ・引き続き、今後の通信所要を含めたコスト低減方法等の検討等を不断に行い、経費節減を追求されたい。	4	-	<b>A</b> 4	-	次期Xパンドの整備事業の進捗を踏まえ、Kurパンド通信量 現状通り を系制的にモニターし、Kurパンド販査通信の通信量の減少 質について通行に反映し、接受動産注意メレいく。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(大争項) 航空機の整備権押に必要な経費 (項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0108 - 00		 平成27年度対象

事業	1年以降の表記は、新元号に読み替え 事業名		る。 事業終了 (予定)年度	平成30年度	平成30年度	外部有識者の所見		行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き		I	反映状況	请考	担当部局庁	会計区分	填·事填			平成30年度レビコ	ーシート番号	(単位:百万円) 外部有識者点検対象 (公開プロセス含む) 委託 補助 基名
番号	P * *	事業開始 年度	(予定)年度	補正後予算額	執行 可能額 執行	77即有線400所見	評価結果	所見の概要	当初于异极 A	安水級 B	B-A=C	反映額		反映内容	38 -5	担当即利汀	去紅色刀	-म् कम्		1つ目	2つ目	3つ目 3つを超える	※対象となる場合、理 調査 金等 基金 場合 由を記載
102 ši	霧維持費(海自)	\$30	終了予定なし	38, 410	38, 574 3	34,803 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度、予算を懸り蒸していることからその面部をレビューシートに加強し、終行の基金性について面の回路を手向されるようにするとともに可能な限り効率的な予算執行に努っられたい。 競争性を実からたかのエネケ児規模者に当たり、選近の実施がないが検証し、価格交渉等において変なるコスト域、減の場故がないが検証し、価格交渉等において変なるコスト域、減に努かてられていませ	49, 331	37, 097	<b>▲</b> 12, 233	<b>≜</b> 88	総波	・繊維素限についてもの理由を「事業の効率性」の傾に起 取した。 無効実施の分析を実施するとともに、各事業に応じてま 生命の採用や仕機事等の見能しなびまとめ取いの可能性 油水等を実施し、今後も変なる競争性の拡大、品目、数量 の効率化に関係 ・執行機を指するた上で、仕様内容等を見直し、88.00 千円の解放を図ることが出来た。	で 「新しい日本のための 優先課題推進枠」 15,436	) 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器等高等登儀費 (大事項) 武器等高等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0109 - 00			平成28年度対象
103	<b>而维持程</b> 費	S29	終了予定なし	249	259	255 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・アウトカムについて、この事業の目標は何か、東南を維持す ちことにより、何を達成したいのか。特にこ位施製にどのよう に貢献しているかか。そういったがかからような機能管理を デー が過ぎ契約に係る付款を料が敷見される。要別について分析 し、競争を表示なる工夫に努め、複数社の参入において、価格 の妥当性を追求されたり。	239	285	46	-	執行等改善	部隊の即応性確保のため、専両を良勢に維持すべく本事業 予事の経済的執行に努める。	ま「新しい日本のための 優先課題推進枠」285	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器等高等登繳費</li><li>(大等項) 武器等高等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0110 - 00			平成27年度対象
104 #	月給油車タンクの定期検査経費	\$51	終了予定なし	7	7	5 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度 (29年度。43%) や予算額を超過している年度があり、計画的な予算の計上・執行の改善の余地がある。	3	-	▲3	-	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き、 計画的な予算の計上・執行の改善に努める。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項)武器車両等整備費 (大事項)武器車両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0111 - 00			平成30年度対象
105 7	イナーオーバーホール	\$47	終了予定なし	14, 260	14, 491 1	11,658 外部有識者の点検対象外である。		・執行率が低い年度(30年度、305)や予算額を超速している年度があり、対策的な予算の対土・執行の必要の参加がある。 度があり、対策的な予算の対土・執行の必要の参加がある。 下登事である。 で登事である。 「登事を受ける。 「最後を受ける。 「職業契約や一本化の条件は、別をしないを受ける。 「職業契約や一本化の条件は、別をしないを発しませる。 「職業契約や一本化の条件は、別をは、別をは、別をは、別をは、別をは、別をは、別をは、別をは、別をは、別を	12, 121	9, 672	▲2, 449	<b>A</b> 77	總減	・株円率の核い年度や予算部を超過している元章とつい て、要因の体を行い、予算変形と反映していく。 ・今後、超越経を拡減させるよう事業管理を選切に行って いく。 ・ 確認実例やや一部の利の条件を含め、原価務差により価格 定り可能で比別から上で、仕機内部の月度(レラネを製 を務金することにより、77、434千円の総減を図ることが できた。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機聚機費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0112 - 00			平成28年度対象
106	スタービン機関組部品のオーバーホール	Н5	終了予定なし	1, 652	1, 652	1,997 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して執行額が予算額を超過していることから、要因分析 のうえ、適切な予算要求、予算執行に努められたい。また、執 行額が予算要を超過している理由について、レビューシートに おいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られるよ	2, 301	2, 616	315	▲309	総減	・機関要求時に770組であった線出予算での整備計画 を、概算要求時に42組を国債での整備計画へ先送りする ことで、309,112千円を総減した。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 却	一般会計	(項) 艦船整備費 (大事項) 艦船の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0113 - 00			平成28年度対象
107 #	<b>有一般整備費</b>	H17	終了予定なし	1, 939	1, 939	1,909 外部有機者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	3 にすべき。 3 にすべき。 1 にすべき。 ・一般競争人札、公募を実施しているものの、一者広札、一 市場の状态が見受けられることから、要因を分析のうえ、更な る応札者都の拡大の検討と実施し、競争性の向上に努められた い。 また、引き続き、契約実施の分析反び、アト低減方製の検討 とも行い、効率のなり不算来来、予算条件に努められたい。	2, 315	2,099	<b>▲</b> 217	-	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、一般競争 入札における一者応札、一者な悪の変別が称を行い、競争 性の塩大に関する検討を行うとともに、更なるコスト低減 方薄準の検討を行い、効率的な予算執行、予算要求に努め る。	「新しい日本のための 優先課頭推進枠」	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武苗華南等整備費 (大事項) 武器華南等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0057 - 00 防衛	省 - 0116 -	00	平成29年度対象
108	助車再資源化等預託金	H17	終了予定なし	1	0. 759	0 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	引き続き、予算要求に当たっては、予算執行率等を反映し、必 要経費の予算要求に努められたい。	1	1	-	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、、予算要求 に当たっては、予算執行率等を反映し、必要経費の予算要 求に努める。	R -	防衛装備庁 プロジェクト管理 都	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0117 - 00			平成30年度対象
								<ul> <li>一般競争入札により競争性を確保しているとのことであるが、結果的に一者応札かつ落札率100%の状況が教見されることから、要因分析のうえ、その理由についてレビューシートにお</li> </ul>						32 m 32 m 39 0		100			1				
109 \$	股車両整備費	H17	終了予定なし	325	325	310 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	から、変めの前切り入、その場所し、2012年について個長の理解 にて認明し、事を選定を必能機能の受害性でいて個長の理解 に、制き性の向上に努められたい。 ・ 在車や日本のの差数を基準し、力えての情報を回義主、定 指修理期限やオーバーホール期隔の見重しなど、コスト経滅方 変の検討を手の形に実施し、その数果を反映することにより、 更に効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	298	298	-	-	執行等改善	無額争入場における一社広場になる要認分所を行い、報 参配の施力に関する機計を行うとともに、さらなるコスト 低速度の機計を行い、効率的な予算執行、予算要求に努め 6。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武高等高等整備費 (大事項) 武高等両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0118 - 00			平成27年度対象
110 %	*漢言支援機能の整備	H22	終了予定なし	203	203	・支出先リストを参照すると高落利率となっており、機能が高ままりになっていら前をを持つ。 1 他を受かる人を発展しません。 1 他を受かる人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の	保 す 入 事業内容の一部改善 、 なが を	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	192	1, 259	1,067	-	執行等改善	・外部有識者の所見を請まえ、仕様及び見積りの概要を実 思し、信格低減に努める。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器集両等整備費 (大事項) 武器集両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0119 - 00			その物
111 1	始業務用車両の取得	H24	終了予定なし	26	22	24 外部有識者の点検対象がである。	事業内容の一部改善	・一般競争人長により入札参加者を多く高り競争性の機関に努 めていることから、支出先の選定は実施とのことであるが、一 事をお札が見受けれることから、実団についてが何に、その結 原をレビューシートに記載することにより支出た選定の会当性 について観光の服务等待ちれるとういうもととは、その分析 開業を設まえる礼格拡大のための動計を行い、競争性の確保に 別き他後、実別期の分階を近った。経済力能の機計等を行 い、効率的な子事変表、予報析に努められたい。	12	9	<b>A</b> 3	-	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、1 者応礼に ついて、十分な実施が指を行い、応募者数の拡大を関リ效 学的な予算執行に努める。		防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等登機費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な賠貸	防衛省	- 0120 - 00			平成30年度対象
112 ji	宮機器購入費(統幕)	H26	終了予定なし	41	41	20 外部有限者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・併生、執行部が予算器を下層っており、特に一項30を度はあ ・予算器の得りを終行していない状である。環由となっことである。 近の57場間を見な続した結束であり実施である。なつことである。 近の57場間を見な続した結束であり実施である。なつことである。 いかとの印度を持つ、このりと単純をの20世界が設定機構造の の分析等を十分に行い、適切を予算は上記リ予算終行に努める またり、常かのレニーンート「配置を終了人を発きる。 またり、常かのレニーンート「配置と対し、並べかのの自動向 上に努めたものでいる。が、というに、変更を分析し、主がの 上に努力をもなっているが、どのもうに変更を分析し、実力に は大力にかの検討をとびまうと行っているのか、国際に分かる よう異体的にレニーンートに配置すべき。	101	24	<b>A</b> 77	-	執行等改善	・ の利害を拡大させるため、事業要求内容を構定し、とい 原料性が成くなような変ポップである。もして、事業研究と 構築社に対して、事業研究を変素で、ことは外のも、 実別を解析により、事業研究、内容の構造を検索し、 連 切な予算計上に努める。	) - 「新しい日本のための 優先課題推進枠」4	) 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器等高等登積度 (大事項) 武器等同等の購入に必要な軽度	防衛省	- 0121 - 00			平成27年度対象
113 🛭	影情報通信基盤(011)の整備	H13	終了予定なし	25, 436	25, 436 2	21,440 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・機器の億分上げやネットワーク環境の構製においては、継続 的に既存の会社が突出しており、既存の会社の条料性において、 環境等性が機合うというのと思するが、及階質的に向けて、 であった。 「からいるたれば、一般競争における機能の差性返表には 展系があることが影対方の必要性を経済のうえ、感機圏に 注力した物態を推進し、機器の低減に努めてほしい。	37, 754	38,616	862	-	執行等改善	・一般調酔における調酔性の環境を認るため、複数社が 入できるよう工作を整理するとともに、効率的な予算要求 及び予算執行に努める。	B 「新しい日本のための 優先課題推進枠」 1,664	防衛装備庁 プロジェクト管理 整備計画局	一般会計	(項) 防衛本典共通費 (大事項) 施和本書一般行設に必要な経費 施和等無期等の選集に必要な経費 施上自確認の選集に必要な経費 海上自確認の選集に必要な経費 海上自確認の選集に必要な経費 海上自確認の選集に必要な経費 (項) 政事項事業の整備維計に必要な経費 (項) 新電力基準費 (項) 新電差申費	防衛省	- 0122 - 00			平成20年度対象
114 ji	書籍持費(空自)	\$37	終了予定なし	43, 974	43, 609 3	18.240 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度機越を発生させているところ、計画において整備すべき機材の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を通 切に進めるべき。 ・一般紛争契約に係る「者応札が教見される。要回について分析 し、競争性を高める工夫に努め、複数社の参入において、価格 の妥当性を追求されたい。	59, 298	41, 814	▲17, 484	-	執行等改善	・事業管理を適切に実施し、器材の整備を通切に実施していく。 いく、 ・一般競争人利における競争性を確保するため、複数社への参えを促進する方策について検討し、価格の妥当性を選 戻する。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」 15,763	) 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器率両等整備費 (大事項) 武器率両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0114 - 00防衛	省 - 0115 -	00 防衛省 - 0123 - 00	平成28年度対象
115 \$	設機械の修理	H17	終了予定なし	1,817	1, 839	1,135 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行事が低い年度 (30年度、52) があり、計画的な予算の計 と、執行の認力会ががある。 ・他方、成果目標の温度度が毎年度の%となっており、加算的 以限度数が限えいるではないか。適切な目標管理や対策を 有効に満用し程度を追求する余地があるのではないか。 非常出点とリストルトルラインに一般競争人はこか。 環境はからかかないます。 環境はからかかないます。 実施したのでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	1, 159	1,784	625	-	執行等改善	事業の特性上、膜連においては器材の故障状況による部類 からの起近の理理を放映させている及び課機能においては 多種等和な器材で対象のメーカーが選生し、影響等 利息が3番による一世が利比やむを得ないところではある が、機合性をある影響を登録がことととに、影明性 は、企業等に関係収集をする。また、引き機を定数又影響 は、企業等に関係収集をする。また、引き機を定数又影響 の文強機関の基準の可能性について分析・検討してい く。	-	防御装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器率高等登機費 (大事項) 武器率高等の整機維持に必要な経費	防衛省	- 0124 - 00			平成27年度対象
116	馬用付属品の取得	H12	終了予定なし	1, 740	1, 285	1,326 外部有限者の点検対象外である。		・随意契約かつ高落札率となる状況が見受けられることから、 随意契約に当たっては、可能な限り詳細な見刻内容を入手し、 コスの・海域の主に対象し、一連切の歯板大学により、変なら歯 は、一連切のは一般を対していることから、悪切が他のうえ、その 理由についてレビューシートにおいて説明し、報行の当他性 フリンに関係の数率をあられるようにするとともに可能な限り効 率的な予算執行に努められたい。	1, 158	1,059	<b>▲</b> 98	-	執行等改善	・附属品には、特殊タイヤが含まれるが、この製造は高度 な技術を要するため、製造できる産業自体が少ないことが た。応格者がかなく規則か、高条化となったものと考え、 れる。このため、行後事業とピュー増進テームの所見を除 罪を行い、さらに競性性を振動からの対策を検討する。 ・様正子算で原発・化をでいる。 ・様正子算で原発・化をでいる。 ・様正子算で原発・化をでいる。 ・様正子算で原発・化を変換が見ばしていて、 ・様子様では、製造して一般の分の分類を使けるため、単年製、 ・様と手をできまった。	n o a a a a a a a a a a a a a a a a a a	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器専済等登機費 (大事項) 武器専用等の購入に必要な経費	防衛省	- 0125 - 00			平成27年度対象
	空車両更新分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	\$29	終了予定なし	dr 1_(2) 200 W	- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- 外部有識者の点検対象外である。		・航空車両を計画的に更新するとなっているが、活動美術は平 版 2 9 年度のようのかであり、他の中度の更新がない状でする もまた、レビーートに高級機能を対したのであったもの もまた。レビーートに高級機能を対したのであったもの している。活動機能に至合ったものと特殊した理念が必需度が みれば必需性とある。具体的レビューレートに応載し、国保 への認明責任を果たすべき。	-	- Ponda - 345.		· 福建他用油品	執行等改善	予算制的を踏まえ、更新対象専両に施先線位を付与の上、 引き続き計画的な予算の計上・執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 武器等高等登機費 (大事項) 武器等高等の購入に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0126 - 00			平成30年度対象
118 3	用入费	\$33	終了予定なし	129, 685	126, 032 12	・単位当たりコストの水準の比較として市沢価格 比較されており、また、スケールメリットを開待 たまとめ買いやリードライムの機関は評価できる 一倍力、繊維が毎年度を生しており、計画的な事 の推進に努めてほしい。	と に 。 現状通り	(国際・海田共和国標・海省の支援、より国際や利益の活動の方面の方面の方面の方面の方面の方面を指すます。通明に対応されたい。	103, 863			-	現状通り	外部有温者の所見を踏まえ、引き続きコスト低減方法の移 計を行い、効率的な予算要求、執行に努める。 観観については、予要要求なが再数がの事性を素める べく当該年度内の執行を追及していく。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項)防衛力高盤整備費 (大事項) 運用高盤等の整備に必要な経費 別機・漢面の実施に必要な経費	防衛省	- 0127 - 00			その他
	最名:I-(1) 周辺海空域における安全諸侯、I- 	(2) 島しょ部に H5	対する攻撃への対 終了予定なし	no : 1=(3) 殊道ミサイ -		・自己点検においては、平成29年度に一括調達を 施し6機を契約していることが記載されているが、 どの程度の総が行のこれたがしだっことした	記が、事業内容の一組改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	2, 566	3,569	1,003	-	執行等改善	高視疑的はに基づく一様振進により、総総約73億円の股 規能減を行った。引き続き、まとめ夏い等の効率的な予算 執行に見めていきたい。	至「新しい日本のための ・優先課題推進枠」 2,906	) 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 核立規型機関 (大事項) 核立機の購入に必要な経費 (大事項) 特定防電調連航立機の購入に必要な経費	防衛省	- 0128 - 00			その他

※平成	31年以降の表記は、新元号に読み替え			平式のの作業	平成30年	度			行政事業レビュー推進チームの所見		平成32年度	差引き			反映状況							平成30年度レビュー	ーシート番号	(単位:百万円) 外部有職者点検対象
番号	事 業 名	事業開始 年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度 補正後予算額	執行 可能額	執行額	外部有識者の所見	評価結果	所見の概要	当初予算額 A	要求額 B	B-A=C	反映額		反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項·事項		1つ目	2つ目		(公開プロセス含む) 委託 補助 ※対象となる場合、理 調査 金等 由を記載
120	乙類 (航空機)	\$39	終了予定なし	2, 298	2, 138	2, 054	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・機越の状況が輻続していることから要因分析のうえ、その理由について事業所管部局による結構機等のビューシートにおいて認明し、取りで認明し、最初の要者性について国際の国際を与れるようにするとともに可能な限り効率的な下算時代に努められたい。 ・機能更終的に乗っては可能な限り効率的な事業時代に努められたい。 ・機能更終的に乗っては可能な限り接触な見機的を発しましてコスト組織の余地を検証し、機能な原施業をや適切な価格交渉 等により、変とる機能の変活性と対象られたい。	1, 833	523	▲1,310	-	執行等改善	・所見を踏まえ、縁越の状況が継続している理由について 分析し、事業所管部局による点数概を記入した。 株式の妥当性について国民の影響を得られるよう分析等 を行い、引き継ぎ効率的な予算執行に努わる。 施施契約においては料に、引ききコスト総滅の余地を 検証し、無格に再婚者を一場の追溯を次等を行い、更な る機の受労性の上に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器率両等発債費 (大事項) 武器率両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0129 - 00			平成29年度対象
121	果英克斯	H22	終了予定なし	1, 419	1, 218	1, 206	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年経越があることから、計画において更新すべき専用の更 新が遅れているのではどの可象を持たれることから、専業所管 部が認れてはる機能短端を它能は、場所の受害性について には、現所の受害性について、 のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	1,539	467	▲1,072	-	執行等改善	行政事業レビュー構選チームの原見を指まえ、今後については、総督書を開催していくとをは、一部総参入利、の機能の書きの参考を実施し、変なる力・経滅方案の機計を行い、効率的な予算執行、予算要求に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器専高等整備費 (大事項) 武器専高等の購入に必要な経費	防衛省	- 0130 - 00			平成30年度対象
122	整礦用部品	\$28	終了予定なし	4, 652	6, 103	6, 098	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ライセンス等に基づく随意契約については、原価精査や価格 交渉等による価格面での適正化に努められたい。 また、引き続き、契約実績の分析及びコスト総減方策の検討 等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な 予算要求、予算執行に努められたい。	9, 407	21, 487	12, 081	-	W11462	- ライセンス等に基づく随意契約については、引き続き原 価額査や価格交渉による価格面の適正化に努める。 ・契約契頼の分析及びコスト総設方策の検討等を引き続き 実施し、効率的な予算要求及び執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0131 - 00			平成28年度対象
123	定期オーバーホール役務費	\$29	終了予定なし	8, 529	5, 836	5, 799	外部有識者の直検対象外である。	事業内容の一部改善	- 毎年度機越を発生させているところ、計画において整備すべき機材の影情が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を通 切に進めるべき。 ・ 規学性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高素料率が機関する傾向があることから、価格画に注力した数据をさらに推進し、価格の秘滅に努めてほしい。	8, 728	8, 801	73	-		・超越の状況については、予頼しない不具合衆生による途 助作業が学生したのであり受まだが、執行の当性につ いて国民の理解を得られるよう引き続き分析等を行い、効 率的な予算執行に別める。 ・引き続きつよう機能の水地を検証し、振椿な原価査定や 適切な価格分渉等を行い、更なる価格の妥当性向上に別め る。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0132 - 00			平成28年度対象
124	部品整備役務費	\$29	終了予定なし	8, 480	8, 432	7, 595	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落礼率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	7,077	8, 597	1, 520	-	執行等改善	<ul> <li>引き続きコスト総滅の余地を検証し、厳格な原価査定や 適切な価格交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上に努め る。</li> </ul>	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0133 - 00			平成28年度対象
125	航空模技術管理	H10	終了予定なし	288	288	280	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・公募による随意契約を実施しているものについて、高落札率 状況が見受けられることから、随意契約に当たっては、可能の 無り指揮に受験的をようもし、コスト組織の必由を検証 よしてあったから、「機能」がより、更なる価格の必当性の よして努められたい、「機能」がより、一般に対している。 「自そ続き、入別を振力の手なしてより、効率的な予算要 本、予算板に対しるたれたい、「機能」	302	302	<b>A</b> 0	-	執行等改善	・引き続きコスト総滅の余地を検証し、振格な原価者定や 適切に個数交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上及び効 率的な予算要求、予算数行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機器機長 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0134 - 00			平成27年度対象
126	航空機修理費(陸自)	\$38	終了予定なし	13, 760	13, 911	13, 517	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	PBL契約の導入によるコスト級減勢力、また、競争性を選 使するため、適年で心事を受け付けるなど、応礼者を増やす券 力は認められるが、公弟を実施しても、一者応募のため越衰刻 約としている依沢を指すえると、粉減的な競争性を求めるので はなく、十分に守を搭重し、通知性を確保したうで、 随意 契約とすることも検討し、原油機能や嫌化がよって、 随意 実際のたまがよいのではないか。	18, 985	10, 800	<b>▲</b> 8, 185	-	執行等改善	・仕様内容を精査し、透明性を確保したうえで随意契約へ の移行の検討を行う。 ・引き続きコスト階減の余地を検証し、厳格な原価査定や 通切な価格交渉等を行い、更なる価格の妥当性向上に努め 6。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費 特定防衛調達航空機の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0135 - 00			平成28年度対象
127	航空一般部品	\$47	終了予定なし	26, 175	25, 466	32, 070	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連枚して総裁があり、計画において整備すべき高杯の整備が 選れているのではと印象を持ち、事業管理を通明、進めるべき。 も、 ・ 執行艦が予算部を認過している状況が顕著しているので、要 因分解のうえ、適切な予算要求、執行に努められたい、また、 材が部分予算部を認過しているではしていなては、レビューシー トにおいて説明し、執行の妥当性について国民の理解を得られ えようにすべき。	31, 784	20, 784	<b>▲</b> 11,000	-	年度内に改善を検 計	・今後、続越額を修道させるよう事業管理を適切に行っていく。 いく。 ・ 執行部が予算額を起過する割合を軽減するよう、適切な 予算要求、執行に努わる。 20年度に執行機能が予算額を超過している理由は、予定よ りも都品の所要が多く発生したためである。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整機維持に必要な経費	防衛省	- 0136 - 00			平成29年度対象
128	諸器材等維持費 (空自)	不明	終了予定なし	12, 594	12, 448	10, 894	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	をサイン・した ・ 仕様書等を見直すことにより、更なる効率化に取り組んでいることは評価できる。引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト総議の検討を行い、効率的な子集執行に努められたい。 ・ 依然として不用学が大きいので、さらに詳細を要因分析を行い、予算要求、予算執行に適切に反映されたい。	14, 826	14, 755	▲71	-	執行等改善	引き続き、契約実績の分析及び更なるコスト低減の検討を 行い、効率的な予算執行に努める。また、執行率について も、平成30年度に改善しているが、引き続き要因分析を 行い、適切な予算要求、予算執行に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」85	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0137 - 00			平成28年度対象
129	航空管制器材の損耗更新	Н4	終了予定なし	17	17	10	外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・不用率が大きいため裏別分析のうえ、その間面についてレ ピューシードに対して規制し、終行の急性について間反の間 修用等らなようにするとともに適切な予算要素、級行に努め られたが、この、一般競争人似の服象、1きな利とないでしている。 いるようだが、薬別分析のうえ、その間由についてレビュー シードに対して関係し、事業者を変との理解の受害性について 国及の理解を得るからなようにするととして必える数されための 機能を実施し、接触を対象の上に努められたい。	74	1, 937	1, 863	-	執行等改善	当該原連の前提条件や原連社機等の情報を予め整理し、 それらの情報を複数の業者に提供したうえで十分な機算展 間を確保するなどして、複数の参考見積もりを取得・比較 検討していきたい。	-	防御装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器東京等登曲費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な程費	防衛省	- 0138 - 00			平成29年度対象
130	鹿船南品の登儀	S29	終了予定なし	1,553	1, 582	1, 582	・事業所管額所による直接・改善を参照すると、子 第執行の効率化に努かていることは認められるもの の、高高料率の契約が燃見まれることから、契約 明の分階及び至めるコスト性減の場合にい、また。 明な子類が、予算要求に努かられたい、また。 している情報が、予算要求に努かられたい、また。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	度 算 事業内容の一部改善 :	外部有識者の所見を踏まえて、遺切に対応されたい。	1, 243	1, 494	251	-	執行等改善	艦船電品の中には特殊な技能が実まされるものもあるため 他か堂作と共同期率が難しい一部もあるが、引き継ぎ効率 的に執行を行うため、応礼者の拡大等の検討に努めてい く。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」328	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(実) 武器事高等登備費 (大事項) 武器事高等の購入に必要な経費	防衛省	- 0139 - 00			その他
131	凝集艦 (006)	H27	Н32	49, 772	49, 772	49, 978	外部有識者の点検対象外である。		・一般競争入札において、一者応札かつ藩札率10%となっているものがある。十分な要因分析を実施し、その触集をレビューシートに記載することにより支地大型の妥当性についている。 の国無を得られるようにするとともに、その分を衝棄を踏まる。 なれる若なかなのか成計を行い、競争の確し、その分のもあるわれたい。 また、引き続き、契約実施の分布及びコスト総減方実の検討 等を不断に実施し、その結果を返映することにより、効率約な 予測を表、予算を所に努めるただい。	58, 039	22, 039	▲36,000	-		要原分析を行い、業者選定及び価格の妥当性について確認 のうえ、レビューシートに記載した。 契約実務の分析なフェイ 極端方面、砂点が音を実施し、そ の概要を放けることにより、加率的な予算要求、予算執 行に努める。	-	防御装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(第) 平成2 7 年度中以型管機能達量 (本事項) 平成2 7 年度中以型管機能達達に必要な経費 (第) 平成2 8 年度中以型管機能達量 (末第) 平成2 8 年度中以型管機能達達に必要な経費 (第) 総給費費 (大事項) 年級経達達に必要な経費	防衛省	- 0140 - 00			最終実施年度
	ティルト・ローター機(V-22)の取得	H30	終了予定なし	60, 407			外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き、米国と調整を密にし、適正な価格低減の取組を推 進されたい。 また、諸外国の情報を入手したり、原価の情報を入手する 等、可能な振り、ティルト・ローター機(ソー22)の取得面 格の書替性について、レビューシートに記載するなど国民の理 解を得るための工夫をすべき。	61, 226	427	<b>▲</b> 60, 799	-	執行等改善	・引き続き米国との顕整を密にし、適正な範囲内におい て、価格低減の取り組みに努める。 ・諸外面の情報を入手したり、原価の情報を入手する等、 可数な限り、適価の立当性について国民の理解を得るため の工夫に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 新空機型清費 (大事項) 新空機の購入に必要な経費	防衛省	- 0141 - 00			平成30年度対象
	施策名:1-(1) 周辺海宮城(こおける安全降保、1- 本上航空作戦指揮統制システムの整備		有する攻撃への対 終了予定なし	ら、I-(3) 雅道ミサイ 41	41		が成果高等への対応、1-100 情報機能の強化 外部有識者の点検対象外である。		- 単位当たリコストをみると「遠去契約水準なので受害」とあるが、価格の妥当性がこの形迹からでは本等である。価格の妥当性について分析、直接指を当まする会かがあれば、見間指数等において更なる経覚数は注道求えれたい。 また、それらの報度とピニッシーに記載し、より透明性を接収する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-	3, 128	3, 128	-	年度内に改善を検討	・所見のとおり、競争性を確保するために他社が事業に参 入できるよう性様の見直し等を関係部落等と検討を機械し ていく。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器専用等登機費 (大事項) 武器専用等の購入に必要な経費 (大事項) 武器専用等の整機維持に必要な経費	防衛省	- 0142 - 00			平成30年度対象
134	地域通信処理システム用器材の億料	H18	終了予定なし	343	343	346	外部有識者の点検対象外である。		・機器の借り上げにおいては、継続的に既存の会社が受注して おり、既存の会社の有料性において競争性が働きづらいものと おり、既存の会社の有料性において競争性が働きづらいものと 計等)をし、それでも振学性が働きづらいものであれば、一般 数争における階級の要性性違水に譲渡があることがら契約方 式の妥当性を軽減のうえ、価格面に注力した数据を増進し、価 格の成派に努かてほしい。	2, 855	3, 043	189	-	執行等改善	行政事業レビュー推進于一ムの所見をふまえ、調運単位を 運用とのパランスを考慮した上で再検討を行う。 また、報達選定の見慮し、故障策績等を基にした運用と保 守禁中の見慮し等。既契約策値の見慮しを策施し、適切な 執行を追及する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0143 - 00			平成30年度対象
135	情報支援システムの維持整備	H12	H32	579	579	561	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・情報システムの機器の借り上げにおいては、継続的に既存の 会社が見上する傾向があり、既存の会社の有利性において観か にが備さらいよりと思味するが、実現的に向けて、複数社 の多人のユエギ(領きかけ等)をし、それでも無性性が増さう。 いらっておいば、出機をしたける自然の支柱は進れては原本 いらっておいば、出機をしたけるを検索してはない。 メディーの機を作用して、 のでは、一般的では、一般的では、 のでは、一般的では、一般的では、 のでは、一般的では、一般的では、「人の機を指定し、一般的では、」	660	563	▲96	-	執行等改善	3 2 年度末に事業終了となるものの、システムの維持整備 及び消耗品の取得に関し、引き続き効率的な予算執行に努 める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器専高等登機費 (大事項) 武器専高等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0144 - 00			平成29年度対象
136	海上作戦動隊指揮統制支援システム用器材 (借上)	H14	終了予定なし	1, 473	1, 473	1, 390	・原則として一般競争入札により入札参加する事。 服舎性と確認に関かているとのことだが、一般機会 規令性と確認に関かているとのことだが、一般機会 規約となっており、今後、成れ者拡大のための競 を行い、競争性の向上に関かられたい。 ・また、引き続き、契約策機の分析派びコストに設 が実の検討となったり、乗のか予算要求、予算数で に対象られたい。	ま 事業内容の一部改善 変	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	1, 338	1,945	607	-	執行等改善	・会和元年度の高村更新においては、原発事業者と連用事業者を必要所 業者等の提供分類を通切に実施し場合性を集めることによ り等値全数が多、対策をよならよう分割の が、 は、世報と、 東直し、加等的な予算要素、予算執行に努める。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器専用等登機費 (大事項) 武器専用等の整機維持に必要な経費	防衛省	- 0145 - 00			その他
	施策名:1-(1)周辺海空域における安全確保、1- 早期警戒機(E-2D)の取得	(2) 島しょ部にす H27	対する攻撃への対 終了予定なし	さ、1-(3) 弾道ミサイ 30, 129	ル攻撃への対応 30,129		報機能の強化 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、米海軍の取得時期に合わせた調連を行うなど、機 体取得に係る経費の更なる低減を図るため、米国政府との価格 空池に努められたい。	7, 753	17, 172	9, 419	-	現状通り	・米国政府と調整し、米海軍の取得時期に合わせることに より、取得に係る経費の低減を図った。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	 (項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費 (大事項) 特定防衛間連航空機の購入に必要な経費	防衛省	- 0147 - 00			平成29年度対象
	務策名:1-(1)周辺高空域における安全確保、1- 1 日本は 日本は 日本は 日本は 日本は 日本は 日本は 日本は 日本は 日本は	(2) 島しょ部に3 S29	付する攻撃への対 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	态、1-(4) 宇宙空間及 6,117	びサイバー 空間 55.295	5, 231	区、1・回)大規模災害等への対応、1・回 情報機能の ・ 予算器・執行信を参照すると、自然経動が大きい。 たから、裏切いで分析し、結果をレビューシートに記載することにより、指数の呈帯性について分析し、結果をしビューントに記載することにより、表現の場所が得られるうだするとも、分析検討を対している。 ・ 日本にはよるカートを開発力、また、一般機争人を ・ ロスト 日本の事業が行った。 ・ 日本の主ないでは、1・1 日本の主ないでは、1 日本の主	強化	大部へ対数のれたい。 外部有識者の所見を指まえて、連切に対応されたい。	4,311	4, 374	63	-	執行等改善	総経額が大きいことについては、各種基準機器の取得において、制度が年度がに対するないたが機能したものである。 は、特別様が不要がに対するないたが機能したものである。 は、特別様が大量を記念している。のまついいでは、する また。 は、更に無料の場がたい十分の事の場合を出来 でしないものとが見まいる。引き後き、現代の手類の 上に努める。要加き分析し、機能の完善性について分析能 乗信書また。連の子類的に関係の 実別様の分析といる。これ、引き続き、 別支援機の分析といること、低値の検討を行うととも 1、効率的な予算執行に努める。	優先課題推進枠」4		一般会計	(項) 武器専高等登機費 (大等項) 武器専用等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0148 - 00			その他

※平成31年以降の表記は、新元号に読み着			平成30年度	平成30	年度			行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度	平成32年度	差引き			反映状況							平成30年度レビ	ューシート番号		(当 外部有識者点検対象 (公開プロセス含む)	単位:百万円)
事業	事業開始年度	事業終了 (予定)年度	補正後予算額	執行 可能額	執行額	外部有識者の所見	評価結果	所見の概要	当初予算額	要求額	B-A=C	反映額		反映內容	備考	担当部局庁	会計区分	項·車項		1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	※対象となる場合、理 1	調査 金等 基金
139 諸裔材等維持費(陸自)	\$29	終了予定なし	7, 001	7, 463	6, 876	6 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっては可能な限り詳細な見積内容を入手して コスト総減の余地を検証し、振格な原価査定や適切な価格交渉 等により、更なる価格の妥当性向上に努められたい。	4, 805	4, 259	<b>▲</b> 546		執行等改善	- 効率的な予算執行のため、引き続き版格な原価計算等を 実施し、更なる価格低減に努めていく。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」2	の 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0149 - 00		-	-	平成29年度対象	
140 諸福材購入費(險自)	S29	終了予定なし	6, 397	5, 309	5, 259	み部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争人札を実施しているものの、一者応利の状況が見受けられることから裏別がありる。人で回路についてして一般を開かるというを認めるからま、その間についてして一般を得られるようにするともに応利者拡大のための競技を関し、競争性の向上に努かられたい。 ・随民契約に当たっては可能な同じ詳細など最初の容易と手してコスト級別の治地を検証し、無ちな原生変を必要が立ち続いため、自然により、変なる機能の設備性をごといることがあったが、	5, 817	6, 450	633		· 執行等改善	行政事業レビュー推進于一点の所見を踏まえ、「事業の効率性」の個に一社な礼が見受けられる英国を設定したとおり、専門性工学を、特定の認識、比較が必要ならか、他や他の加工とから、やむを特ない一部があるものの、他や他の加工人等のでいて、また、加率的な子事教行のから、引き教養機格の原価計算等を実施し、更なる価格低減に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」 1,251	の 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等登機費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0150 - 00		-	-	平成29年度対象	
141 通信維持責(險自)	\$55	終了予定なし	22,278	22, 332	22, 095	5 外部有謀者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成29年度、30年度の執行において、連続して締然がある。例 に30年度においては締結師が大きい。ことからその担由等につ はてレビューシーとで導うかに、最初がの要量性についる 度の運動が得られるようにすべき。 表が表が一番にあいた。 ものでのでは、またがあり、一番にあいた。 ・の結果をレビューシートに記事することにより支出光度の単 を関する。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし	24, 903	22, 081	▲2,821	▲235	· 超減	報道語が大きくなった要因は、各種基性高柱の影響等の事 東において、結局が年度内に納まらないたの機能したもの である。 また、転件実施を踏まえたことでは内容を見慮し、プログ う人改善が多な場合を上で数と様子は、255 (551年の 周減を応ることができた。銀行部グ子編隊を担急している 子裏向については、可能やの本部、女子 の一般などのないというのと分析している。引き継	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武品集高等監備費 (大事項) 武器集高等の整備維持に必要な軽費	防衛省	- 0151 - 00		-	-	平成28年度対象	
施策名:1-(1)周辺海空域における安全確保、	1-(2) 島しょ部	に対する攻撃への対	応、1-(5) 大規模災	害等への対応				・ライセンス等に基づく随意契約については、原価精査や価格 交渉等による価格面での適正化に努められたい。																	
142 機体オーバーホール	S44	終了予定なし	7, 531	6, 661	7, 725	5 外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	経費等等の分として、オーバーホール関係の温度等は実施 されていないのか。もし、実施されていないのであれば、実施 に向けた機計を行い、更なる経費製減に努める必要があるので はないか。も、実施しているのであれば、その他とレビュー シードに関連されたい。 また、引き続と、コスト総減方質の検討等を不断に実施し、 また、引き続く。コスト総減方質の検討等を不断に実施し、 に努められたい。	7, 612	12, 483	4, 871		年度内に改善を計	・ 随意実別については、原語輸業等により価格面での選正 を認めよう影める。 接・オーバーボール開閉の影神については、不断から検討を 行っており、運作できるものについては低に行っている。 ・ 引き続き、コスト幅減方量について検討を行い、効率的 な予算要素、執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空接受債費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0152 - 00		-	-	平成30年度対象	
143	H14	終了予定なし	41, 592	39, 260	39, 164	4 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・成果目標の運成度が毎年度70%前接となっており、加算的に 配備の不足が増えていくのではないか。適切な目標管理や附薄 を有効に活用し目標を速度する余差があるのではないか。 ・競争性が増造づらい分野においては、価格が高止まりになり、高洋単平の継続する傾かあることから、価格面に注力した取組をさらに推進し、価格の極減に努めてほしい。	14, 370	21, 850	7, 480		年度内に改善を	<ul> <li>本事業については中期防に基づき計画的な整備を行って 接いる。</li> <li>・競性的働きづらい随意契約を含め、原価精査により価 格面での適正化に努める。</li> </ul>	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費 特定防衛調連航空機の購入に必要な経費	防衛省	- 0153 - 00		-	-	平成30年度対象	
144 護術艦 (00)	H21	終了予定なし	17, 650	17, 650	15, 611	1 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・単位当たりコストについて、「発現及び契約実施を広く反映 している」はの記載とが、市内から金融主張といって入りませ している」はの記載とが、市内から金融主張といって入りまし の市田に教を受用がある。 の市田に教を受用が表する。 に対しているでは、以下の面にも容量とコストを通じ表かてほしい。 実性をが増せていいが野においては、機断が高土まりにな り、高海料よが機能する傾向があることから、機断面に注力した な難をさかしませる。機能の強力をではしい。	5, 294	45, 338	40, 044	-	· 執行等改善	単位当たりコストについて、新材等の市価比較や費用対効 東の当において分析ししコスト低減に努める。 価格当に注力した数値をさらに推進し、価格の低減に努め る。	l	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(第) 平成26年度平型階級設造表 (本第) 平成26年度中型階級設造に必要な軽費 (第) 平成30年度中型階級設造に必要な軽費 (末第) 平成30年度中型階級設造に必要な軽費 (末第) 平成30年度中型階級設造に必要な軽費 (大事項) 艦船設造に必要な軽費	防衛省	- 0154 - 00		-	-	平成29年度対象	
145 支援船	H25	終了予定なし	368	368	365	・艦船といった限定的な市場において、競争性によ る価格の妥当性違求には限界があることら、仕様の 5 精査、現積精査、原価監査等を通じて、不断に価格 の妥当性を追求し、コスト低減を図る余地があるの ではないか。	カ 格 事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	232	1,697	1, 466		· 執行等改善	詳細な内駅を入手し、コスト能域の余地がないか検証し、 価格が薄において更なるコスト組織に努める。 冒熱効果等を踏まえたより振物な原価査定を行い、コスト 低減に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 艦船登債費 (大事項) 艦船建造に必要な経費	防衛省	- 0155 - 00		-	-	その他	
146 艦船需品費	\$30	終了予定なし	5	5	5	5 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・調達に際しては一般競争とすることにより、競争性・連携性 の確保に努力でいるものの、1者が私となっている状況も更要 けられることが、対き載き、升分を変換分離を行い、さらに 競争性を高のる方葉を執行されたい。	5	5	<b>A</b> 0	▲ 0.08	2 総減	・広札書拡大に向けて、近間整理等の増元等への公告の り 以し体域、貯御額の公告への仕様整部代、郵便入札の集 版立を主義のでおり、引き締合の大権を拡大に向けてあり、 施立とでも表しており、引き締合の大権を拡大に向けてあり、 を行い、加えて執行業権の分略等により経費制減を回り、 加率的な予算金、執行に努める。 また、2年度推算業末において、契約責債を反映し、52 千円の機能を関する。ている。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器専用地登機費 (大寿項) 武器専用等の購入に必要な経費	防衛省	- 0156 - 00		-	-	平成27年度対象	
147 艦船の整備維持に必要な経費	\$30	終了予定なし	26	26	26	5 外部有識者の直検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 環道に際しては一般競争とすることにより、競争性・透明性 の確保に努めているものの、1者が私となっている状況も見受 けられることから、引き継き、十分な要節分析を行い、さらに 競争性を高める方質を検討されたい。	27	21	<b>A</b> 6	▲ 0.2	4 総波	・応札者拡大に向けて、近隔部隊等の現示版への公告の起 り出し帳頭、呼吸額の公告・の仕様事派が、郵便入利のの表 施などを急からり、引き後を記れる拡大に向けて入り を行い、加工で執行機能のが指導により経費削減を限り、 また、2年度報事業において、契約機能を戻せし、274 千円の機減を据っている。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 版絵整備費 (大事項) 版船の整機維持に必要な経費	防衛省	- 0157 - 00		-	-	平成27年度対象	
148 老朽整備器材更新(機体)	不明	終了予定なし	497	632	877	7 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・20年度、20年度の執行機計・写順を記載している状況である。 ことかも、東部の中の元、者切び不平原来、最終に等から、たい。 本が目的が予算権を起過している場面については、レ ビュージートにおいて課所し、場所の安当性について国民の理 解を得られるようにでくき。 「課記に際しては一般費や、公里とすることにより、幾争性・ 透明性の音探に努めているものの、1 者の其 4 名の事となっ ている状況が見受けかえるので、一般等人 人科学を維持しない。 であれば、十分な要因分析を行い、さらに競争性を素める方案 を検討されたい。	151	582	431	-	· 執行等改善	・執行部が予算器を担遇している状況は、執行時の見損難 ポケ事要末等の受難整体と比して、無料費の高額によ リ、高くなったとを労を増している。引き継令、基務を 過去実験等を反映するとといこ、無難なが原た人手し、コ 大ト艦減の余券がいかり報宜することにより、無格交渉等 において変なるコスト機減が見める。 で利者は大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器薬両等整備費 (大等項) 武器薬両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0158 - 00		-	-	平成27年度対象	
149 航空機関連構成品修理費	\$37	H30	-	17	15	5 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-		予定通り終了	平成30年度で終了する事業であり、本事業で得たノウハウ については、今後類似の事業への反映に努めたい。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0159 - 00		-	-	平成27年度対象	
150 教題へリコプター (UH-60J) の取得	H23	H40	4, 289	4, 289	4, 227	7 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっては可能な限り詳細な見積内容を入手して コスト線域の余地を検証し、厳格な原循変を必適切な情報だ渉 等により、更な危酷の空当性の上努められたい。 ・継続業件においても、密熱効果を考慮した原価量定において ・工スト候域を図る余地があるのではないか。また、コスト線 滅方策の検討等を不断に実施し、その結果を反映することによ り、効率的な予算表表、予集制に一発のもれたい。	16, 818	3, 529	<b>▲</b> 13, 288		執行等改善	・会社との練密な調整により、米国の機体との部品の共通 化等の関連方法の構査を行うことで、コストの機械を図 り、効率的な予算要求、予算執行に努めている。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費	防衛省	- 0160 - 00		-	-	平成29年度対象	
151 IRAN (航空機定將修理) 经費等	\$34	終了予定なし	23, 692	23, 079	21, 509	9 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ライセンス等に基づく随意契約については、原価精査や価格 交渉等による価格面での選正化に等かられたい。 また、引き続き、コスト経滅方面の検討等を不断に実施し、 その結果を放映することにより、効率的な予算要求、予算執行 に努められたい。 毎年経歴があることから、計画においてオーバーホールすべ	35, 020	40, 568	5, 549		執行等改善	ライセンス等に基づく随意契約にあたっては、的確な原価 監査及び機議等により価格面での適正化を図りつつ、直近 の IR A N 実験を踏まえて工教や部材質者の適正化を図っ ている。今後も例で実際の分配及びコスト経過の検討を行 い、更に効率的な予算執行、予算要求に努める。	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0161 - 00		-	-	平成30年度対象	
152 発動機オーバーホール	\$47	終了予定なし	3, 894	5, 256	4, 464	4 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年施設かめら、とかい。計画においてオーバーボール・ス 学数機のオーバーボールが遅れいるのではとの対象を対 れることから、事業所とのは、 、様式の受益性について国民の関係を与われるようにする。 ・経費の利の分かとして、オーバーボール部隔の居長を取に 行っているのであれば、その旨レビューシートに配慮した方が よい。 ・ディセンス等に基づく知典を対していては、原産酵素や密路	4, 762	3, 615	<b>▲</b> 1, 147	-	- 年度内に改善を 計	・ 毎年度縁続があることから、事業管理の適正化に努める。 る。 後、オーバーホール間隔の延伸については不断から検討して おり、基時可能なエンジンについては既に行っている。 ・ 機悪契約については、原価精査を行い価格面での適正化 に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0162 - 00		-	-	平成30年度対象	
153 補助艦艇の統合音声通信装置交換機の改修	H17	H30	-	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-		予定通り終了	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、適切に対応 する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 艦船整備費 (大事項) 艦船の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0163 - 00		-	-	平成30年度対象	
154 自給式呼吸器(SCBA)用吸気充填機等の 装備	H20	H34	235	235	235	5 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高車4単が複雑する場向があることから、価格面に注力した取組をさらに重要し、価格の低級に努かてほしい、特にまとだューシートに配置されていると国民が理解しやすいものになるのではないか。	124	-	▲124		執行等改善	契約にあたっては、引き続き、振格な価格精査を行うこと により、価格面での適正化に努めるとともに、国民の理解 を得られるよう、価格低減に係る取組みを継続していく。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 無船登備費 (大事項) 無船の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0164 - 00		-	-	平成30年度対象	
155 航空機整備器材修理費	不明	終了予定なし	2, 363	2, 363	2, 201	1 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争契約に係る「者な利が数更される、要因について分析 し、競争性を高みる工夫に努め、複数社の参入において、価格 の妥当性を選求されたい。 後争性が働きらいの時においては、価格が高上まりにな り、高来年率が維持する傾向があることから、価格面に注力し た数据をされて乗車と、価格の組織に努力で目しい。	2, 322	1, 248	▲1,074		執行等改善	・ 1 者応札となっている要原を分析し、十分な公示期間 設定により応札者の拡大を図る等、更なる競争性・透明性 の連載に努める。 ・ 支機構造に高たり、直近の実機単価を参考とするだけで なく、詳細との研究とし、コストを観 歴することにより、歯衝交渉等において更なるコスト機能 歴することにより、	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器単高等整備費 (大事項) 武器単高等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0165 - 00		-	-	平成27年度対象	
156 航空機械持部品	S29	終了予定なし	46, 053	43, 226	55, 097	7 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して縁起があり、計画において整備すべき毎好の整備が 遅れているのではと印象を持ち、事業管理を適切に進めるべ 事業の信息と、影響性を表明のことの関係と思われるものに ついては、総合性のない場合となったを音様ない場合におきれるもの あるかとうかを十つに繋む、心のを音ない場合にはおばめい 接合性を求めるよりは、起発したすることも複数は、可能な 服分器を提供しているというである。 場合は一般がある。 場合は、現実を表現したすることも観点、可能な 服分器を変更を適切に価格が夢楽により、更なる価格の妥当性 向上に努められたり、	54, 828	99, 222	44, 393		· 執行等改善	・ 対象な個別組織を発生させないよう関係会社と課題する ・ 可能な個別組織を発生させないよう関係会社と課題する 打場に努める。 ・ 市場販売を 分別(実施し、競争性のないものについては 防滅的な話とがは、関係に関い関係の実施と関いを入手して、 変なる組織の実施性角上に努める。	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航立機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な軽費	防衛省	- 0166 - 00		-	-	平成29年度対象	
157 エンジン・オーバーキーお経費	н	終了予定なし	6, 833	5, 897	4, 718	3 外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・整備関係の延長の実施及び所要の改修をオーバーホール時に 伊せて美国する場のコスト低速数に取り扱んでいることは評価 であった。 であるの。 ・毎年度が表し、更なる効率的な予算条件、予算表示、努力 からなった。 ・毎年度能越が発生しており、適正な予算表末、予算終行に努 めるべき。	7, 884	7, 496	▲388		執行等改善	契約策略の分析及びコスト抵抗の維討を行うなど、今後も 引き続き戻るの効率等な予算執行、予算要求に努めるとと した、機能の受阻を分析・特定し、その是正に努めてい く。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0167 - 00		-	-	平成30年度対象	
158 航空機修理費(空由)	不明	終了予定なし	205, 492	206, 832	201, 548	・公募を実施した結果、応見者が一者応見となっているものについて、事業の世里上、接手性を高めたことが開展と思われるものは、十分に内容を積まる時性を確保したって、原始機能や出来が支持して、原始機能や出来が支援して、原始機能・対象が変更があた。また、一般競争契約において、一者応利の状況か多数あることか、影性性が支大に関する機能を行い、競争性のよい表示して、場合を利用している。	しる 等 事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	208, 988	164, 071	<b>▲</b> 44, 917		· 執行等改善	広札者が1者広札となっている契約について、事業の信頼 上、競争を手向かることが顕常であるのについては十分 に内容を構造し場所をも確保したうで観景的とすると としていると表す。とは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	優先課頭推進枠」	の 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(第) 航空機整備費 (大本項) 航空機の整備結片に必要な経費 (大本項) 特定防密間連航空機の整備結片に必要な経費	防衛省	- 0168 - 00		-	-	その他	0

平成31年以降の表記は、新元号に読			平成30年度	平成30	年度			行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度	平成32年度	差引き			反映状況							平成30年度レビュ	Lーシート番号		外部有識者点検対象 (公開プロセス含む)	単位:百万円
事業名	事業開始年度	事業終了 (予定)年度	補正後予算額	執行 可能額	執行額	外部有識者の所見	評価結果	所見の概要	当初予算額	要求額	B-A=0	反映額		反映内容	債 考	担当部局庁	会計区分	項·事項		1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	※対象となる場合、理	· 金等 · 金
159 連絡債緊機(LR-2)の取得	H26	終了予定なし	-	125	117	7 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・継続案件においても、智點効果等を考慮した原価査定におい てコスト組減を図る余地があるのではないか。 ・契約実績の分析及びコスト総減方第の検討等を不断に実施 し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算 執行に努められたい。	56	1,749	1, 693	-	執行等改善	・継続案件においては、冒熱効果等を考慮した原信査定に よるコスト低減の効果について分析するなど、更なるコスト削減に努める。 ・削減に努める。 ・契約実績の分析及びコスト総減の検討等を実施し、引き 続き効率的な予算要求及び執行に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な軽費	防衛省	- 0169 - 00				平成29年度対象	
160 一般用效金装槽品等	н17	終了予定なし	1,069	1. 080	1, 034	・実出先リストを参照すると高高利率となってお り、31年度の見込みを含めてれた場合、年度ごとな 単位当とリコストは物が機関にあり、極勢が高当した。 ・更新の時間もあると世界大きからことにより、 ・更新の時間もあると世界大きからことにより、 ・アカトウルが自然を使がつかが、 ・アウトウルが自然を持つから、これに対しないか。 ・アウトウルが自然を持つから、これに対しないか。 ・アウトウルが自然を持つが、これに対してないか。 ・アウトウルが自然を持つ機関を持つ機能を持つ機能を 第250年度ではいる。 第250年度では、アウトウルがあ 3250年度では、アウトウルがあ 3250年度では、アウトウルがあ 3250年度では、アウトウルがあ 3250年度では、アウトウルがあ	ま 分 ス 事業内容の一部改善 団	外部有識者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	1,380	1,399	19	-	執行等改善	- 一般競争入札により応札者を募るなど、競争性の確保に 別かているものの、数を設備出立け無限的特別の場合にあ え、また。それら、軽性機能は自然服務を対象を対象 かであることから、高原札単になっていると考えられたる。 ・変表知の(12個目とりの、単位コントが富止まりしているとの発展があるが、これは、特定の機能においてはいる いるとの影響があるが、これは、特定の機能において調整 無力を必要があるが、これは、特定の機能において調整 無力との機能があるが、これは、特定の機能において調整 無力との機能があるが、これでは、特定の機能において調整 はたりの際はコストが増加したのであって、各部高等の 競速機能が増加したわけてはないことから、及して選出ま リーカートの機能をしませない。 により、数率的となるとなって、その場等を により、数率的となるとなって、その場等を により、数率的となって、その場等を により、数率的となって、その場等を により、数率的となってある。 なるとなってある。 なるとなってある。 なるとなってある。 なるとなってある。 あるとなってある。 なるとなってなってなってなってなってなってなってなってなってなってなってなってなってな	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 京都県高等登場費 (次)・事項 武器県南等の購入に必要な経費 (第) 航空機の登機維持に必要な経費 (大事項) 航空機の登機維持に必要な経費	防衛省	- 0170 - 00				その他	
161 名古歷空港着陸料	H17	終了予定なし	975	975	871	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	- 引き続き、関係法令等に基づき、適正な予算要求及び予算執行に努められたい。	916	916	-	-	現状通り	・名古屋空港着陸料は自衛隊の継戌訓練等に不可欠であ り、引き続き、関係法令等に基づき、適正な予算要求及び 予算執行に努める。	-	統合幕僚監部	一般会計	<ul><li>(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0171 - 00				平成27年度対象	
162 通信機器等修理	S41	終了予定なし	404	404	346	5 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 事業の特性上、競性が働きづらく、競争性による価格の実 ・ 動性を裏めることは緊ਆであると思われるものについては、十 分に内容を精査し、通弊性を確保したうえで、随意契約とし、 可能な際り詳細な見限内等と入手してコスト機能の会性を検討 し、原価額査や価格文声等による価格面での適正化に努めるこ とも検討すべき。	410	333	▲77	-	執行等改善	・仕様内容を精査し、透明性を確保したうえで随意契約への移行の検討を行う。 ・その際、コスト総減の余地を検討し、無格な原価査定や 適切な価格交渉等を行い、更なる価格の適正化に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項)武器車両等整備費 (大事項)武器車両等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0172 - 00				平成29年度対象	
163 音響測定艦 (AOS)	H29	H32	943	943	940	) 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	<ul><li>単位当たりコストについて、「見積及び契約実績を広く反映 している」との記載だが、これらから単位当たりのコストが妥当とは言い難いのではないか。契約相手先の言い値ではなく、</li></ul>	5, 301	16, 041	10, 740	-	執行等改善	保有・建造の必要性及び事業概要や顕貨投入の必要性について、わかりやすく「丁草に説明することで、国際の理解が 申込むなよう影のと、引き後表、国際処理等をもないた した機体な価値変で・価格である。 のものものでは、「日本のでは、	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 概能整備費 (大事項) 艦船建進に必要な経費	防衛省	- 0173 - 00				平成30年度対象	
164 航空機搭載通信機器維持修理	\$47	終了予定なし	7, 337	7, 430	5, 942	2 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高落料率が継続する物向があることから、価格面に注力した取相をさらに推進し、価格の修成に列めてほしい。一般意見幹に当たっては、可能な限り詳細な見積内容を入手し、コスト級減の余地を検証し、厳格な原循索をや過切を確格で決定はより、変なる価格の受益性の上に努めるたむい。	-	4, 712	4, 712	-	年度内に改善を検討	・随意契約を含む競争性が働きづらい契約について、原価 精査等により価格面での適正化、低減に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0174 - 00				平成27年度対象	
165 航空機棒理費(海自)	\$30	終了予定なし	23, 541	19, 082	18, 359	9 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 毎年度機越を発生させているところ、計画において整備すべき機材の整備が遅れているのではと印象を持ち、事業管理を通切に進めるべき。 - 一般特色発動に係る1表の料が数単される。 専用について分析	37, 121	39, 775	2, 654	<b>A</b> 61	総滅	・機能が発生を経度するよう事業管理に努める。 ・一般性が発生を経度するよう事業管理に努める。 ・一般性多入札において1者の私になっているものについて、実現を分析し、改善可能を始分について改善を認って ・・機能契約などの影響をが出着する」という場合を含まっては、実施をの選手に、効率やに努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「新しい日本のための 受先課題推進枠」 7,497	の 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の整備維持に必要な経費 特定防衛調達航空機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0175 - 00				平成29年度対象	
施策名:1-(1)周辺海空域における安全確 166 大型通信電子器材の外注整備	確保、1-(2)島しょ部 S55	に対する攻撃への対 終了予定なし	応、1-(5)大規模災 318	書等への対応、 318	1-(6)情報模 312	機能の強化 2 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・交換制品の官給化を図ることによるコスト節減努力は認められる。他方、獲札率が塞いことから、その要因を分析し、更なるコスト低減や効率化に努められたい	318	658	339	-	執行等改善	海札率が高いことについて、その要因を分析し、更なるコスト低減や効率化の向上を図っていく。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0176 - 00				平成27年度対象	Ħ
167 対潜資料隊用器材の借上げ	НЗ	終了予定なし	1, 215	1, 215	1, 053	3 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・コンピュータ等の借料等は、機材の更新時には既存企業以外 の事業者の参入の見込みがあることから、次回の更新時に向け て新規参入の確保に努められたい。	1, 128	1,401	273	-	年度内に改善を検 計	次回の更新時に新規参入が確保できるよう改善を検討す る。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項)武器率両等整備費 (大事項)武器率両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0177 - 00				平成30年度対象	
施策名:1-(1)周辺海空域における安全確 168 救難飛行艇(US-2)の取得	確保、1-(5) 大規模災 H17	書等への対応 終了予定なし	9, 320	9, 320	9, 417	7 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争人札を行っているものの1者応札となっている状況 が見受けられる。一般競争人札を観練するのであれば、十分な 英辺分析を行い、さらに競争性を高める方賞を検討されたい。 ・供給者が張られる札可能者数が少ない状況なのであれば、そ うした旨を匹配し、対外的に説明を行う方がよいのではない	16, 003	7, 859	▲8, 145	-	年度内に改善を検討	- 一般競争入札で1者応札となっているものは、要因分析 を行い、競争性を高める方葉を観討する。 本事業は新着を開発した転空機のため、応札可能な業 者が限られるものが多いが、契約情報については防衛装備 庁のホームページで既に公乗している。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費	防衛省	- 0178 - 00				平成29年度対象	
US-1A/U-36A/US-2型航5 の整備業務の民間委託	坑空機 H5	終了予定なし	856	856	856	5 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	か。 ・競争性が働く見込みがないのであれば見積精密に無たり、直 辺の実績機能を参考とするだけでなく、詳細な内別を入手し、 コスト電域のからないが機能し、機能及き等において安心る コスト電域のからないが機能し、機能及き等において安心。 一在単や出来の必要をを観ましたうえでの整理数量の構造、定 報修理期から、一一十一十一周の見重しなど、コスト総道方 質の検討をそ不断に実施し、その他集を反映することにより、 更に効率のな予算を表す、手架林に一発的されたり、 更に効率のな予算を表す、手架林に一発的されたい。	877	1,039	163	-	年度内に改善を検	・詳細な内部を入手するなどにより、コスト低速に祭め	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 核立理整備表 (大事項) 航立機の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0179 - 00				平成27年度対象	
170 政府専用機 (B-777) の取得	H26	H30	-	29, 676	28, 873	3 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成功年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	予定通り終了	平成30年度に終了する事業等であり、予定通り事業を終了 する。本事業で得たノウハウについては、今後、類似の事 業への反映に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費 (項) 武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0181 - 00				平成30年度対象	
施策名:1-(1)周辺海空域における安全確 171 滞空型無人機等の取得(名統一)	6年 味、 1-(6) 竹	終了予定なし	34, 409	4, 733	4, 641	I 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、米国と調整を密にし、適正な価格低減の取相を推進されたい。 また、結外国の情報を入手したり、原価の情報を入手する 等、可能な限り、海空空無人機の設等価格の妥当性について、 レビューン・ドに配着するなど間及の理解を得るための工夫を	7, 994	11, 430	3, 435	-	現状通り	・引き続き、米国と調整を密にし、価格低減の取組を推進 するとともに、諸外国及び原価の情報の入手に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な軽費	防衛省	- 0182 - 00				平成30年度対象	0
施策名:1-(2)鳥しょ部に対する攻撃への 172 甲類 (その他)	の対応 H17	終了予定なし	43, 969	63, 376	61, 411	1 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	また、引き続き、契約実績の分析及びコスト総滅方策の検討 等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な	24, 701	16, 635	▲8,066	-	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、レビューシートの記載を変更し、企業等への関き取り、市場顕彰に よりコスト経済等の検討を行い、効率的な予算執行、 予算要素に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器幕両等整備費 (大事項) 武器幕両等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0183 - 00				平成29年度対象	
173 乙類(武器器材)	H17	終了予定なし	2, 472	2, 472	1, 769	9 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	予算要素、予算執行に努力されたい。 一般競争人民に対象や音を増加しているとのことであるが、無差的に一者であれたつ連れ事が的の対象が増進されることが、 が、大きがは、一般ではなっつ連れ事がの対象が増進されることが、 いて記事し、事業を考定支が場所の支持について国際の回路を再からようにするととして成る事態は大力が国際の機能を持ちたるようにするとともに成れ事態は大力を対象した。 、機管性の点に対象のまれたが、保護・見機的なよう。 に、現場との対象が対象があるという。 、大きない、大きない、大きない、大きない、大きない、大きない、大きない、大きない	1,345	702	<b>▲</b> 643	-	執行等改善	行政事業しど、「推選チームの所見を開きえ、企業等への 関をあり、市場開連を推進し、一般競争人利における一者 応利の至限分解を行い、競争性の拡大に関する時計を行う ととして、更なコントを拡大関等の検討を行い、効率的 な予算執行、予算要求に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器専用等型機費 (大等項) 武器専用等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0184 - 00				平成29年度対象	
174 武器備品等の損耗更新	H17	終了予定なし	1, 162	830	1, 008	3 外部有識者の点検対象がである。	事業内容の一部改善	(数) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	833	1,730	897	-	執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を指まえ、一般競争入 札における一者の私の要取分所を行い、競争性の拡大に関 する観討を行うとともに、更なるコスト促進方業事の検討 を行い、効率的位子算執行、子原要求に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車高等登機費 (大事項) 武器車高等の購入に必要な軽費	防衛省	- 0185 - 00				平成29年度対象	
175 米国における実動訓練	H25	終了予定なし	703	703	809	9 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・ 教行率が改善され、事業が計画どおり進捗したと思料する。 引き続き、計画的な事業の推進及び経済性を需要した執行に努 められたい。	9	632	623	-	現状通り	引き続き、先行的かつ綿密な部隊及び関係機関との調整を 実施することにより訓練実施内容の早期具体化を図り、予 算要求に反映するよう努める。	「新しい日本のため6 優先課題推進枠」632	の 2 防衝政策局	一般会計	(項) 防衛本省共通費 (大事項) 統合高模監約の運営に必要な経費 (武 武高庫司管組費 (大事項) 武高庫司等の整備維持に必要な経費 (項) 防衛力基整型循費 (本事項) 訓練・演習の実施に必要な経費	防衛省	- 0186 - 00				平成28年度対象	
176 駐屯地管理用等車両の頒料更新	H17	終了予定なし	-	2	-	- 外部有調者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・39年度に締結を行っているが、30年度に支出がない理由についてレビューシートへ配配し、支地を行わなかった受出性について国民の理解を得られるようにできる。また、実験が「こっして「探予定な」」となっているが、当時予算が計とされてある。より、全点の計画について「特の影響が、であり、担う、全般の計画について行号に整数がは、事態が様くのであれば、レビューシートの「成悪目標」、「活動指標」に今後の影響と響をと確するそとではないか。	-	33	33	-	執行等改善	・駐屯地管理用車両の老朽化が進行し、機械更新をする必要性がふため、事業自体は継続である。また、KS1島初予算が優定されておらず計上していない。 ・事業は継続であるため、「成業目標」、「活動指揮」に 今後の整備数量等を記載した。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	衛生活動の実施に必要な経費 (項) 武器薬両等整備費 (大事項) 武器薬両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0187 - 00				平成30年度対象	
飛行点検機(U-680A)の取得 施策名:1-(2)島しょ部に対する攻撃への	H29	H32	4, 759	4, 759	4, 759	3 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・レビューシートの記載に当たっては、当初契約時に実施した 経済性・効率性の取録を継続的に記載し、国民への追明性の確 保に努めて欲しい。	4, 841	1, 740	▲3, 101	-	現状通り	機種選定により、競争性の確保及び取得価格の抑制に努め でおり、ビジネスジェット機を改修することで保守等の維 持管理の経済性・効率性に努めている。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 航空機整備費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費	防衛省	- 0188 - 00				平成30年度対象	世
178 弾薬(陸上自衛隊(防大、防医大含む))	) \$39	終了予定なし	63, 594	52, 681		4 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	<ul> <li>事業内容の特殊性から、競争性の確保が困難な分野であるもののの、引き続き、協格交渉や原価機等等による協格面での適正 化を実施し、効率的な子算要求・予算執行を努められたい。他 方、線盤が毎年度発生しており、計画的な事業の推進に努めて ほしい。</li> </ul>	57, 036	68, 051	11, 015		執行等改善	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、まとめ発注 等、コスト抵減方策の検討を行うとともに、計画的な事業 の推進を図り、効率的な予算執行、予算要求に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器率高等整備費 (大事項) 武器率両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0189 - 00				平成28年度対象	
<ul> <li>*施策名:1-(2)島しよ部に対する攻撃への</li> <li>TNCSの整備</li> <li>*体策名:1-(2)島しょ部に対する攻撃への</li> </ul>	H13	終了予定なし	-	-	-	応、1-(5)大規模災害等への対応  - 外部有識者の点検対象外である。  応、1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報機能の強	事業内容の一部改善	・民生品の活用や、維持整備方法の見直し等によりコスト削減 が弱られていることは評価できる。本事業で得られたノウハウ については次解システムの導入においても活用されたい。	-	-	-		執行等改善	・次期システムの導入において、これまでのノウハウを活 用し価格の低減に努める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器東両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省	- 0190 - 00				平成27年度対象	Ī
180 基地內光伝送路	H18	終了予定なし	43	43	37	応、1-(5) 大規模災害等への対応、1-(6) 情報機能の登 7 外部有識者の点接対象外である。	事業内容の一部改善	・依然として1者応札の状況が見られることから、競争性が働く見込みがないのであれば見積精査に当たり、施立受積単価を参考とするだけでなく、計組な内容を入手し、コスト低減の余地がないが検証し、価格交渉等において更なるコスト縮減に努力で放い。	39	109	70		執行等改善	・入札における競争性を確保するため、見積りの精査を実 施するとともに、コスト低減の方策について追及する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項)武器車両等整備費 (大事項) 武器車両等の購入に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0191 - 00				平成28年度対象	
施策名:1-(2)島しょ部に対する攻撃への	の対応、1-(3) 弾道ミ S39	サイル攻撃への対応 終了予定なし	、1-(5) 大規模災害 595	等への対応 466	532	2 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 落札率100%となっているものが多数更受けられることから、 ・ 分な裏別分析を複雑し、その数率をレビューシートに記載す ることにより支地先運定支が信頼の妥当性について国民の記載 表待られるようにするとともに、その分析程業を指す。 拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。	276	455	180		執行等改善	・行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、落札車1 00年となっているものに関して十分実現を分析すると ともに、装備品の仕機等を見ますなどして、応札者拡大の ための検討を行い競争性の確保に努める。	-	人事教育局 整備計画局	一般会計	(項) 武器薬両等整備費 (大事項) 武器薬両等の購入に必要な経費	防衛省	- 0192 - 00				平成28年度対象	

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替え 事業 番号 事業名	事業開始 年度		平成30年度 補正後予算額	平成3 ( 執行 可能額	0年度 執行額	外部有識者の所見	評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き	反映額		反映状况	備考	担当部局庁	会計区分	項·事項		平成30年度レビューシートす	 (3 **	(単位:百万円 部有識者点検対象 公開プロセス含む) 委託 補助 対象となる場合、理 調査 金等
182 乙類 (幕南)	H17	終了予定なし	19, 360	11, 712		<b>外部有識者の点検対象外である。</b>	事業内容の一部改善	・毎年機能がある(物に再成功を度は機能能が大きい)ことか ・毎年機能がある(物に再成功を度は機能能が大きい)ことか の印象を持たれることから、事業所管部所による自機能に機能 対して必要したの実践性について国際の理略を得るしませます。 するでも近くである。 まるでも近くである。 本のでは、 本のでは、 本のでは、 を表しているとは、 であると配きさるとは、 であると配きされている。 には、 であると配きされている。 には、 であると配きされている。 には、 であると配きされている。 には、 であると配きされている。 には、 であると配きされている。 には、 であると配きされている。 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 であるとを配きされている。 には、 であるとを配きされている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとできれている。 であるとできれている。 であるとできれている。 であるとをできれている。 であるとをできれている。 であるとできれている。 であるとできれている。 であるとできれている。 であるとできれている。 である。 であるである。 であるである。 であるであるであるである。 であるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるであるで	4, 259	4,554	B-A=0	-	執行等改善	・補正予算で取得した同額相当分の繰り返しについては、 需要型に伴い、製造に不適の日数を乗したため、至年家に 場り返したもの。至年家に 場合を受け返えてあるものの多くは、助産事用専司であり、 再選をはなるものと考えわられるが、一切なれの雰囲があ をつまた他が実際の機能を行い、引き機を効率的な予算 が終行、予算家に別るもの。 ・事業所管理制による点性、必要細において、最新実制 の表現した。 を必要した。 を必要した。 を必要した。 とのいる。 とのいる。 を必要した。 を必要した。 とのいる。 ととのいる。 ととのいる。 とと、 ととと、 ととと、 ととと、 ととと、 ととと、 ととと、 ととと	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 武器車高等整備者 (次事項) 武器車高等の購入に必要な軽費	55 55 55 56 56 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57	20月	  3つを超える場合 由	平成28年度対象
政策名:1-(2)員しょ都に対する攻撃への対応、 183 地理情報システムの整備(レンタル料)	Н4	終了予定なし	525	525	525	の強化 外部有識者の点検対象外である。		・情報システムの機器の信り上げたおいては、継続的に既存の 会立が受達する傾向があり、既存の会立の有利性において競替 の多人の工夫(働きかけ等)をし、それでも競替性が増きづら いものであれば、処験をかけ等)をし、それでも競替性が増きづら いものであれば、一般軽や上がおら極め受棄性進業に対象があることから契約方式の享祖性を検証のうえ、優務室に注力 した知識を選集し、機術を関係があるではした。	535	528	▲7	-	執行等改善	システム機器計画を見直し、予算要求に伴う見聴もり事 外、要求内容をさらに具体化し、予算要求値を機能化する ことで、適切な予算要求、予算執行に別める。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等型機像 (大事項) 武器車両等の整機維持に必要な経費	防衛者 - 0194 - 00			平成27年度対象
推業名:1-(2)員しょ都に対する故事への対応。 184 自市隊注放登債	\$29	終了予定なし	4-(2) 部隊等の4	各種支援機能の3 152, 404		外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・公野プロセスにおいて指摘された一者が札の改善に係る取り 組みを引き続き権差し、効果の検証までのプロセスを推奨に進 ・毎年度機能を発きさせているところ、計画において登録すべ き部の登録が進れているのではと印象を持ち、事業管理を通 切に進めるべき。	115, 762	119, 691	3, 929	-	執行等改善	・令犯元年常は、平成30日度アンケート調査経過を参え 力防原制に開出し、ドロイとの妻と、標準の発達を行う。 対象の数度を指すしての対象を対象に対象を対象を 可常の効度を活用しての対象を主席するととして、効果 対象の数度を活用しての対象を主席するととして、効果 対象の数度を活用しての対象を主席するととして、効果 対象の対象である。 一般である。 一をなる	原 で で 原 で で で で で で で で で で で で で で で で	整備計画局	一般会計	(第) 防衛本省施設費 (大事項) 防衛本名施設管備に必要な経費 (京) 防衛力基盤整備 (東) 防衛力基盤整備 (東) 北京 連用基盤等の連備に必要な経費 (第) 北京 地西地域 (東) 北京 (東)	防衛者 - 0195 - 00			平成30年度対象
推集名:1-(2)島しよ都に対する故葉への対応。 185 輸送機 (C-2) の取得	H23	書等への対応 H38	41,731	41, 731	42, 376	外部有識者の直接対象外である。		・随意契約に当たっても、可能が原り詳細な見間内容を入手 し、コスト解説の参考を検証し、厳格な高価意を必適のな曲形 変かにより、更な価格の支出物は上別あられたい。 また、精性が増まっていり形においては、信格が高により、 また、計算性が増まっていり形においては、信格が高にまり、 した記載(写称数字を指すえた生産性の内上)をさらに推 進し、信格の毛滅に努めてほしい。	11.376	48, 761	37, 385	-	執行等改善	引き続き原価務査及び価格交渉等により価格面での妥当性 の向上及び適正化に努める。	主 優先課題推進枠」 4,943	) 防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(実) 航空機能機費 (大事項) 航空機の購入に必要な経費	防衛省 - 0196 - 00			平成29年度対象
186   乙類 (雷品器材)	S29	終了予定なし	13, 765	8, 426	8, 155	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・経路の状況が極続しているこから、計画において需要する 個人用登録品の変形が遅れているいたがある中で、 管理と適切に進めなべき。(特殊等別はなむときないであるかる 、毎年実施を対象としたが、選をから手操物が形象からな、 ・一般接き入札を開始しても「都な礼であったり、不即の地 展、施差別かとなる手が見が受けることから、最神性を からための方面等を検討し、更なるコスト和減に努められた	4, 426	7, 275	2, 849	-	執行等改善	機越越が発生するのはやむを得ない面があるものの、計画 通り予重の執行に努めるとともに、応札者拡大の方質等の 検討も含め、効率的な予算執行に努めていく。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 整備計画局	一般会計	(項) 英高東高等型構造 (大手項) 武高等高等の選入に必要な経費	訪衛者 - 0197 - 00			平成29年度対象
187 イージス艦へのBMD機能の付加	H24	н31	7.749	7, 772	7, 687	・ FMS開催に限定されらものについては、引き機・ を、条制に接貨部列別かの権意を接続し、効率的な 予算業末、予算執行に努わられたい。他方、接乗 を、一者の基本との「大変を対し、力を対し、力を対し、一般では、少等 を、一者の基本との「大変数を分析し、その日本を 決性、効率をのこれなどのいった」とを対しました。 対性、効率をのこれなどのいった」とを対しました。 対性、効率をのこれなどのいった」とを対しました。 対性、効率をのこれなどのいった」とを対しました。 対性、効率をのこれなどのいった」とを対しました。 対性、力能を対した。 対策が、力を対した。  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	終了予定	- 外部有識者の所見を讃すえて、適切に対応されたい。	3, 637	570	▲3,067	-	予定通り終了	日末会議等において、勝遠価格の内訳の原示を継続的に 要求するともに、仕様内容、対象機器等の見直しを実施 し、減額に努めた。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武益率高等整備費 (大等項) 武益等高等の選入に必要な経費	防衛者 - 0198 - 00			その他
施業名: I-(4) 宇宙空間及びサイバー空間(におけ) 188 ファイル様号化ソフトの維持(9機関共同)		終了予定なし	-	-	-	外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	30年度の執行はないが、次回の発生の際には適切に超済性、効 半性を追求し、予算要求、予算執行に反映されたい。	137	70	▲67	-	執行等改善	鬼注除に経済性、効率性を追求し、適切な予算要求、予算執行に努める。		防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	(項) 防衛本等主選費 (大事項) 防衛省・銀行設に必要な経費 (大事項) 防衛省・銀行設に必要な経費 施設等機能の必要に心要な経費 接上前機能の必要に心要な経費 接上前機能の必要に心要な経費 (項) 防衛装備庁列の選手に必要な経費 (項) 防衛装備庁列会費 (本) 阿斯装備庁列会費	防衛省 - 0199 - 00			平成29年度対象
サイバー攻撃対処のための効果的な人材育 189 成・確保手法の調査研究(e-ラーニング用体験 型コンテンツの検討)	H27	H30	-	-	-	外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された し。	-	-	-	-	予定通り終了	所見を踏まえて、類似の事業に適切に反映するよう努め る。	-	整備計画局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 人事教育施業の実施に必要な経費	防衛省 - 0200 - 00			平成30年度対象
190 サイバー攻撃対処のための官民連携に係る共 同訓練の実施	H26	終了予定なし	21	21	20	外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・適去の指摘を踏まえ、引き続き複数応札があり、競争性の拡 大が図られたことは評価できる。引き続き、契約実績等の分析 を行い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	25	25	<b>A</b> 0	-	現状通り	御指摘を贈まえ、引き続き、応札者拡大による競争性の確 保に努めるとともに、契約実績等の分析を行い、効率的な 予算要求、予算執行に努める。	を 分 を を を を は は は は は は は は は は は は は は	整備計画局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 人材教育施業の実施に必要な経費	防衛省 - 0251 - 00			平成27年度对象
191 サイバーセキュリティに関する部外委託教育 地策名:1-(4)宇宙空間及びサイバー空間におけ	H30	終了予定なし	1	1	1	・契約方式は随意契約となっているが、性質上やむ を得ず、適切な印象である。 ・本令の登場においても、サイバーセキュリティ分 野の育成は重要であることから、計画的な人材育成 及び報節を終了した者におけるのでは では、 東になるのではないか。	現状通り	- 外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	4	9	5	-	現状通り	・外部有識者等の所見を請求え、引き続き適切な対応に努 める。	引 「新しい日本のための 優先課題推進枠」9	整備計画局	一般会計	(項) 防衛力基 <u>益整備</u> 費 (大事項) 人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省 新30 - 0001 - 00			前年度新規
超単名: 「「切」十番至明及リフィハ・至明にの) 192 陸自電算機防護システムの整備 振業名: 「「切」大規模災害等への対応	H16	MM機能の扱化 終了予定なし	1, 327	1, 327	1, 233	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・司き終さ、一者な礼の第かが見受けられるが、将生者のレ ニーシートにおいて、一者なの事件に関して、とされていた。 が表し、必事者とは場合性報彙を図る。とされていた。 が、レビューシートに配着されたは、デビルントに関連されていた。 また、分析したに配着されたは、アビルントに関連されている。 また、分析した配着されている。 また、分析した配着とが表し、かどコーシートに配着されたが、 は、一部に内容を指着し、影響性を確保したうえて、可能な限り、 指揮化見解的をデトリてコスト解説の地を密封し、原価値 者や細板文等等による価格面での遺正化に努めることも検討す べき。	1, 472	1, 441	▲31	-	執行等改善	システム型機計画を見直し、予算要求に伴う見積もり要件、要求内容とさいに異体化し、予算要素能を積極化することで、避切な予算要素、予算執行に努める。	5 -	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器車両等登録費 (大事項) 武器車両等の整備維持に必要な経費	防衛省 - 0201 - 00			平成29年度対象
193 一般專演更新分	\$29	終了予定なし	42	31	23	・平成が生活の予算の状況を見ると、補正予算で は、一般をはは「国際機能はかが継り組したなって は、の最後の、は、国際の、国際の、国際の、国際の、国際の、国際の、国際の、国際の、国際の、国際の	事業内容の一部改善	- 外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	21	21	0	-	執行等改善	予算制的を踏まえつつ、更新専用に優先派位を付与し終決 的な執行に努める。また、30年度は人科不関による繰り終 しが発生したか、引き続き予算の早期執行及び人札の創 中性機関に努める。	5- ES ES	防雨装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器率高等整備表 (大事項) 武器率同等の購入に必要な軽長	防衛省 - 0202 - 00			その他
194 校内電子交換装置保守点検	\$30	終了予定なし	2	2	2	・競争性の確保について、保守点線といった特性 上、納入会社以外の参入の見込みがないのであれ ば、随意契約・移行し見積積査等の価格面に注力し たほうが経済性・事務の効率化が富まるのではない	事業内容の一部改善	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	2	3	1	-	年度内に改善を検 計	部外有識者の所見を踏まえ、引き続き、執行実績の分析等 を行い、効率的な予算執行・予算要求に努める。	5 _	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	(項) 武器革用等整備費 (大事項) 武器革用等の整備維持に必要な経費	防衛省 - 0203 - 00			その他
施策名:1-(5)大規模災害等への対応、1-(6)情報	機能の強化					br <sub>0</sub>												<u> </u>				
195 ヘリコプター映像伝送装置の整備等	Н7	終了予定なし	156	157	241	・予算は、熱行額を参照すると、機能部が大きいとから、要別について分目、機能の実施性について自 を取る。要別について対目、機能をといって一 トに配することにより、機能の実施性について自 を設まった。他によりにするとものがある。また、一分を結果また。 ・ 前中度に引きると、急行を扱うとを対する。 ・ 前中度に引きると、急行を扱うとないがある。 ・ 前中度に引きると、急行を扱う手を入場には ・ 間では、一般によりなない。 ・ にないました。 ・ にないましないまたる。 ・ にないまたる。 ・ にないまたないまたななななななななななななななななななななななななななななななな	事業内容の一部改善	<ul> <li>・外部有識者の所見を猶まえて、適切に対応されたい。</li> </ul>	159	18	▲141	-	執行等改善	機越駆が大きくなった要固は、ヘリコブター検疫伝送機関 の機関無品の取得において、納税が年度内に終まらない。 対象をしたものである。 また、執行機で予算器を提通している実別については、 動単の増加、更に番材の各特化や十分な予算の基準が出来 にいないものと分析している。引き続き、透切な予算の対 上に努かる。	J -	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 武器事高等整備費 (大事項) 武器事高等の整備維持に必要な経費	防衛者 - 0204 - 00			その物
施策名:1-(5)大規模災害等への対応、3-(1)二国	間・多国間共	同訓練・演習の実	Ē			6。ていまかは何かは気にめして、昨年の前の 前速又は共同速を行うことが可能となる場合、更 なるコスト報道に繋がることから、当該装備品の ファミリー化を検討してはどうか。																

平成31年以降の表記は、新元号に読み替え 事業名	えることと 事業開始 年度		平成30年度	平成3	外部右端老の所見		行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き			反映状況	債考	担当部局庁	会計区分	項·菲項			平成30年度レビューシー	<b>卜番号</b>		(単 外部有識者点検対象 (公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 1	単位:百万 委託 補助
g	年度	(予定)年度 ギ	<b>靖正後予算額</b>	執行 可能額	執行額	評価結果	所見の概要	A A	В	B-A=C	反映额		反映内容 今後も事業を継続していくにあたり、契約差額について	# · ·	25.41070/1	A1127)	(項) 防衛本省共通費 (大事項) 防衛本省一般行政に必要な経費		1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合 F	※対象となる場合、理 II 由を記載	司査 金等
36 パシフィック・パートナーシップ	H19	終了予定なし	190	190	117 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して不用部が発生していることから、要認の分析のう え、適切と予算実表に努められたい、また、引き続き、契約業 額の分析が立定ならコスト低減の機計を行い、効率的な予算執 行に努められたい。	189	182	▲7	<b>▲</b> 10	能減	は、その要因を分析したうえで、引き続き、競争性のある 入札により効率的な調達の促進や出張者の早期確定による ディスカウント航空券を追求する等、予算執行の効率化に	「新しい日本のための 優先課題推進枠」144	防衛政策局	一般会計	(ハーザー) 部外 下面 (1) (ハーボック・ロル 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	防衛省	- 0205 - 00				平成30年度对象	
推築名:1-(6) (情報機能の強化	H24		111	111	96 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き継ぎ、契約実施の分析及びコスト組成方策の検討等を行 し、効率的な予算要素、予算執行に努められたし、 ・一般競争人札を展集しているものの、一者を見の状立が実現 けられる。最初の参考でいる場合が大力ぐの検討を実施 し、影響性の発生に受わられたが、	149	255	106	-	執行等改善	本事業においては、確底の高い公刊情報を提供できる通 確認と提助する必要があり、国内に対応できる連集地から は、経動する必要があり、国内に対応できる企業に能かかる ある一方で、最多人札を整備することにより、報理企業の 参入機を確保し、可能心服りコスト制減を追求している。 いただいた所見を踏まえ、直換項目の記載内容をとり集 特別に施工する後、国民の電解をあられるよう例の。	_	防衛政策局	一般会計	<ul><li>(項) 防衛本省共通費 (大事項) 防衛本省一般行政に必要な経費</li><li>(項) 武森専用等登機費</li><li>(大事項) 武器専用等の整備維持に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0206 - 00				平成30年度対象	
施業名:2-2/2 在日米軍の駐留をより円滑かつ効 ・	栗的にするが HB	終了予定なし	884	884	・単位当たりコストについて、20年度及び30年度と 比べ30年度は前縁1回当たりの執行機が大幅に増え ているが、企会可吸を3回面で増えた実団について、 レビューシートに区略し限率へが設守費をできまった。 全国軍事務制設定光熱水料等支出地 だけでは、そ からことから、終費の可限を必要可収を延囲で示し、 国限への設時費性を表すってきまった。 また、37億億億、米側、27年で最初的形分の また、37億億億、米側、27年で最初的形分の 来に、37億億億、米側、27年で最初的形分の 来に、37億億億、米側、27年で最初的形分の 来に、37億億億、米側、27年で最初的形分の 来に、37億億億円、予算要	現状通り	が都有漢者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	860	1,228	368	-	現状通り	・外部有指書の指摘を請求する、執行額の増額要因及び経費の内容を書客欄に定義した。 の内容を書客欄に定義した。 ・また、引き続き、米側に対し効率的な間線計画の質定を 実現し、十分開発のよ、その結果を指揮を承に収めせる る、予算執行にあたっては、日米間で展密な連携を図っ て、より効率的な執行に努める。		地方協力局	一般会計	(項)在日米軍等社場間連接費 (大事項)在日米軍等の駐前に必要な経費	防衛省	- 0207 - 00				その他	
99 駐留軍等労働者の労務管理	\$53	終了予定なし	151, 552	151, 553	150,357 外部有識者の直検対象外である。	現状通り	・労務費の負担についてはコスト削減は困難であるが、一者応 利の案件(健康診断)について参入開壁を検証し、改善を図 り、競争性による価格の妥当性を減める余地があるのではない か。	152, 709	154, 347	1, 638	-	現状通り	一者応札案件については、参入障壁を検証し、改善措置 を検討の上、引き続き、競争性による価格の妥当性を高め るよう努める。	-	地方協力局	一般会計	(項)在日米軍等駐留関連諸費 (大事項)在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省	- 0208 - 00				平成28年度対象	#
00 提供施設の整備	\$54	終了予定なし	20, 600	16, 408	16,090 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	<ul><li>一者応札となっているものについては高落札率となる傾向があるため、十分な要因分析を実施し、競争性の確保に努められたい。</li></ul>	20, 725	20, 730	6	-	年度内に改善を検 計	引き続き、過去の発注実績を参考にし要因分析を行い、また、原則一般競争入札を採用しており、年度当初に発注見 通しを公表するなど入札情報の幅広い周知を行い、競争性 を裏めるよう努める。	_	地方協力局	一般会計	(項) 在日米軍等駐留関連諸費 (大事項) 在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省	- 0209 - 00				平成27年度対象	
31 光熱水料等の負担	НЗ	終了予定なし	23, 237	23, 237	23,230 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、米側に経費節約努力の徹底を要請し、効率的な予 算要求、予算執行に努められたい。	21, 934	22, 261	327	-	現状通り	米側が実施する節約に係る取組を踏まえ、更にどのような 節約が可能かについて、引き続き米側と協議していきたい と考えている。	-	地方協力局	一般会計	(項)在日米軍等駐留関連諸費 (大事項)在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省	- 0210 - 00				平成30年度対象	
12 提供施設移設整備	\$38	終了予定なし	4, 327	4, 270	・予算額・執行額を参照すると毎年度、予算の縁越 4.264 が発生している。米国との調整に苦労する面は理解 するが、計画的な事業の推進に努めてほしい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	729	1, 436	706	-	現状通り	日米間の合意に基づき、当該施設・区域内にある建物、工作物等を既存の施設区域内に集約・移設するため、必要な経費を算定しているところ、執行に関しては、執行状況の十分な把握を行いつつ計画的な事業の推進に努める。	2	地方協力局	一般会計	(項) 在日米軍等駐留関連諸費 (大事項) 在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省	- 0211 - 00				その他	
33 米軍再編開係经費	H18	終了予定なし	173, 958	155, 335	113,157 外部有限者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 塩布原機能能が大きく、米面との調整等によりやむを得ない ものと思われるが、計画において進める・仓を事業に進れが住しているとの印象を持ち、事業管理を通切に進めるべき、また、 教行事が794と(、米との調整など予算の執行状況を分析 の上、予算や執行へ適切に反映されたい。	119, 035	-	<b>▲</b> 119, 035	-	年度内に改善を検討	があた。 「神経については、予算を未体に、地元との関連に特別を 実したり、実践により工事が増加できなかったこと等。 実したり、実践により工事が増加できなかったこと等。で 工場のが開始を図る場。計画に選出が生じないよう事業管理 を選出に行っていましたことを、大事業を製化、地元と また、投げ事の味をとで見したことをよるものであるが、 が、行命なの生態を変更したことをよるものであるが、 が、行命なの生態を変更の概要表がこれが、「今年ルデー 月31日間間下掛りに基づき、手算機は避難において何、 月31日間間下掛りに基づき、手算機は避難において何、 明日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の		地方協力局	一般会計	(項) 在日米軍等社報間連接費 (大事項) 在日米軍の兵力領域見至し等に関する政府の の実施に必要な経費	取組 防衛省	- 0212 - 00				平成29年度対象	
04 SACO関係経費	НВ	終了予定なし	5, 041	4, 086	3,736 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	<ul> <li>毎年度鏈越額が大きく、米車との調整等によりやむを得ない ものと思われるが、計画において進めるべき事業に遅れが生じ ているとの印象を持ち、事業管理を適切に進めるべき。</li> </ul>	14, 599	-	<b>▲</b> 14, 599	-	現状通り	経越については、予算要求後に、地元や米軍との調整に 時間を要した等、やむを得ない事情によるものであるが、 工程の見直しを行う等、計画に遅れが生じることのないよ う事業管理を適切に行っている。	-	地方協力局	一般会計	(項) 在日米軍等駐留間連踏費 (大事項) 沖縄に関する特別行動委員会最終報告に違り れた措置の実施に必要な経費	込ま 防衛省	- 0213 - 00				平成28年度対象	
35 独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構運 営費交付金	H14	終了予定なし	3, 020	3, 020	3,020 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	<ul> <li>・日米地位協定の規定に基づき、引き続き、円滑かつ公益性のある事業の推進に努められたい。 物件費の執行に当たっては引き続き、競争性の確保を図り、 価格の実出性を追求してほり。</li> </ul>	3, 270	3, 373	103	-	現状通り	本事業目的に鑑み、引き続き平成31年3月に認可された 事業計画に掲げている事項について、適切に実施するよう 努める。	-	地方協力局	一般会計	(項)独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構運営費 (大事項)独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構選 交付金に必要な経費	営費 防衛省	- 0214 - 00				平成30年度対象	
16 特別調達資金事務処理システムに要する経費	H17	終了予定なし	117	117	86 外部有識者の直検対象外である。	現状通り	ーンステムの借料等は、機材の更新時には既存企業以外の事業 市の参入の受込みがあることから、新規参入の確保に努められ たい。また、次原更時日は、改善の方向性で示した取組を確 実に実施されたい。	84	34	<b>▲</b> 50	-	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえ、今後も適切な対応に努める。 ・次期更新に向けて、改善の方向性で示した取組に努める。	-	大臣官房	一般会計	(項) 防衛本省共通費 (大事項) 防衛本省一般行政に必要な軽費 (項) 在日米軍等社留限連絡費 (大事項) 在日米軍等の駐留に必要な経費	防衛省	- 0215 - 00				平成29年度対象	
施集名: 2-(2) 在日米軍の鞋留をより円滑かつ效 17 特定防衛施設局辺登機関整交付金	東的にするが S49		コミュニティ- 36,902		・「事業所管部局による結婚・改善」に記載された、結局事業所管部局による結婚・改善」に記載された、結局事業者が実施した契約32.00 橋の情報の発症に係る取り組みは指揮できる。 ・応能認定の定要的は関係しまり扱うともの住民環境の設定に続くっては、引き続き、公平性の機能において変われる性の関係にある取り組みは指揮できる。	理状通り	<ul><li>・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。</li></ul>	37, 169	23,811	▲13, 358	-	現状通り	・防衛施設の安定的な維持により服客される住民環境の是 正に出たっては、引き続き、公平性の報点において無駄の ない事業の推進に努かてまいる。	5 -	地方協力局	一般会計	(項) 防雨力基盤整備費 (次事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費 (項) 在日末軍等は関配基準 (大事項) 在に来事の兵力構成見重し等に関する政府の の更新に必要な経費	取組	- 0216 - 00				その他	
施策名:3-(1)二国間・多国間共同訓練・演習の	実施											<u> </u>												$\pm$
28 多国間・2国間交流	H25	終了予定なし	449	449	304 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度、予事の執行率が低い、事業の性質上国難な部分もあるかと思われるが、可能な譲り予算の効率的な執行に努められたい。	470	472	3	<b>▲</b> 6		訓練の実施内容は、訓練に先立って行う各種調整金譜等を 経て決定していくため、予算要求段階における訓練内容の 確定は開催であるものの、先行的かつ練習な際報報及は各 額定との開催により、訓練推加海内容取異様体を回り、 予算要求に限策するよう類かる。 予算教育にかなける 分析学報信書書で、一位機等の関係した事業系書 競技を報告することにより、6.315年行の職業を図ること かできた。	が 「新しい日本のための	防衛政策局	一般会計	(項) 防衛本省共通費 (本事項) 防衛本省・船行政に必要な経費 (項) 防衛力基盤整理者 (項) 防衛力基盤整理 (大事項) 開催: 河南の資配に必要な経費 (項) 起源 (可) 起源 (可) 起源 (可) 起源 (可) 起源 (可)	防衛省	- 0217 - 00				平成27年度対象	
施業名:3-(1)二国間・多国際共同型線・演習の の	·実施、3-(2)	防衛協力・交流の推進 終了予定なし	242	242	・事業の効果について、定意的に図ることは開発で あると思われるが、レビューシートの「事業所需動 所による経験、改善、機能において、例えば、現代 な事例を用いて必要性及び有効性の呼音を行うな とより、では、日本の理解を得るの工夫が必要である。 ・レビューシートの「国質的人の必要性」の項目 がいするも間がは、では、これでは、これでは、 必要である。	現状通り	外部有漢者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	245	278	33	-	執行等改善	・ アジア太平洋地域の安全保護環境の一階の安定化を図る ためには、ハイレルル同じての交流を図ることは不可な、 ある、今後少事業を掲載していくにあたり、引き続き材が、 類似を指揮さん、関や性のあるものは入れに、 なる場合が国連を選をしてもくとして、関や性のあるものは入れに、 なる場合が国連を選挙されるととして、関や性のあるものは入れに、 なる場合が国連を選挙されるととして、単一を関係している。 ネーチ事製行の効率化に引き継ぎ材がない。 ・アルビーンゲートの「事業所管部版とよる自体、改善」の 「国東党人の必要性」の3項目について、配載内容を修 にした。		防衛政策局	一般会計	(項) 防能本者共通費 (大事項) 防能本名・船行政に必要な経費 接上自衛節の運営に必要な経費 接上自衛節の運営に必要な経費 海上自衛節の運営に必要な経費 海上自衛節の運営に必要な経費 (項) 防衛協力・受測に必要な経費 (次事項) 防衛協力・受測に必要な経費	防衛省	- 0218 - 00				その他	
0 実務レベル政策的交流	H2	終了予定なし	192	192	131 外部有限者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・航空券の割引制度を利用するなど、予算執行の効率化が図ら れていることが認められる。他方で一般競争人見を実施してい るものの、一部なの収定が見受力であることから予り会変 分析を製施し、応礼者拡大のための検討を行い競争性の確保に 関められたい。	108	106	<b>▲</b> 2	-	例打寺以書	・アジア太平洋地域の安全保護環境の一層の安定化を図る たかには、実際レベル同じての交流を図ることは不可欠で ある。 今後・事業 理解性 (似立) の 2000年、日本により、引き続き的に 関係を記定え、高度事情 (似立) の 2000年、日本により、 よるの事的に関連を企業するとともに、 1924年の日期指数 によるディメカウントチャント間と、日本まする等、予算要 求・予算執行の効率化に引き続き努めていく。	-	防衛政策局	一般会計	(項) 防衛本者共通費 (大事項) 防衛本者— 除行設に必要な経費 被自衛保証の選託に必要な時費 陸上自衛院の運託に必要な経費 (項) 防衛治力・受災等基長 (大事項) 防衛治力・交流に必要な経費	防衛省	- 0219 - 00				平成27年度対象	
1 都際レベル対話	\$44	終了予定なし	155	155	45 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・不用単析大きく、その理由として相手型と目標等の問題がつ かず期間が中ととなったとのことであり、やむを得ないものと 考えられるが、2かま度連載でのことであり、あらゆる面での 分析を行い、通知ク事業事業に終めた。 また、引き継ぎ、被宣奏の割引制度を利用するなど、予算核 行の効率化に努められたい。	45	56	11	-	執行等改善	アジア太平法地域の安全保護環境の一帯の安定をと認った。 めには、朝証しべい同士での交換を図ることは不可なである。今後も重要を開始していくにおより、競争にのおるしてのなりなりに対していません。 のは大利による地域の収益者を受するとともに、出場をの の早期程度によるディスカウントテケット購入を追求する 等、効率的、効果的な予算要求・執行に努めていく。	-	防衛政策局	一般会計	(項) 防衛本有共通費 (字單列 防海本省—紛行政に必要な發展 被告無整理制の運動に必要な經費 施力。 (項) 防衛力基型性の (項) 防衛力基型性 (大事項) 从等的推放。 (項) 防衛力基型性 (大事項) 人类學等基度 (大事項) 从等的上处更必要費 (大事項) 人类學等基度 (大事項) 从是是是是是	防衛省	- 0220 - 00				平成28年度対象	
施策名:3-(2)防衞協力・交流の推進 12 教育訓練履修給付金	H10	終了予定なし	101	100	98 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	- 引き続き、効果的な給付金のあり方について不断に検討を行 うとともに、留学及び派遣国に対するアンケート調査を継続 し、その課金結果を分析のうえ下海事実に適切に扱きれた	125	136	12	-	現状通り	引き続き、適正な予算要求および予算執行の効率化に努め るとともに、今後も留学生や派遣国に対する意見聴取等を	-	人事教育局	一般会計	(項) 防衛協力・交流等推進費 (大事項) 防衛協力・交流に必要な経費	防衛省	- 0221 - 00				平成27年度対象	丰
3 ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援	H28	終了予定なし	80	80	70 外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	い。	70	69	<b>▲</b> 2	▲ 0.256	6 総滅	実施し、現状の把握に努め予算要求に反映する。 ・地理的な特性もあり、他社参入や資源確保が困難な率が あるものの、引き機き効率的な予測要求、執行に努める。 ・執行機能を謝まえた上で、要求品目を精査することによ り、26年行の組織を図ることができた。	「新しい日本のための	統合幕僚監部	一般会計	(項) 防衛協力・交流等推進費 (項) 防衛協力・交流等推進費	防衛省	- 0222 - 00				平成29年度対象	+
施策名:3-(3)能力構築支援の推進							した単位当たりコストの妥当性についても視野に経済性を高め る余地がないか検証してほしい。					<u> </u>				<u> </u>	I I							+
4 能力構築支援事業	H23	終了予定なし	325	325	229 外部有識者の直検対象外である。	事業内容の一部改善	・個人契約よりも達人を介した契約のほうが経済的な場合があることから、認能における協会等の増り上げと旅行代理協等を りた監督等の増り上げはどちらが経済的か検証のうえ、更な る経済性を追求してほしい。 また、執行率とらると叩きとなっており、契約実績の分析及 びコスト経滅方案の検討等を不断に実施し、その結果を反映す ることにより、効率的な予算表す。予算級行に努められたい。	346	389	43	-	年度内に改善を検 計	相手関係の事情により、高葉日程等の確定に映響を要する 場合が多く、また。急な変更もあなど、順端に要する リードタイム等を踏まえると競争に寄りがたい場合が多い。 か、日経等が経験であるような事実しついては、最深性の場合 関の歯上等を使務契約として競争に付すなど、経済性の 大に関かている。引き続く、解析に関係し、まり間切る 電・微性に基づき模束を行いるよう場合ので有要求である。 場所に基づき模束を行い、より適切な予算要求、予算 条件にある。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」389	防衛政策局	一般会計	(項) 防衛本衛共通費 (大事項) 防衛本省・総行政に必要な経費 (項) 防衛協力・交流等推進費 (大事項) 能力構設支援に必要な経費	防衛省	- 0223 - 00				平成29年度対象	0

※平成	t3 1 年以降の表記は、新元号に読み	替えることと	fā.		m rb	30年度			Chite C. Wer (AIR	Z#01##	≡rto o tra				反映状况								(単位:百万円)
事業番号	事業名	事業開始 年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度 補正後予算額	執行 可能額	執行額	外部有識者の所見	評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き B-A=C	反映額		反映内容	请考	担当部局庁	会計区分	項·事項	10	SB SB	平成30年度レビュー 2つ目	 外部有識者点検対象 (公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 第音 3つを起える場合 由を配載
215	海賊対処に要する経費	H21	終了予定なし	5, 865	5, 775	i 5, 35	57 外部有護者の点談対象外である。	事業内容の一部改善	・競争性が働きづらい分野においては、価格が高止まりになり、高高利率が継続する傾向があることから、価格面に注力した取組(見積積量等)をさらに著者し、価格の返還、努力ではしい。 ロール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3,977	4, 594		-	年度内に改善を討	・ 競争性が働きづらい分野の予算執行について、ご所見の はとおり実現もり報告を年代は、優新を選定するち。 ・ 少部競技の予報技術について、衛帝の支柱を以びテル ルチリットが開待できる品目について構査・検討し、改善 に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進校!	統合幕僚監部	一般会計	(第) 防衛本者共通費 (大事項) 防衛本者一般行政に必要な経費 無上自衛院の必要に必要な経費 無上自衛院の必要に必要な経費 (第) 登高第四等型場所のの選に必要な経費 (第) 第一個等型場所のの選に必要な経費 (大事項) 更加等の関係に必要な経費 (大事項) 運用基盤の登場に必要な経費 (本年) 第一個等での運用に必要な経費 (第) 在企業を展開の実施に必要な経費 (第) (本第) 海原 (場) (第) (本第) (第) (第) (第) (第) (第) (第) (第) (第) (第) (		- 0224 - 00		 デール (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)
216	施業名:3-(5)国際平和協力活動の実施 家族支援経費	H22	終了予定なし	37	37	1 4	45 外部有調者の点検対象外である。	現状通り	・執行函が予算額を超過している状況が機能しているので、更 原分性の引え、環境な予算要求、執行に関かられたい。また、 執行能が予算額を超過している理由については、レビューシー トにおいて関係し、執行の妥当性について国民の理解を得られ らようにすべき。	45	63	18	-	現状通り	- 執行極が予算額を担遇している理由は、艦艇の修理開始 日及び終了日が流動的であることから、月の単ばで修理を 関係支払終了した場合には、1カ月分のプロイグ利用制 が多くかかり、最低、執行能が開業を担遇する。プロバ が成立した。 のを選ばに努める。	-	人事教育局	一般会3十	(項) 武器専用等登機費 (大等項) 武器専用等の登機維持に必要な経費	防衛省	- 0225 - 00		 平成30年度対象
	施業名: 4-(1)別線・濃留の充実・強化 ・	\$28	終了予定なし	65, 938	66, 606	i 64, 41	13 外部有護者の点検対象外である。	現状連り	- 一般競争人札、公事を実施してるものの、一者応札、一者応 裏の状況が見受けられることから、実別が相を行い、更なる応 に向けた工夫の検討に努められたい。 に向けた工夫の検討に努められたい。	67, 962	61, 167	▲6, 796	▲254	総波	令和2年度程度要求においては、仕機内部の見直しや要求 品目、教室を概要することにより、253,370千円の認識を 認った。 下記とピュー権選手―ムの形見を設すえ、機争性を 表のらエネや単数や内容と入りして価格機変に出たり、引 き続きコスト軽減に別める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」	人事教育局 防衛政策局	一般会計	(明) 新原本音楽通覧 (大学の) 東京 (大学の) 大学 (大学の) (大学の	防衛省	- 0226 - 00		 平成28年度対象 〇
218	入校、講習、研修等に要する旅費	S28	終了予定なし	1,890	1, 890	1,77	79 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・施費の執行について、引き続き、関係法令に基づくととも に、官用側の利用や部隊等における部内泊をするなど効率的か つ抑制的な執行に努められたい。	1,887	1, 859	▲28	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、官用機の利用、振荡等における部内治、旅行パック等の更なる原用といった効率的かつ脚制的な執行を認るとともに、引き継ぎ効率的な下事業では「一直を持ち、 別事的な下事業求及び関係法令に基づき連切な予算執行に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」7	人事教育局 防衛政策局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 大事項 人事教育施施の実施に必要な経費 衛生活動の業施に必要な経費 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0227 - 00		 平成30年度対象
	部外講師の招へいに要する旅費	\$43	終了予定なし	20	20	1	14 外部有識者の直検対象外である。	現状通り	- 旅費の執行について、引き続き、関係法令に基づき、適切に 実施されたい。	15	16	1	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き、 官用機の利用といった効率的かつ抑制的な執行を図るとと もに、効率的な予算要求及び関係法令に基づき適正な予算 執行に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」0.4	人事教育局	一般会計	<ul><li>(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 人事教育施護の実施に必要な経費 指生活動の実施に必要な経費 接曲品等の効率的な取得等に必要な経費</li></ul>	防衛省	- 0228 - 00		 平成30年度対象
	施業名:4-(2)部隊等の各種支援機能の強化 庁内託児施設の整備	H19	終了予定なし	96	35	i 1	13 外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・一般競争入札による一者入札が見受けられる。十分な要因分析を実施し、競争性の拡大を図るとともに、引き続き効率的な 予算要求・執行に努められたい。	248	314	66	-	執行等改善	<ul> <li>一者応札になった要因は、一般競争入札における競争か 加資格祭件模などが要因と考えられ、競争参加資格条件な どを見慮すなどして改善に努め、競争性の拡大を図り、効 率的な予算要求・執行に努める。</li> </ul>	「新しい日本のための 優先課題推進枠」314	人事教育局	一般会計	(項)防衛本省施設費 (次等項)防衛本省施設整備に必要な経費 (項)防衛力基整性機関 (次等項) 運用基盤等の整備に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費	防衛省	- 0229 - 00		 平成27年度対象
221	市ヶ谷地区の維持管理に要する経費	H12	終了予定なし	7, 067	6, 723	5, 76	80 対部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・顕導者位及び契約盟際の見重しや、企画書件は規則及び人員 権援期間等更なる経典を行うなど他等性の確保に努めているこ は採剤できる。した、引き続き、一部なおが多いことか ら、人札に参加しなかった業市からのとアリンプ知業を収録 し、私人者なが入めの情報を行い、ことの結婚性の機能に 事また、引き続き、契約実施の分解及びコスト総裁方期の検討 等そ所に実施し、その結婚を反対することにより、効率的な 予算要求、予算執行に努められたい。	6, 294	6, 581	287	-	執行等改善	引き続き、契約策略の分析を行い、受注をや、入札に参加 しなかった者の意見を讃まえつつ、受注者が保存すべき際 場合人具体制な「自然と関係」をは、 を して を して を は り に を り に を の を の の の の の の の の の の の の の の の の	-	大臣官房	一般会計	(第) 防衛本等共通費 (大事項) 防衛衛衛の速度に必要な経費 施設等機関係の速度に必要な経費 競技等機関係の運貨に必要な経費 場上的機能の運貨に必要な経費 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤整備度 (項) 防衛力基盤等の整備に必要な経費 (項) 防衛機能が決重を経費	防衛省	- 0230 - 00		 平成28年度対象
222	特別借受宿舍	\$39	終了予定なし	13, 024	13, 024	13,02	・金利が高利であり、早期に返金(資政)すること を引う機能を推定すべきである。なお、買取額は設施 を引う機能は認めていません。 質の機能であるが、関かまでの金利を含めたキャッシュフロー金件でその要 出性を判断するべきであると思称する。	現状通り	外部有識者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	13, 107	12, 783	▲324	<b>▲</b> 489	総減	会相2生度概要要においては、特別信号器会4.77円 の電影機器。6.76四万円を計上にひら、参数元年度 予算と比較して開放機器を16.8万円機能したことは、 リ買取の選差を回り、特別機器器の分型頻繁点と信号枠の 機分に努かていることであり、他の24度服果来では 優乗料を4.88、9.71千円配減することができた。 なお、金利の24度服業があり、買取こついて は、頭形して残金料機の大きい、最近の建設半度の特別 機楽器をから見い場合ととしている。		人事教育局	一般会計	(項) 防能力基盤整備費 (大事項) 連用基盤等の整備に必要な軽費	防衛省	- 0231 - 00		 その他
223	一般確保審會	\$48	終了予定なし	3,950	3, 950	3, 76	86 外部有護者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・地域性等において対象の物件は固定的になると思幹するが、 理主や仲介からまとめて質更する等により、価格皮渉の余地が あることから、コイト版証(係を別無を引き続き、記して また、入屋がはかった場合にコストがかかっているのであれ ば、過度がたかった場合にコストがかかっているのであれ ば、過度がた過音を有効に活用してほしい。	4, 059	4, 334	274	▲26	総滅	今後とも所要を踏まる。まとめて買賞することによるコ 入 年級かの取り場合を発酵的に取り組んでいく。 また、 電気の影響が、(FU 一等が)に促出を含かえまい。 なることがあるため、入居率を100%にすることは物理的 に関しいが、可数を関う人間をが高くなるよう可きを発す あていく。 なお、未入居省会のこいでは、入居の目達が立たなかっ 力り、物名と定義に要求とがでいる。 あり、物名と発展は要求とがいている。 を受けるとは、未入居省会の過去を行い様数の加減に努めて り、もちとを発展するまだがにている。 等を行うことにより、過程を開催を20戸底したことで2 5、914年行の総裁を置っている。	-	人事教育局	一般会計	(項) 防能力基盤整備費 (大事項) 連用基盤等の整備に必要な経費	防衛省	- 0232 - 00		 平成29年度対象
	衛舎 (建設等)	\$37	終了予定なし	27, 079	23, 562	. 20, 97	76 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度機能を発生させているところ。計画において整備すべき施設の機能が発生されているのではよ印象を持ち、事業管理を適切に最からべき、たちあると「周囲一般競争入具・・」とあるが、すべての認識において複数性の多点修可いるのか、様数社の参加がなければ、競争性において、価格の実制性では、ますることは関係を追求するを使かがあれば、見見機能等において更なの機能があるません。また、引き続き、一者の私の改善に係る数り組みを確認してほしい。	23, 260	28, 739	5, 479	-	執行等改善	高金融版は、年度をまたがら建設工事に付替して生する 様々な事態を讃まえて進めなければいけない事宜であり、 ともすれば競性させるを得ない事かれまない。 とが想定されるが、いずれにせよ、引き続き事業計画の最 造化に努かていてことさする。 、メ札については最も理像があれたもの。であれについて、 、メ札については最も理像があれたもの。であれについて、 は、撮影におけて事事なの表を増加されたも理があるもの。 の、その他については、複数を前入れに参加した手にういて、 は、撮影におけて期をは要がある。であればいかに というないを指数である。 サタないを無限が工程を接近する事業にあります。 とにより一者の本の改善に努めていく。	「新しい日本のための 優先課頭推進枠」	人事教育局	一般会計	(実) 防衛力高盤整備費 (大事項) 運用高盤等の整備に必要な経費	訪衝省	- 0233 - 00		 平成28年度対象
225	施策名:4-(2)部隊等の各種支援機能の強化 緊急登庁支援用備品等	H23	終了予定なし	32	28		23 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、契約実績の分析及びコスト低減方案の検討等を行 い、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	16	23	7	-	現状通り	・機品等の損耗更新等の整備にあたっては、さらなる参入 業者の増加に努め、引き続き通切な予算要求、執行に努め る。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」19	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 運用基整等の整備に必要な経費 人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省	- 0234 - 00		 平成28年度対象
226	施策名:4-(2)部隊等の各種支援機能の強化 相互防衛援助協定交付金	、4-(5)防衛生産・ S29	技術基盤の維持・終了予定なし		品の効率的なE		50 外部有識者の点検対象外である。	现状通り	・引き続き、相互防衛援助事務所との間で経費の必要性につい て十分な協議を行い、引き続き適切な予算要求及び予算執行に 別められたい。	152	153	1	-	現状通り	相互防痕接換事務所との間で接責の必要性について十分な 組施を行い、引き続き適切な予算要求及び予算執行に努め る。 また、公募にあたっては、応水者拡大のための検討を不断 に実施し、更なる競争性の向上に努める。	-	大臣官房	一般会計	(項) 防電力基盤整備費 (大等項) 相互防衛援助協定交付金等に必要な経費	防衛省	- 0235 - 00		 平成27年度対象
	接集名:4-(3)人事教育施業の推進 大規模広報施設	нз	終了予定なし	293	293	25	54 外部有識者の点核対象外である。	現状通り	・一者広札、一者広事業件の分析を行い、更なら応札者署の拡 大の検討を行うとともに、コスト復議や効率化に向けた工夫の 検討に努められたい。	258	319	62	-	執行等改善	・2者以上の見積の取得やHP等へ入札信報を広く模能するなどして、価格競争によるコスト制度ができるよう努めていく。	-	大臣官房	一般会計	(第) 防衛本弁共通費 (本等) 独上自標版の運営に必要な経費 (本等) 独上自標版の運営に必要な経費 (第) 防衛力基盤登機 (大等) 運用監督の登機に必要な程費 人事務責施監の実施に必要な程費 人事務責施の実施に必要な程費 (項) 妥高導高等登機 (大等句) 運動等の業権(必要な経費 (本等の) 運動等の業権(必要な経費		- 0236 - 00		 平成29年度对象
228	防衛大学校における教育訓練に要する経費	S28	終了予定なし	1, 735	1, 735	i 1, 65	56 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・応札可能な事業者が複数見込まれる中で、一者応札となって いる状況が徴見されることから、十分な要因分析を激度し、応 札者拡大のための検討を行い競争性の確保に努められたい。	2, 170	2,066	▲104	▲19	総減	・応札者拡大に向けて、近隣部隊等の提示板への公告の起 り出し旋頼、呼視板の公告への仕様書添付、郵便入札の乗 防などを進めたおり、引き終む札者拡大に向けての検討 を行い、加えて執行策様の分等等により接費削減を回り、 効率的な子展文・執行に努かる。 また、2年度應算要求において、契約業様を反映し、1 8.872年円の施減を回っている。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」457	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 運用基盤等の整備に必要な軽費 人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省	- 0237 - 00		 平成29年度対象
229	自衛官等募集活動に要する経費	S28	終了予定なし	1, 286	1, 286	1, 26	63 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き効率的な予算要求・執行に努めるとともに、体制と 効果の適正性については「国防を担う優秀な人材を確保するため の検討委員会」の検討結果を適切に反映して欲しい。	1, 337	1,424	87	-	現状通り	引き続き、契約実績の分析を行い更なるコスト低減を検討 し、効率的な予算要求及び予算執行に努めるとともに、 「国防を担う優秀な人材を確保するための検討委員会」の 検討結果を通明に反映する。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」5	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 人事教育施策の実施に必要な経費	防衛省	- 0238 - 00		 平成28年度对象
230	援護業務に要する経費	\$45	終了予定なし	172	172	17	72 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一般競争入札による一者入札が見受けられる。十分な要因分析を実施し、競争性の拡大を図るとともに、引き続き効率的な 予算要求・執行に努められたい。	156	160	3	-	現状通り	競争性の拡大に努めるとともに、引き続き執行状況を把握 し、効率的な予算要求及び予算執行に努めてまいりたい。	-	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 連用基盤等の整備に必要な経費 人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省	- 0239 - 00		 平成28年度対象
231	募集事務地方公共団体委託費	\$28	終了予定なし	83	83	8	82 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き継ぎ、各地方公共団体から選出される募集事務実績報告 書から、実任所の執行社立を把握するとともに十分な分析を行 は、その結果を設計することにより効率的な予算要求、予算執 行に努められたい。	84	85	0	-	現状通り	防衛者・自衛隊においては、最しい事業環境が継続する 中においても、優秀な人材を将来にわけ、安定的に落ちず ため、地方の部分を対象とは、大きな ため、地方の部分を対象とは、大きな であると世際している。 一般のでは、大きな 一般のでは、大きな 一般のでは、大きな 一般のでは、大きな 一般のでは、大きな 一般のでは、大きな 一般のでは、大きな 一般のでは、大きな 一般のでは、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を		人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省	- 0240 - 00		 平成27年度対象
232	自衛官等募集試験等に要する経費	S28	終了予定なし	269	269	26	65 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一者応札となっているものが見受けられることから、引き続き、応札者拡大のための検討を行い、競争性の確保に努められたい。 また、引き続き、契約実積の分析及びコスト総減方集の検討等を不断に実施し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算要求、予算表	274	298	24	-	執行等改善	1者の札については、仕様書の見直しを景施し複数者が 入札できる状況にするとともに、価格交渉を行い更なるコ スト版法を検討し、効率的な予算要求及び予算執行に努め 6。	-	人事教育局	一般会計	(項) 防密力基整整備費 (大事項) 人材教育施業の実施に必要な経費	防衛省	- 0241 - 00		 平成30年度対象

※平成31年以降の表記は、新元号に読み			型成なり作者		0年度		行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度	平成32年度	差引き			反映状況							平成30年度レビューシート番	号		外部有識者点檢対象	単位:百万円)
事業 事 業 名	事業開始 年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度 補正後予算額	執行 可能額	外部有識者の所見 執行額	評価結果	所見の概要	当初予算額 A	要求額 B	B-A=0	反映額		反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項·事項		1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 由を記載	調査 金等 基金
233 自衛省等募集広報宣伝に要する軽費	\$28	終了予定なし	609	609	・ 成果実施は、自有音管の混用した実施しなってい のが、実施は、本等事の広報がからまして自信でき のが、実施は、本等事の広報がからまい。日間でき のが、実施は、またがけては、広報がその根果をもたら したとする根据が不明まである。アウトカン ので、またがは、大学では、大学では、大学では、 ので、またが、大学では、大学では、大学では、 ので、またが、大学では、大学では、 ので、大学では、大学では、大学では、 ので、大学では、大学では、 ので、大学では、大学では、 ので、大学では、大学では、 ので、大学では、 ので、大学では、 ので、大学では、 ので、大学では、 ので、大学では、 ので、大学では、 ので、大学では、 のでは、 ので、大学では、 ので	事業内容の一部改善	外部有識者の所見を請求えて、適切に対応されたい。	621	659	38	-	執行等改善	国用の多数を占める。自衛管構築の30年度を開始アンケートでは、北部に影響を与えた事業の店をして、インクーネット開係。イベント、テレビ構築を、ポスターを 日本の場合は、イベント、テレビ構築を、ポスターを 日本の場合は、日本の場合は、日本のは、日本の場合は、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	表 夏 夏 夏 夏 『新しい日本のための 優先課題推進枠」260	人事教育局	一般会計	(項) 防能力基盤整備費 (大事項) 人材教育施集の実施に必要な経費	防衛省	- 0242 - 0	0			その他	
234 企業主招へいに戻する軽費	\$53	終了予定なし	36	36	35 外部有難者の点検対象外である。	現状通り	- 引き続き、執行状況の分析及びコスト総滅方漢の検討等を不 断に実施し、その結果を反映することにより、効率的の予算安 ・なお、この事業(企業主際へ)とファクトカムであるが決定 定者数との因果原係が分からように工夫するとより、事業の有 効性が強烈に理解されるのではないか。	36	32	<b>▲</b> 4	-	現状通り	福広い分野への再級面を可能とするためには多くの念字 を扱いいし直動を得るめ至めるかが質用和による活躍や時 リ、引き機合効率的な予算を及び予算終行に扱うてまい リ、引き機合効率的な予算を及び予算終行に扱うてまい り、記り機合効率的な予算を及び予算終行に扱うでまい の自能等への更終を明ることにつながり、再級機関域の 次等、再級機会の機能に資することがリ、直接機関域の 効果の分析に配慮しつつ質恵してまいりたい。	- F	人事教育局	一般会計	(項) 55市力基施整備費 (大事項) 人材教育推集の実施に必要な経費	防衛省	- 0243 - 0	0			平成27年度対象	
235 進済相談部外委託に要する経費	нв	終了予定なし	86	86	・支出先リストを参照すると一社の礼であるが、仕 押は近番毎組分を雇用に関する情報の集まであり、多 か、そのため相談のを置いては一般では、一般では、 か、そのため相談の整理、(領域的に、声が中等)にあ め、競争性を表めることでは他の空間ができるのが、こ ではないか。 ・主記、無単定型かりでは他の空間ができるかが、こ が無要が本事としてほしい。 ・事態を表現を表があるとしてはいか。 ・事態を必要をとしてほしい。 ・事態を必要をとしてほしい。 ・事態を必要をとしてはいか。 ・事態を必要をとしてはいか。 ・事態を必要をとしてはいか。 ・事態を必要をとしてはいか。 ・事態を必要をとしてはいか。 ・事態を必要をとしてはいか。 ・事態を必要をとしている。	現状通り	外部有識者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	87	100	13	-	執行等改善	一社が見となった美田の一つとしては、海初、海際の企業 が参加の風を見せていたものの、入札料に提出を来る、 資料の作成、提出開版が超かったため、接触の基金の入札 参加計議につなったものと考えられ、そのため、大切 は接ばするとともに、ホームページ等で入入情報を任く開放 するなどと、地域の基本が参加しかでいた父となるようを 返してまいりたい。 これ、本事となった。 に、本事を必定しませない。 また、本事を必要となった。 では、本事となった。 また、本事となった。 また、本事となった。 また、本事となった。 また、本事となった。 また、本事となった。 また、本事となった。 また、本事となった。 また、本事となった。 また、本事とない。 また、本事となった。 また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また。 また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま	1 0 1 2 2	人事教育局	一級会計	(項) 防原力基度整備費 (大事項) 人材教育批繁の実施に必要な發費	防衛省	- 0244 - 0	0			その他	
236 援護業務民間要託に要する経費	H19	終了予定なし	1, 179	1, 179	・引き続き、執行状況の巡閲及び分析を行い、さら なる効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 1,137 - 「報位集化リコスト」が、平成化学度から効率度 ビューシートに記載すべきである。	現状通り	外部有識者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	1, 260	1,327	67	-	現状通り	5か年の国庫債務負担行為による契約であり、28年度と 29年度は契約更新の年度にあたるため別契約の契積は都 である。29年度は関の契数性、高額面での再級権を対 する議論的の開資が増加したことにより、その対応等のた が出来しているである。一分、単位 により契約を継が開放ととや実施の対象となり集団が基準した。 により契約を継が開放とといるのである。一分、単位ま がの投資対象となる機能が指数を表しましたがである。 一分、単位 適可であることから、指導和目を審正した。 が関連などのためのである。 今後とも、引き続き他行気を把握し、効率的な予算要率 会び予算数所に対していまい。	- - -	人事教育局	一般会計	(項) 防垢力基盤整備費 (大事項) 人材飲育能集の実施に必要な経費	防衛省	- 0245 - 0	0			その他	
237 退職予定自衛官就職援護業務費補助金	\$54	終了予定なし	365	365	385 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、補助事業者からの報告を受ける「補助事業実施状 沢報告書」を精査し、使途及び経済的な支出になっているかコ スト総滅の視点で適切に管理して欲しい。	365	369	4	-	現状通り	補助事業実施状況報告書を精査し、引き続き執行状況を把握するとともに、効率的な予算要求及び予算執行に努めて まいりたい。	-	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省	- 0246 - 0				平成28年度対象	0
238 資費生資与金	\$30	終了予定なし	12	12	11 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	- 事業所管無局による点検・改善の「事業の有効性」におい で、「過去3ヵ年度を進して成果目標数を概ね過度されてい る。」と評価しているが、28年度及び30年度と達成変が54.5% と低いことから、その理由をレビューシートに配載するべきで はないか。	16	23	6	-	現状通り	大学院への選字や民間企業への試職などにより、自衛階は 入隊しないケースもあるが、入隊しなかった場合や、入隊 後早期に退職した場合は資み金の成業制度を設けている。 協議事業は専門販売を持った歴令な人材の確保に必要なも のであり、今後も適切な執行に努める。	_	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 人材教育批准の実施に必要な経費	防衛省	- 0247 - 0	0			平成30年度対象	
239 予備自衛官に必要な経費	\$29	終了予定なし	2, 439	2, 438	2,432 外部有業者の点検対象外である。	現状通り	・まとめ直い毎によるコスト線域の原線が確認出来た。また、 原的実施の分析及びコスト線域が原の検討等そ不断に実施し、 その結果を接続することにより、加率的な予算要求、予算執行 に努められたい。	2, 543	2,500	▲43	<b>∆</b> 1	総滅	引き続き契約素額の分析を行いさらなるコスト低減を終 計し、別半的な予算要求および予算執行に別めるととも に、「人材確保的計算員会」の検討結果を追切に反映す 6-和立主度程度要求においては、対象人員や敬豊等の移 算を見重し、1,099千円の総減を図った。	-	人事教育局	一般会計	(項) 防密力基礎整備費 (大事項) 人材教育施集の実施に必要な経費	防衛省	- 0248 - 0	0			平成29年度対象	
240 即応予備自衛官に必要な経費	Н9	終了予定なし	3, 695	3, 700	3,548 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・一般競争入札による一者入札が見受けられる。十分な要因分 析を実施し、競争性の拡大を図るとともに、引き続き効率的な 予算要求・執行に努められたい。	3, 747	3, 790	44	-	執行等改善	一般競争入札による一者入札が発生しているため、予算制 行状況を分析するなど過去の執行状況を踏まえ、適切の予 質素をおよび予解析に誘わるともに、「人材確保検討 受責会」の検討検索を適切し反映する。	A. F 「新しい日本のための 日 優先課題推進枠」66	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 人材軟質監集の実施に必要な経費	防衛省	- 0249 - 0	10			平成29年度対象	
241 予備自衛管補に必要な経費	H14	終了予定なし	163	163	145 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	年々訓練出頭率が係下している。不用の理由として訓練参加者が当時予定していた人数を下回ったとのことであるが、十分に要因を分析し、必要な施業の検討に努められたい。	177	153	▲24	-	執行等改善	引き続き、訓練出頭を指書する英図について分析を行 い、予備自電管域がより集散に教育訓練に出版できるよう。 の では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-	人事教育局	一般会計	(項) 防奈力基盤整備費 (大事項) 人材教育施策の実施に必要な経費	防衛省	- 0250 - 0	0			平成29年度対象	
242 防衛駐在官等支援経費	H26	終了予定なし	28	28	23 外部有限者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成29年度の執行において不用が大きい理由について、許年 度と同様にレビューシート上で明らかにし、執行の妥相性につ いて国際の理解が得ったるようにすべき。 引き他き、受害からの感を効ける。イイードパックを高級 し、制度の発息しを活切に実施し、競争性を実める等の更なら コスト電源に努められたい。	32	32	0	-	執行等改善	平成が年度予算額に対し、執行値が低かった一周は、担 争契約により指字研帯の受異料が生産な金銭で無料された ことや出場時の航空時代が振官であったことが呼げられ あ、予算要求は、過去の実施や見無能の支出性を対け たうえで計上する頃、予算服と核計能のかい様により実施 性を問われない。対き機をするようの無き取り場、フィー ドックを実施、動態を、変滅者からの無き取り場、フィー ドックを実施、動態を、変滅者からの無き取り場、フィー ドックを実施、動態変更もの変とすることで競争性の 向上、コスト低減に努める。	-	防衛政策局	一般会計	(第) 防除本省共通費 (大事事) 防衛本省一般行政に必要な経費 (第) 防衛力基整整備費 (大事項) 人事教育施集の実施に必要な経費	防衛省	- 0252 - 0				平成27年度対象	
施集名:4-(4)商生機能の強化 施集名:4-(4)商生機能の強化 243 医療療品、衛生器材等の整備	\$29	終了予定なし	6, 685	6, 659	・毎年度機能が発生しており、計画において整備すべき販売機能が発生しており、計画において整備すべき販売機能を受きが選択されているのではその可能をとか、機能の運用でして、レビートとしているのの一番が利の状況を対ける。何が実現であるのかが指を行い、機能をレビーンートにはあすることとが、 は、120 (2012年) (		外部有識者の所見を語まえて、適切に対応されたい。	5, 766	6, 929	1, 163	4.6	缩波	・ 機能の理由について、当初は年度内に換入可能な在意を 確認していたが、補工予算女立後の見越物能のの際にして で表述されていた。専門性が高く、一部の工場をししか いちれず市場上が低いないったができまってした。 かられず市場上が低いないったができまってことが が利用したことかり、新規制造に不満の日数を至すること が利用したことが、事材制能ではないていた際で映る ・ 公告原際や特別の定定に起来するととない。 ・ 公告原際や特別の定定に起来するととない。 に対している。 ・ 公告の際で特別の定定に起来するととない。 に対している。 ・ 公告のでは、 ・ 公告のでは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会をは、 会とは、 会をは、 会とは、 会をは、 会とは 。 会とは 。 と 。 会とは 。 と 。 会とは 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。 と 。	1 日 5	人事教育局	一般会計	(第) 防奈本省共通費 (大事業) 防衛大者一般行政に必要な経費 (第) 防御力基整整機費 (大事業) 化生活物の資料に必要な経費 選用品基等の登機に必要な経費 (第) 武事業の登機に必要な経費 (大事業) 武器業品等の登機能料に必要な経費 武器業品等の登機能料に必要な経費	防衛省	- 0253 - 0	0			その他	
244 医療施行費	\$29	終了予定なし	12, 130	12, 176	12,172 外部有職者の点検対象外である。	現状通り	- 引き続き、政府の方針に基づき後見落薬品の利用を促進し、 コストの相談に努めてほしい。	12, 422	12, 580	158	-	現状通り	・防衛者・自衛隊において後受表高品については、使用サ 以のフォローアップや自衛国衛隊等後発高高品は用リスト の活用、積極的な・転載争戦的の展用による医高品の展 等を機計することにより、74度2 年後に政府機能である 3のや色速以、以同採用を参加となり、74度3 の名 度においても政府に関であるのがを連れていたことである。		人事教育局	一般会計	(項) 防務力基金整備費 (大事項) 選用基金等の整備に必要な経費 衛生活動の実施に必要な経費	防衛省	- 0254 - 0	10			平成27年度対象	
245 防衛医科大学校における教育に要する経費	\$47	終了予定なし	2, 128	2, 128	2,093 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・資金の流れを参照すると、随意契約(少額)が940件となって いる。一定の品目をまとめ一般競争入札にすることにより、競 争性による価格の妥当性追求及びスケールメリットが解待でき	2, 167	2, 226	59	-	年度内に改善を検 討	要求スケジュールの統制及び納入期限等の発注条件を見過 すこと等により、要求をまとめ一般競争入札に移行するな ど引き続き競争性の向上に努める。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」360	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 衛生活動の実施に必要な軽費	防衛省	- 0255 - 0	10			平成27年度対象	
246 診療委託費	\$29	終了予定なし	12, 213	12, 268	- 直接結果を参照すると、部内医療機能の受診拡大 を限るための特殊施工を分組へいることは非様 である。 施設施業について移답し、熱容の 注意の意文を図るなどに、要なる部内診療機能への の効果が不明であるなどに、要なる部内診療機能への の効果が不明であることから何等かの記載を検討す もべきではないか。	現状通り	る余地があり改善に努められたい。	12, 180	12, 099	<b>▲</b> 82			・部川高橋機関の受診拡大を取るための特種施賀に関し、 部原の有効性はあるが、個々の指揮管理は固轄するもで、 の、無理を自然性に関係していく、 本件等単立。自然管理が必然が、日本のは一般を が、工作を が、工作を が、工作を が、工作を の 、工作を の	H 45 do O P 45	人事教育局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大寿項) 衛生活動の実施に必要な軽費	防衛省	- 0256 - 0	0			その他	
施策名:4-(3)防衛生産・技術基盤の維持・: サブライチェーン開査結果活用データベース システムの構築 施策名:4-(5)防衛生産・技術基盤の維持・・	H28	終了予定なし品の効率的な取得	49	49	49 外部有調者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・契約方式について、一般競争入利の結果、一者応見となって いるようだが、その要因について確認し、競争性が無く工夫を 続対するのか、競争性のなかで議会の妥当にが認られる分對で はなければ契約方式を見重し、原稿機能や機能を受害しよる信 者面での選正化に努めることにより注力すべきではないか。	50	50	-	_	執行等改善	維持・運用について要求事項を見直し競争性を確保すると ともに、選手度の使用工動場を分析し、価格交渉等を実施 してコスト削減に努める。	5 「新しい日本のための 優先課題推進枠」50	防衛装備庁装備政策部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 防衛生産・技術基盤の維持・強化に必要な経費	防衛省	- 0257 - 0	0			平成29年度対象	

※平成	3 1年以降の表記は、新元号に読み替え				平成30年度			行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度	平成32年度	差引き		反映状況							平成30年度レビュー	?L∓⊑	(単位:百万円) 外部有識者点検対象
事業番号	事 業 名	事業開始 年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度 補正後予算額	執行 可能額 執行額	外部有識者の所見 i	評価結果	所見の概要	当初予算額 A	要求額	B-A=C	反映額	反映內容	備考	担当部局庁	会計区分	項·專項	15	つ目	2つ目		(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 調査 金等 おった超える場合 由を記載
248	防衛生産・技術基盤の維持・強化に要する経 費	H26	終了予定なし	77	π	115 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 執行部が予算器を認過していることから、要別分析のうえ、 適切な予算要素、執行に努められたい、また、執行部が予算額 を超過している理由については、レビューシートにおいて説明 し、執行の妥当性について国民の理解を得られるようにすべ き。	47	47	0	▲ 0.15	・防電装備品等に関する随着実施のための飲命 ン実別において、前等予定と9も総合性が実 の地が下降されたの、前等予定と9も総合性が実 はした。認施基果は、事務をの中東は進やからに は、直接産業に影響を与えない地面で開発が終 うこととし、150年の予算機変性でした。 うこととし、150年の予算機変性でした。	い調査件数 行额が起過 反映され、 - 3 2 年度 の精査を行	防衛装備庁装備政策部	一般会計	(項) 防能力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0258 - 00			平成27年度対象 〇
249	即応性の向上に資する装備品等の維持・整備 の在り方に関する調査研究	H26	H30	30	30	24 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	ー 子定遇り終了 中成20年度で終了する事業ではあるが、本事業 - 予定遇り終了 化等のノウハウについては、今後、類似の事業 挟する。	で得た効率 に適切に反 -	防衛装備庁 装備政策部 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0259 - 00			平成30年度対象
250	装備品等の維持・整備業務の民間委託等によ る業務の効率化とコスト削減に関する検討	H24	H30	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	- 予定通り終了 本事業で得た効率化のノウハウについては、今 類似の事業及び業務に反映させる。	後、適切に	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0260 - 00			平成30年度対象
251	作業効率化促進	H16	終了予定なし	102	102	98 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・事業所管報局による直接、改善額の事業の効率性や事業の有 効性の点線評価の認明において、単に機関のみを示すのではな くなせであったが開発となったの場合時に記載するを 事な配配にのが打風色への認明責任を集とされたい、また、自 機能製工といて、同様にどのようなことからこの機能となっ ているのが下算な配配しのがけられたい。 ・工能能変更か高めったのが研修してい、引き続き、能力機 情者拡大を図る他、工程を変更から変化に向けた力能を検討 し、加工した機能をできる体制の機能といっけた力能を検討 し、加工した機能をできる体制の機能を	101	103	2	-	- 専業所管部局による点線・改善欄について、 - 専選内に改善を検 を必ずれてまいがらい。 対 立した機能体制の検討に努めてまいりたい。 立した機能体制の検討に努めてまいりたい。	I	防衛装備庁 調達管理部	一般会計	(項) 防電力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0261 - 00			平成30年度対象
252	資料の保額性確保のための調査	H10	終了予定なし	14	14	11 外部有限者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・ 平成功年度の執行において不用が大きい理由について、レ ビューシートとで明らかにし、執行の妥当性について国民の理 解が得からなる。 をはなるとなったが多数を見けられ、終年のレビューシートに おいてもなるしなから参数を見けられ、終年のレビューシートに おいてもなるしなからを指にアリッチを行い室に開発する のうえ間差目等を選集して人札を行うとなっていたが、昨年よ り舎者なが近ているのはながも、・分に受困を分析し その極果をレビューシートに記載するとともに、その分析結果 を踏まえが毛柱状のための検討を行い、更なる競争性の確保 に努められたい。	14	66	52	-	・平成20年度までは、大年監査法人も契約回手 いたが、30年度1回の人共参加各は中小の公子 所のかとなったため、相関機関の通とかりから 特別を指揮がある。1970年度 株計価が初めら737に低減した。これまで入札 大年監査法人工作争助の理由をピアリングし 発的「非あたりが少細のためかきどなり」長力 とある開発となったが、最高が最大を となった。 したの回形があるためられ、国産対象を封立に から、一覧につる理解対象を仕を報じて 手管電法人も人札参加しやすいよう機計を行う	会計士事務 額に対していい かたといてしまいてしまい。 一 かかかかが、 一 かかかが、 一 かかが、 一 かかが、 で い で で の に の に の に の に の に の に の に の に の に	防衛装備庁 調達管理部	一般会計	(項) 防衛力高線整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	訪衝省	- 0262 - 00			平成29年度対象
253	防衛生産・技術基盤の維持強化に要する経費	H27	終了予定なし	442	442 3	371 外部有識者の点検対象外である。		・支出先リストを参照すると、入札者数が1者の(随知金む) 関連において高落料率となっているところ、競争性が働きづら い間違においては、億務が高止まりになる傾向があることか 、料に協格の能力によりした数据をさらに推進し、価格の低減に 別めてほしい。	294	557	263	-	・ 国際装着品展示金への出層に係る業務委託に 契約を締結している場合については、各主程能 された既代電気と契約することが発っておお。 である。 ・ 今後は、超受契約となる場合においても、こ 物をでのフース直接の対例関係がから、電差高 開業等をしっかりと行い、コストを振ぶ手動から	体から指定 あったため - れまでの展 の見積りの	防衛装備庁 装備政策部 技術戦略部 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防電力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0263 - 00			平成28年度対象 〇
254	民間海上輸送力活用事業に係る事業支援役務	H27	Н37	56	56	51 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	単位単分リコストの分所に当たって「予定機構内であるため 更当」とあるが、市価(人科音学研究)との社が使用対効果 としての単位当たりコストの妥当性を分析し検証してほしい。 実出先リストを参加するとはおれたなっている。実際につい で分析し、競争性を高めるこ末に努め、複数社の参えにおい で、価格の受当性を滅さるため、競争性が衝く支みかなない 特殊性があるのであれば、さらに機構面に注力しコスト低減に 努められたい。	53	53	-	-	・	る。また。 -	防衛装備庁装備政策部	一般会計	(項) 防南力高線整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0264 - 00			平成28年度対象
255	防衛装備品等のコスト総減を推進するための 調査役務	H27	終了予定なし	89	89	40 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度(30年度、453等)があり、計画的な予算の 計上・執行の改善の企地がある。契約業間の分析及びコスト組 減方策の検討等と不断に実施し、その検案を反映することによ り、効率的な予測要求、予算執行に努められたい。	28	-	▲28	-	本事業の計画に基づき、平成32年度は管側の弁 部する予定の為、平成22年度を予算額事業の 一年度内に改善を検 対 が が 対 が は が は が は が は が は が は が は が は	わないもの 実績の分析 効率的な予	防衛装備庁装備政策部	一般会計	(項) 防雨力基整整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0265 - 00			平成28年度対象
256	防衛省開発航空機の海外移転を促進するため の施策に関する検討	H27	H30	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	- 予定通り終了 映していく。	の事業に反	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	<ul><li>(項) 防電力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な軽費</li></ul>	防衛省	- 0266 - 00			平底30年度対象
257	民間海上輸送力活用に係わる庁 [事業	H28	Н37	2,552	2,552 2,5	【選正価格の追求について】 ・次規契約に向けて、接着性の降低の検討、人員が 制等の仕格の構造、他の手段の時間にスポット。人 関係を批かった例とより、電影であり開催につい 55年 対策性を調かたスキームについて検討し見重しを3 を次き、 「高効能について、 情報等の機能の有効活品について検討し、関係 ・情報等の機能の有効活品について検討し、 自的を指常している。 日的を指常している。 日の手指をいる。 日の手 日の手 日の手 日の手 日の手 日の手 日のき 日のき 日のき 日のき 日のき 日のき 日のき 日のき 日のき 日のき	定 図 事業全体の抜本的な改善 民力	公開プロセスの議論、有識者からのコメントを踏まえて、適切 に対応されたい。	2, 576	2,599	24	-	・・飯の指揮を指手え、経済性、有効性の観点 ら傾射を展開していく、具体的には、今回のか に1コンケージスの取引にのたった。今日で記ま ループ金化にとアリングを作り、東京観時間に では10人・アングを作り、東京観時間に では10人・アングを作り、東京観時間に では10人・アングを作り、東京観時では 関大を10人では10人である。 環境を手段として、が関プロセスにおける情報を を図るとともに、季節の方面できるよ 連絡を手段として、が関プロセスにおける情報を を図るとともに、季節の方面でも動きがある。 では10人である。 では10人である。 では10人である。 を図るとなど、また。 を図るともに、第四のでは数計がある。 では10人である。 では10人である。 では10人である。 を図るでは10人である。 を記まする他の表別があるの体制に立立。 が耐くれたが配から、研究的では10人でようとした。 ・機能がである情報を記述されていてことした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下が成りままれて行っていてこととした。 ・機能が下がある。 ・現まれていていていてことした。 ・現まれていていてことした。 ・現まれていていてことした。 ・現まれていていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	最大、変更を 最大、では、 最大、では、 最大、では、 男子、など、 のでは、	防衛装備庁 装備改集部	一般会計	(項) 概能登儀費 (次事項) 民間資金等を活用した胎胎の維持管理及び運営 必要を搭費	こ 防衛省	- 0267 - 00			その他
258	電子計算機システムの新技術実用化等に関す る技術支援	H28	終了予定なし	31	31	16 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・連続して不用率が大きい状況が見受けられることから、要因 分析の上、適切な予算要求、予算執行に努められたい。	-	-	-	-	- 予算要求に伴う見積もり要件、要求内容をさ し、予算要求額を精緻化することで、適切な予 算執行に努める。		防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0268 - 00			平成29年度対象
	容楽装備品の取得手段の調査	H28	終了予定なし	98	98	58 外部有識者の直接対象外である。		・不用事が大きいためその理由をレビューシートに記載することとし、通知な予算事業、予算級計に努められたい。 ・の競争外はこの一者人材が受けられる。十分で英国公 材を策策し、競争性心拡大を図るとともに、引き続き効率的な 予算要素・執行に努められたい。	61	39	▲22	-	・不用率が大きい場面については、将来被構造 の開業に当たり、各自情報のニーズを指すまた。 と対象者の旨を選定・構造して其業系を行って 解析が特に各自情報のニーズの変型という。 にものである。今後は台自報のニーズを到底 したものである。今後は台自報のニーズを到底 というを大きなの機能にある。 ・一般競争人利による一者人札をなった件につ の、役務機能が起い中、海外の間による破害と いったの。対象は、中、海外の間による破害と いったの。対象は、中、海外の音楽を表 関帯がある。と、対象をのことを表し、後着機能を 関帯があるたる。引き機を、と	成果なるなる なるチー 生が終生生し、 特の担理 は、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	防衛装備庁プロジェクト管理部	一般会計	(項) 防策力基盤整備費 (次等項) 装槽品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0269 - 00			平成29年度対象 〇
260	防衛装備・技術協力に係る調整等	H28	終了予定なし	55	55	2 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・予算の執行率が低く、項曲は「予定されていた是限深速が関 動により望来後となったため」とのこと、やむを特別な場合も 別かで観し、 場合で、事を表していたのは、 ・レビューシートの記載についても成果の活用状況や活動映画 の事業を増立さる機能が不足している。人事など配と説 明により国民の環報を得られるよう、シートの記載を見継する 要がある。	35	18	<b>A</b> 17	-	展展要素では、現地活動における必要な程度 要素能制度に努かた。本事業を通じて、関地で 対 対 が が が が が が が が が が が が が が が が が	の装備当局 シートにお -	防御装備庁装備政策部	一般会計	(項) 防電力高級整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0270 - 00			平成26年度对象
261	フィリピンへのTC-90の移転	H28	終了予定なし	200	200 1	184 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・随意契約に当たっては、可能公原り詳細な見刻内容を入手 し、コスト協議の会社を検証し、無格な協能金をや適切な協格 受害により、更な価格の全当性会上が努められたい。 ・引き接き、契約策略の分形を近っスト総裁方策の検討等を不 部に実施し、その機能を支援することにより、効率的な予算支 求、予算執行に努められたい。	171	160	<b>A</b> 11	-	年度内に改善を検 通常化を行っていく。 ・ 引き続き、契約数額の分析等を実施し、効率 来、執行に努める。	り、価格の - 的な予算要	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 防衛生産・技術基盤の維持・強化に必要な経費	防衛省	- 0271 - 00			平成29年度対象
262	各種資料の翻訳	H17	終了予定なし	1	1	- 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・平成功年度において執行がゼロとなっており、その理由として翻訳の課を必要としなかったとのことであるが、なぜ予算計上したのか、十分な調査及び調査を行い適切な予算計上を行われたい。	1	1	<b>A</b> 0	▲ 0.35	・翻訳については、部外力を活用する必要があ 用が発生した場合に活用しているが、平成のつい に関いる機能を受ける場合を対しているが、 ではいるところ、要求特点において資料の選択で には、こころ、要求特点において資料の選択で 始まえ、配数に関いているという。 基に関生するとの、手の事業にと一般を対しているところ。 最に関生したところは「中の解析を対象とした。 周に必要な予算の対とを実施した。 周に必要な予算の対とを実施した。	。また、該 都度選定し 実施の所見を う実績等を	防衛装備庁 装備政策部 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0272 - 00			平成20年度対象
263	防衛装備移転等に関する調査	H29	終了予定なし	204	204 1	133 外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度(30年度,65%等)があり、計画的な子事の計上、執行の改善の余地がある。契約実績の分格及びコスト総 域方度の検討等を不断に実施し、その機器を反映することにより、効率的な子事実表、子勇執行に努められたい。	138	255	117	-	顕著後期は1つの案件に対して、契約から納 を繋ぎる事実であるため、これまでは上は前額 施工と別週代で事を紹介し、これまでは上は前額 所により週代で事を紹介し、これをである。 中度内に改善を検 して真に必要な経費を計上する場により、コス ある。なお、服業を対よしない、おませい。 ある。なお、配業とはよいはおっては ある。とは、現業を対よしているな経費をある。 とは、現場等を受けまして必要な経費とは、 ある。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	的な事情 実 接続がに努 ト内 B C T T T T T T T T T T T T T T T T T T	防衛装備庁 装備改策部 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0274 - 00			平成20年度対象 〇
264	保全指導職員等の能力向上	H29	Н30	4	4	4 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	- 予定通り終了 本事業で尚た効率化のノウハウについては、今1 類似の事業及び業務に反映させる。	後、適切に _	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	(項) 防密力基盤指揮費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0276 - 00			平成30年度対象
265	取得に関する諸外国の制度の調査に係る経費	H29	終了予定なし	1	1	1 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、本事業を有効に活用し、効率的・効果的な装備品 等の調達制度の検討・運用に反映されたい。	1	1	<b>A</b> 0	-	- 現状通り 引き続き、本事業を効率的・効果的な装備品等(の検討・運用に反映していく。	の調達制度	防衛装備庁 プロジェクト管理 部 調連管理部	一般会計	(項) 防雨力基整整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省	- 0278 - 00			平成30年度対象

※平成 事業	3 1年以降の表記は、新元号に読みを 事業名	事業開始 年度		平成30年度 補正後予算額	平成30年度	外部有識者の所見		行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き		反映状況	讀考	担当部局庁	会計区分	填·事填	平成30年度	レビューシート番号	(単位:百万円) 外部有識者点検対象 (公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 調査 金等
番号	97 PK 3d	年度	(予定)年度	補正後予算額	執行 可能額 執行額	ALMAD ME ANNO	評価結果	所見の概要	A	B	B-A=C	反映額	反映内容	m -9	32.410/4/1	Allen	74 777	1つ目 2つ目	3つ目 3つを超える場合	※対象となる場合、理 調査 金等 由を記載
266	EVMシステム適正性調査経費	H29	H30	8	8	- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	予定通り終了 本事業は開始されなかったが、今後は契約状況を見定めながら必要性を含めて検討していく。	-	防衛装備庁 調達管理部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 - 0279 - 00 -		平成30年度対象
267	防衛装備・技術協力における通訊支援	H29	終了予定なし	24	24	1 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・20年度も20年度と同様に接責(後行前) 規模がかさく、また、役者を見ても20年度とのことだが、同意知の他の事業をした事業が支援とかった。 10年度という。本事業が上位期間を選択することが発展的な検証につながるもので非常することが表現が表現してがあるからい。事業業単位の再整備について検討すべき。	15	15	<b>A</b> 0	-	事業を他の正要等を検討したものの、医療中の各種がは まつまて影響でより、阿家産業等で、近日等では で変更を影響でより、阿家産業等で、近日等に合うで の原気能との実際に基準の意実をの重要な協議の企体を形 を を 度している品質で最新の企業に伝える影響があるとなった。 所表であったにより、所能を養しま物があるとなった。 があることにより、所能を養しま物があるとなった。 ため、何本者が必要がなが可能では、予算業をからさると考えられる ため、何本者が必要がながある。		防衛装備庁 装備政策部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 - 0280 - 00 -		平成30年度対象
268	新弾道:サイル弥衛用誘導弾の構成品生産準備に 集ら経費	H28	Н32	2,676	2,676 2,4	・SM-3ブロック主角の生産を円滞に行うため、 本事業を先行的に選手しているとの新生が、事業の 一般を先行することにより得られる効果・(選予化 効果で、対して、対して、対して、対して、対して、 があり、対して、対して、対して、対して、 を対して、対して、対して、対して、 ・事業所管理局による点様・改善を少勝すると、な 第により増き性の情能であるで、されて、 ・事業所管理局による点様・改善を少勝すると、な 第により増き性の情能であるで、されて、 ・選集所と書から、ごれて、ごれて、 に、 、 近れながに対して、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	de la companya de la	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	6,010	6, 010	-	本事業を先行的に選手することにより得られる効果をレ ビューシートにかかりやすく配置できるように検討を行 動行等改善 動物の場所において随意取物を行うことは難しいが、今 他 機変数的による確認ま作う場合には、価格交渉や原価 構造を行うなど価格面の選正化に努める。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 影	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 防衛生産・技術基盤の維持・強化に必要な経費	防衛者 解30 - 0002 - 00 -		你年度新規
269	将来戦闘機の開発体制の構築に係る調査	H30	H30	78	78	・本事業は平成30年度が終了年度であるが、本事 52 業におけるコスト経滅の取組や得られた効果につし ては預似事業に適宜反映して欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	予定通り終了 本事業におけるコスト総建の取組や得られた効果については、今後、疑似事業に適宜反映する。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 - 0003 - 00 -		前年度新規 〇
270	オープンソース情報の活用に係るスキル取得 のための役務	H30	H30	36	36	・執行率が低い状況が見受けられるが、予算要求 期に知いて、可能な限り性格の維熱で明期にし、 より定能な実践機能を影響するなど、通常な予算 求を行う必要がある。 1、本事業は、記句を実で終了年度であるが、14年度 に対ける受滅者により、情報の基準素、調査・分割 実際はアカルを外の機能性について検討する必要 あるのではない。	· 終了予定	外部有業者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	- 仮数争入札の実施により、幅広く入札を導った結果、 専用支援機能との意実がまじたものである。今後も指位事業を実施する際には、多くの実施機を指摘するもの報告 予定連り終了 - 人名異国際による参加接入名出りには、本件事業で作 成した物質資料等・低受測者によるGUT等と活用して情報 収まれ、調金・分析業拠スキルの付等・向上を図るよう に業務改善している。	-	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	(項) 防衛力高盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛者 報30 - 0004 - 00 -		前年度新規
271	人材育成・核神整備支援も含めたパッケージ での防衛装備・技術協力の在り方に関する検 計	Н30	H30	49	49	・不用率が大きいため、要因分析のうえ、その思いについてレビューシートにおいて設備し、執行の 自性こついてロビューシートにおいて設備し、執行の 自性こついて国のご報係を得ったようにすべき。 ・本事点は100年度で終了を度であるが、本事点 は東江コンには、最大限の活用を立てもらいた。 い、また、本事能におけるコスト機能の改議等に、 は、本事能におけるコスト機能の改議等に、 は、本事能におけることを表現の表現の 本事が、今後、2のように似てした。表現の設立 に反映できたか、明らかにして収しい。	を の 終了予定	外部有識者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	本事業では、防衛接着・技術協力について、単な合装機 品は移転に関まらない、維持整備や運用支援を含むパッ ケージ型の協力を吸収していくた。加度機器をはから、 ケージ型の協力を受けていくた。加度機器をはいなららか。 また、間度やよれらが集たし場合がはよかなららか。 から、あった。また、主業を取りでは、防衛機器を があるかのある。また、主業取の中では、防衛機器を の実施について簡単した。 本事業の実施について簡単した。 本事業の実施について簡単した。 大学の選手機能を付金を発生している。 であるの自動の場合が大学を発生してき、解節の目的が 選長を打たことか、予定型が平等にできる。 して、防衛機器をは、そことができ、解節の目的が 選長を打たことか、予定型が平等になってきる。 して、防衛機器を必然を選ば、ある具体的な事業に効果的に 活用していく。		防衛装備庁装備改策部	一般会計	(項) 防策力基盤整備費 (文事項) 装機品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛者 解30 - 0005 - 00 -		<b>前年度新規</b> ○
272	潜水艦取得のプロジェクト管理に適用する基 礎資料等の作成に関する調査	H30	H30	22	22	・本事業は平成30年度が終了年度であるが、本事 20 業におけるコスト船減の取組や得られた効果につしては類似事業に適宜反映して欲しい。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	・本事章におけるコスト施減の取組み等について類似事業 への反映を検討する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 - 0006 - 00 -		前年度新規 〇
	施策名:4-(6)装備品の効率的な取得 装備品等のコスト削減の検討に係る支援役務	H26	終了予定なし	26	26	10 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率が低い年度(30年度。385等)があり、計画的な予算の 計上・執行の改善の余地がある。契約実績の分析及びコスト組 減方策の検討等を予断に実施し、その結果を反映することによ り、効率的な予算要素、予算執行に努められたい。	22	-	▲22	-	・30年度の執行率が低い理由は、一般競争により競争性が 報いた結果、契約価格が下がったものであり、妄告と考え られるが、引き続手製的製館の分析及びコスト端底方面の 検討等を予酬に変色、効率的な予算を折に努める。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛装備庁共通費 (大事項) 防衛装備庁一般行政に必要な経費	防衛省 - 0282 - 00 -		平成28年度対象
274	PBLに関する人材育成	H25	終了予定なし	1	1	- 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度、計画上の教育が履行されておらず、米国との調整状 況もあると思料するが、事業管理を適切に進めるべき。	1	1	▲0	-	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き米 執行等改善 倒と調整をはかりつつ、適切な事業管理が実施できるよう 努めることとする。	-	防衛装備庁 長官官房	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 - 0283 - 00 -		平成29年度対象
275	ライフサイクルコスト教育	H19	終了予定なし	2	2	2 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	- 引き続き、本事業を有効に活用し、高度なライフサイクルコストの分析等にあたる人材の育成に努められたい。	2	2	-	-	現状通り 引き続き、本事業を有効に活用し、高度なライフサイクル コストの分析等にあたる人材の資底に努めることとする。	-	防衛装備庁 長官官房	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な軽費	防衛省 - 0284 - 00 -		平成27年度対象
276	情報システム等の取得に関する検討	H27	終了予定なし	132	132	・支出会リストを参照すると、一般競争入札を楽し しているものの服果的に一者ぶ札となっているこか から、原本者はかのための検討を実施し、競争性の 1870年に関わられたい。 32 - 直接検索を参照すると、「所至工数の見履し等」 より、熱質の解案を行った。」とあるが、レビュー シートにおいて、具体的と経過級の記載がないこと から、配載すべきではないか。	) - 事業内容の一部改善 -	外部有識者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	145	145	-	-	執行については、引き続き、競争性のある原連を実施する をともに、本事家の契約教授等を分析・評価し、効率的な 予事原家、執行をある。 応礼者拡大のための方案を引き続き検討していく。	-	整備計画局	一般会計	(項) 防衛力高盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防斯省 - 0285 - 00 -		その他
277	取得マネジメント (プロジェクト管理) に係る人材育成	H27	終了予定なし	29	29	26 外部有識者の血検対象外である。	事業内容の一部改善	・本事業は、研修で得た知識・スキルをいかに活用されるかが 重要である。本事業における成果については、プロジェクト管 理に関する本圏に最大機の活用を図ってもらい、効果的・効率 的な防衛装備品の取得を実現できるよう努めていただきたい。	28	29	1	-	引き続き、研修効果の分析と研修内容への反映を通じて、 研修効果の向上を図り事業として高い効果が得られるよう に努めることとする。	-	防衛装備庁 長官官房	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 - 0286 - 00 -		平成28年度对象
278	業総調査に要する経費	H13	終了予定なし	10	10	10 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・点検・改善結果において「単位当たりコストのコスト係滅に 一定の成果があった」と評価しているが、毎年度、活験衰極が 見込みを下回っており、この事業の有効性を高めるための施策 の検討を早期に行うべき。	11	11	-	-	年度内に改善を検 第年行う人事異動等により、本事業の利便性等を承知して いない職員が他加するため、人事異動等の都度毎に本事業 の問題を図る。	-	防衛装備庁 調達管理部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛者 - 0287 - 00 -		平成29年度対象
279	調達情報セキュリティ監査要員の養成	H16	終了予定なし	6	6	4 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	<ul> <li>不要率の高さについては一般競争入札による競争の結果であると思慮されるが、契約実積の分析を実施し、削減が可能な部分があればその概要を扱きっことにより、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。</li> </ul>	5	5	▲0	▲ 0.356	行政事業レビュー推進チームからの指摘を踏まえ、通年度 5 総減 の契約実績を分析することにより、356千円の程算要求 の総減支援能した。今後も効率的な予算要求を実施するこ ととしたい。	-	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 - 0288 - 00 -		平成29年度対象
280	防衛装備協力(ASEAN諸国への民間技師 派遣)	H28	終了予定なし	32	32	5 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・競争により発生した不要については、契約実績の分析を実施 は、削減が可能な部分があればその結果を反映することによ り、また、他国との調整等において発生している不用値がある のであれば、機器な調整と計画において、通切な予算来来にな るよう努めて歌しい。	28	21	▲7	-	年度内に改善を検 実施内部を精査することで、概算要求額を前年度の要求額 から削減させた。 契約に関してはコスト低減を、検討していく。	-	防衛装備庁 装備政策部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 - 0289 - 00 -		平成29年度対象
281	整整整査機能の強化のための部外監査法人等 の活用	H29	終了予定なし	20	20	13 外部有職者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 引き続き不用率が高いため、その理由についてレビューシートにおいて限例し、執行の正確性について国際の開発を得られませた。というに対して表しまります。 入札を参やすため立正まとはどのように行うのか、具体的に配差されたい。 少期間別においては、見相もりの事の構造による場合の温定やや見相もり複数をの拡大による信号性の向上等により、更ならコスト権威を進来されたい。	1	1	0	-	平成30年度事業については、平成29年度事業とは内容 が異なるものについて、性情が即を構造し、予算業界有業 並がに加速業業の基金でした出意、予算実施と予定額を は、加速を表している。 は、対しては、主ないでは、事業内容に関する認明に注かしている。 したものであり、実施課程において実施のと思い、分割を行い、それ できの事業については、事業内容に関する認明に注かして、 が、では、では、では、対しては、分割を行い、それ できの事業については、事業内容に関する認明に注かして、 が、これでは、 として、これでは、手工をでは、一般である。 が、また、生に一度関係される内容を引き、アクログとして、 また、生に一度関係される内容を表し、などの定かしたに多様 対き行う「外部整理を全域方法」の配か由による検 対き行う「外部整理を全域方法」の配か由による検 が、これ、生に、生に一度関係される内容を 対象の場合と、これ、自然の事業を実施を行び、対象を対し、 これ、生に、これ、自然の事業を実施を行ない。対象を対し、 これ、当に、生に一度関係されるのなが、対象を対している。 これ、当に、生に一度関係されるのなが、対象を対している。 は、日本の対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	-	防衛装備庁長官房	一般会計	(項) 防衛力高盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛者 - 9290 - 90 -		平成20年度対象
282	防衛装備品等の海外移転復進のための諸施策	нзо	終了予定なし	11	11	・予算額・執行額を参照すると、執行率が7%とく、レビューシートからもその季因が確認できな。 、「本事が書物の金銭線(不用の受験)」 ・認格をである。 ・認格をでは、東文質料を作成してしたとしたが、 から過差が必要である。また、本事就は、「活動のから過差が必要である。また、本事就は、「活動のから場所のから場所のを表している。アウトカムは、原件金がないか。また、アウトナウトは、原件金がでの資料の配布を行った解析風がはい度を表す。でで、アウトナウィットが事業制限はは指数を表すっている。アウトナウィットが事業制限はは指数を表すっている。アウトナウィットが事業制限はは指数を表すっている。アウトナウィットが事業制能のため適切なものとく	事業内容の一部改善	外部有談者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	11	10	A1	-	海地の事業計画では、東が頭心の原業機構型について的 選出機が関係を中空機を回避を発生するようには、在機関材料 電力を受ける。 があると考え、冒触と規範を機能と設建するが原産業をの別 あると考え、冒触と規範を機能と設建するが原産業をの別 関も動かて企業に要素するが変化され、他方で、具体 が成場が可効が高いて、(可能機能を制制について需要と が成場が可効が高いて、(可能機能を制定して、関係を が成場が可効が高いて、(可能機能を制定して、関係を が表現からできましまえれたこと、② いパイロット駆使の存成から が設備があると考えられたこと、② いパイロット駆使の存成から が設備があると考えられたこと、② いパイロットを必ず存成か が表現がのできました。を利用に至ったとから、実施 が表示して、対象が関係といて、を可能を まであると考えられたこと、② いパイロットをで存成が が表示するが効果が表できると利用に至ったとから、表 まであると考えられたこと、② いパイロットを が表示するが必要が表示しましま。 が表示するが必要が表示しましま。 は、一般をであると利用によるとのつか まであるが、来来利用に変形でしていては、表が関としての分 野で到ので存成したのであり、表示を必要が表示 と思慮するとなり得らものである。本事表は、影響を維持を と思慮するとなり得らものである。本事表は、影響を維持を と思慮するとなり得らものである。本事表は、影響を維持を と思慮するとなり得らものである。本事表は、影響を維持 と思慮するとなり得らものである。本事表は、影響を維持 と思慮するとなり得らものである。本事表は、影響を維持 と思慮するとなり得らものである。本事もは、影響を維持 と思慮するとなり、までものである。本事を と思慮するとなり、までものである。 を見していている。本事をは、表示を維持を と思慮するとなり、までものである。 を見していている。本事をは、表示を維持を と思慮するとなり、までものである。 を見していている。本事をは、表示を維持していている。 を見していている。とないでは、までものである。 を見していている。とないでは、までものである。 を見していている。とないでは、までものである。 までものであるとないでは、までものである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものであるとないである。 までものである。 までものである。 までものである。 までものである。 までものである。 までものである。 までものである。 までものである。 までものである。 までものできでものである。 までものでものである。 までものでものである。 までものでする。 までものである。 までものでものできでものでする。 までものでものでものでする。 までものでする。 までものでものできで		防衛装備庁 装備改資部	一般会計	(項) 防電力高盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛者 新39 - 0007 - 00 -		前年度新接 〇

	※平成31年以降の表記は、新元号に読み付 事業 番号 事業名	事業開始年度		平成30年度 補正後予算額		3 0 年度 外部有識者の所見 執行額	評価結果	行政事業レビュー推進チームの所見 所見の概要	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き -	反映額	反映状況 反映内容	请考	担当部局庁	会計区分	填·事項		平成30年度レビューシー		外部有識者点検対象 (公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 類	単位:百万円) 委託 補助 金等
Part	283 潜外隔との防衛装備・技術協力に係る交流に 必要な軽費	H30	終了予定なし	1	9 80 68	単位を整理してもよいのではないか。 ・本事業が上位旅策を達成する上で単独事業として		外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	1	1	B-A=C		関係事業と統合して事業単位を整理することについて、専 集内容を整理し、検討することとしたい。	-	防衛装備庁長官官房	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費			3つを超える場合		П
	プロジェクト管理等に資するマネジメントの 知識、業務体系化及び教育プログラム化のた めの事例研究	нзо	終了予定なし	7	1 7	されるかが重要である。本事業における成果については、プロジェクト管理に関する重要を登るび人材 育成の強化に最大限の活用を図ってもらい、最近点 済成を強化に最大限の活用を図ってもらい、最近点 済成整雑曲の歌神を実際できるよう努のていたださ たい。 ・今、原果を明らかにすることは難しいと思われる が、可能なかぎり調査研究事業の成果、本効性、別 者の実施性にレビューシートとで認明する必要が多	ス オ な 事業内容の一部改善 事業内容の一部改善	外部有額者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	- 執行等改善	ご指摘のとおり、調査研究事業の成果、有効性、調査の当 単性についてレビューシート上で説明するようにしたい。	-		一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛者 新30 - 0	ng – 00 – –		前年度新規	0
Control of the cont	プロジェクト管理関連職員のための米国GS の課程受講	H30	終了予定なし	1	1	であり、その受謝した原果がどのように活用された のか配版がない。事故内有効性や相称でするに は、原業所どのように活用されたかが重要である。 とから、原業の原用状況についてレビューシートに 月体的に記載するなど、国限の原脈を得る工夫が必 要である。 ・経費規模がかそく、また、使途を見ても講座送 料とのことだが、同能製の他の事業と徐台にで事業	を 事業内容の一部改善	外部有限者の所見を請まえて、適切に対応されたい。	0.3	1	0		8 事業単位については、他事業との統合等を含め、効果的な	-		一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 装備品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 - 0	0 - 00		<b></b>	
Part	9イフサイクルコスト見勝りの改善等のため の調査研究に要する経費	нзо	終了予定なし	60	9 60	れるかが重要であるが、成果が企め、7に活用され かの配置かない、事業の有効性を利用するするに は、成果が2のように活用されたかが重要である。 とから、成果が5用がないつれてレビューシードに 原来がある。	と ころ 及 事業内容の一部改善 要 数と	が極有温者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	23	-	<b>▲</b> 23		a ご指摘のとおり、調査研究事業の成果、有効性、調査の当 動性についてレビューシート上で説明するようにしたい。	-		一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 被撤品等の効率的な取得等に必要な経費	防衛省 新30 - 0	11 - 00		前年度新規	0
Part		H19	終了予定なし	51, 242	9 59, 448	30.695 州部有温者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	由についてレビューシートにおいて説明し、熱行の実当性につ いて国民の世報を与れるようにするとともに可能な限り効率 方な予算級行に努められたい。 また、不同率が大きいため、その増由もレビューシートに記 能することとし、遺切な予展テ末、予算執行に努められたい。 「事業所管制的による品牌、公屋、のうち「事業の有効性」 について、記載されている内容が項目に即していない場所があ あ、項目に即して砂酸かの規律が対応を書など、国民の理	50, 575	60,378	9, 803	_ 年度内に改善を材 計	関発の連歩状況に応じた計画の修正等により、繊維や軟形 師の変動が生じており、特に今年度は主に繊維師が大き かった影響で不用率が高くなっているが、予算執行にあ たっては研究開発の推進に真に必要な内容となっているこ とを常に精査しながら実施しているところであり、今後も 通切な事業を置に努めていた。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」646	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(大事項) 防衛装備庁一般行政に必要な経費 (項) 防衛力基盤整備費	防衛者 - 0	12 - 00		平成28年度対象	0
Part	288 戦闘機搭載用統合火器管制システムの研究試 作	H24	H34	-	3, 806	3,806 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 契約実績の分析及びコスト低減方策の検討等を実施し、その 結束を今後の類似事業に適切に反映されたい。	-	-	-	_ 年度内に改善を材 計	類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照で	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	15 - 00		平成27年度対象	
	289 水中音響通信ネットワークの研究試作	H24	H30	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 の/ウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	- 予定通り終了	得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に 反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の 類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を	-		一般会計		防衛省 - 0	17 - 00		平成30年度対象	
All	290 F-2の支援戦闘能力向上	H24	H30	-	1, 484	1.485 外部有識者の点検対象外である。	終了予定		-	-	-	- 予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウについて、今後、類似の 事業に適切に反映する。	-		一般会計	(項)防衛力基盤整備費 (大事項)研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	18 - 00		平成30年度対象	
Basel   Control   Contro	291 将来ミサイル警戒技術の研究試作	H24	Н33	-		<ul><li>2) を随意契約とするような事業については、(その1)における競争性の確保が重要である。(その1)の入札での応札者数を明らかにするなど、事業相手の選定の妥当性について丁寧に説明し、国民の</li></ul>	を の 事業内容の一部改善	外部有識者の所見を謝まえて、適切に対応されたい。	438	-	<b>▲</b> 438	_ 年度内に改善を検 計	表引き続き事業相手の選定の妥当性を確保するべく、適切に 対応する。	-		一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (次等項) 研究開発に必要な軽費	防衛省 - 0	19 - 00		最終実施年度	
### PARTICIPATION OF THE PARTI	292 先進統合センサ・システムの研究試作	H22	H31	-		- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成31年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された	-	-	-	- 予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似 の事業に適切に反映する。	-	プロジェクト管理	一般会計		防衛省 - 0	10 - 00		平成30年度対象	
	293 ウェボンリリース・ステルス化の研究試作	H25	H31	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	い。 平成31年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-			-		一般会計		防衛省 - 0	12 - 00		平成30年度対象	
20	294 航空機器截型小型余外線センサシステムイン テグレーションの研究試作	H25	Н31	3, 158	3, 158	3,158 たい。また、本事業におけるコスト縮減の取租等に ついては類似事業に適宜反映してもらいたい。な お、試験研究の金額(予算)は十分であったか、そ	終了予定	が都有識者の所見を認まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	- 予定通り終了	得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に 反映するよう努める。また、本事業の契約実績は、今後の 類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を 整理し活用するよう努める。 ・創度と 事悪の中華が得込わたかについて、全年度に選	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防密力基整整備表 (大事項) 研究開射に必要な経費	防衛者 - 0	14 - 00		最終実施年度	
1	295 装輪 1 5 5 mm りゅう弾砲	H25	H30	3, 999	3, 999	3,612 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、預似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	- 予定通り終了	「一般事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、本事業で得 た効率化等のノウハウについて、今後、類似の事業に適切 に反映させる。	-	部	一般会計	(項)防衛力基盤整備費 (大事項)研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	17 - 00		平成30年度対象	
## 100	296 アクティブ防御システム構成要素の研究試作	H25	H30	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-		・本事業においては更なる契約を予定していないものの、 得られた効率化等のノウハウは、今後の類似事業に適切に 反映するよう祭める、また、本事業の超約業績は、今後の	-		一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	18 - 00		平成30年度対象	
PRAME	297 先進RF自己防御シミュレーションの研究試 作	H25	H30	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、預似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	- 予定通り終了	本事業で得た効率化等のノウハウについては、今後、類似 の事業に適切に反映する。	-		一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	11 - 00		平成30年度対象	
209 安全保持技術研究推進制度   1,740   4,740	298 超波等表面波レーダの研究試作	H26	H31	-		ける成果については、最大限の活用を図ってもらしたい。また、本事業におけるコスト組成の数組制。 ついては解析事業に適宜反映してもらいたい。な、 お、本事業は平足な母をから3分年度にかけてシステ ム設計・装置等を試作し、平定23年度から34年度に 試験を実施するとのまだが、平530年度、31年度の 2か年については、予算計上がそれていない。予算 が十分であったか、その料紙転表に関係として必要	た。 テ こ 終了予定 0	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	- 予定通り終了	得られた効率化等の/ウハウは、今後の預信事業に適切。 反映するよう形める。また、未事業の契契接触は、今後の 類似事業に対し、過去実績として参照できるよう、資料を 整理し活用するよう努める。 ・なお、「試験」についての経費は「別事業」で計上して いる。また、制度上、所要の成果が得られたかについて、 生産物に単純単価を事業することになっており、結果とし	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	2 - 00		最終実施年度	
200   程達化機体構造の研究試作   126   134	299 安全保障技術研究推進制度	H27	終了予定なし	4, 749	4, 744	4,662 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。 ・委託研究終了後の評価について実施されたところ、成果につ いては、次年度以降のレビューシートにて説明されたい。	7, 149	8, 897	1, 748	- 現状通り	もに、委託研究の終了評価結果を踏まえ、その後の事業で	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	3 - 00		平成28年度対象	
201   装袖後甲車(後)   126   130	300 軽量化機体構造の研究試作	H26	H34	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	- 早生品第の注田心絶事業との工物計誌により移春が誘げまれ	-	-	-	- 現状通り	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の 類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の引 約実績は、今後の類似事業に対し、過去実績として参照で	-		一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	4 - 00		平成30年度対象	
- 原生品の活用や温水の技術的は乗り利益制によってコストの - 本事業において得られた効率があった。 全型に発わていたことが発生できた。本事等で得られた効率が 企業がに対するよう場合と、本事を対して得するよう場合と、ままで得られた効率が 企業がに対するよう場合と、本事を対して得するよう場合と、ままで得られた効率が 企業がに対するよう場合と、本事を対して得するよう場合と、また。本事を対して得するよう場合と、また。本事を対して得するよう場合と、また。本事を対して得するよう場合と、また。本事を対して得するよう場合と、また。本事を対して得するよう場合と、また。本事を対して得するよう場合と、また。本事を対していまた。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。ま	301 禁輸装甲率(改)	H26	H30	-		- 外部有識者の点検対象外である。	終了予定		-	-	-		行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、本事業で得 た効率化等のノウハウについて、今後、類似の事業に適切		プロジェクト管理 部	一般会計	(項)防衛力基盤整備費 (大事項)研究開発に必要な経費	防衛者 - 0	5 - 00		平成30年度対象	
マンソンソによっては、実践が中条に表現した。   対策観視が   大学教育	302 長期運用型 U U V システム構成要素の研究試 作	H26	Н32	-		外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	- 民生品の活用や過去の技術的成果の利活用によってコストの 低減に努めていることが確認できた。 本事業で得られた効率化 等の / ウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映され たい。	-	-	-	_ 年度内に改善を材 計	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の 類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の5 的実額は、今後の類似事業に対し、過去実績として参加で さるよう、資料を整理し活用でよう努める。	-		一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 - 0	16 - 00		平成29年度対象	+

※平成3	11年以降の表記は、新元号に読み着				平成30年度			行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度	平成32年度	差引き		反映状况							W chan	)年度レビューシ	_ L = B		外部有識者点検対象	単位:百万円)
事業番号	事 業 名	事業開始年度	事業終了 (予定)年度		執行 可能額 執行額	外部有識者の所見	評価結果	所見の概要	当初予算額	要求額	B-A=C	反映額	反映內容	请考	担当部局庁	会計区分	項·非項		1つ目	2つ目		3つ目	3つを超える場合	(公開プロセス含む) ※対象となる場合、理 由を記載	委託 補助 基金調査 金等
303 df	文世代護衆艦用新戦祈情報処理装置の研究試 5	H26	H31	-	-	・「音楽の者物性」の場合のうち海目に同じて、 が記えまれており、労戦の返標的行われているとい いがたり、成業等等のかでするとは難しいと われるが、可能なかざり本質がの研究成果、有効 におしてニットに記載することに対し、説明する のを飲金のなっないます。 ではなります。 では、またが、「本業」に けるコスト級の機能については類似事業に通ぎ 反映してもらいたい。	思 生 る 終了予定 お	が都有識者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0318 -	00 -	-			最終実施年度	
304 18	乱応制御ミリ波ネットワーク装置の研究試作	H26	H32	-	-	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	研究域の原連に向かっては、由発展的においてはある程 度、静穏が増化を見込みが関係できる人のの、から後の原制に おいては無常が開催できないと、の、静性が増生うが対 対になけては、優勝が楽止まりになり、高葉利果が爆制する傾 向があることから、感帯面におりたり、 のでは、優勝の保証に努かてほしい。 に推進し、価格の保証に努かてほしい。	1,590	-	▲1, 590	-	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の 類似事業に適切に反映するよう努わる等。価格面に注力し 本変換して実施を見い着し、価格の低減に対力のも。 する。 、なお、競争性の遊儀の遊覧などその経過をレビューシー の「事業所能能による危険、企業、哲学性が開発しているなど支出大の選定は妥当か」」側に継続的に必証す	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基施整備費 (大事項) 研究開射に必要な結費	防衛省	- 0319 -	00 -	-			平成29年度対象	
305 ₹	マイクロ波評価装置の研究試作	H26	Н32	-	535 50	35 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年度開版を発生させているところ、計画において成果を分 除すべき研究施業が遅れているのではと印象を持ち、事業管理 を適切に進めるべき。	-	-	-	-	・ : 出摘を踏まえ、繰り越しの原因についての配載を追放 すると共に、適切を事業管理に努める。 ・ 本事業に応じて持ちれた効率を他のノウハウは、今後の 数が事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の段 物質は、今後の配手業に対し、表表類をして参照で きるよう。資料を整理し活用するよう努める。	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項)防衛力基盤整備費 (大事項)研究開発に必要な経費	防衛省	- 0320 -		-			平成29年度対象	
306 欄	前里搭載型 2 波長赤外線センサの研究試作	H27	H36	448	448 4	48 外部有識者の直検対象外である。	事業内容の一部改善	<ul> <li>契約実績の分析及びコスト低減方業の検討等を実施し、その 結束を今後の類似事業に適切に反映されたい。</li> </ul>	2, 289	-	<b>▲</b> 2, 289	-	- 本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の 年度内に改善を検 照称事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契 計 対対機能、今後の既従事業に対し、過去実験として参照で さるよう、資料を整理し活用するよう努める。	_	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0322 -	00 -	-			平成29年度対象	
307 ス	ステルスインテークダクトの研究試作	H26	Н30	-	-	<ul> <li>外部有識者の直検対象外である。</li> </ul>	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	・本事業においては東なる契約を予定していないものの。 中心れた効果化等のイクハウは、今後の発経事業に対して 反映するよう努める。また、本事業の契約実施は、今後の 無経事業に対し、急走実練として参照できるよう、資料を 整理し活用するよう努める。	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0323 -	00 -	-			平成30年度対象	
308 将	7朱射撃管制レーダ構成要素の研究試作	H26	Н31	436	436 4:	□ 経身性の境限について、「事業所管理における」 □ 経身性の境限について、「事業所管理における」 に対していまった。 「日本の別について、「事業の別については があった。したいした。 「中で、「中で、「中で、「中で、「中で、「中で、「中で、「中で、「中で、「中で、	ばて入 一業力 がっちょう 終アテモ 終ア	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	・ご指摘を踏まえ、レビューシートの記載内容を修正し た。本本記記といてはならる同時を予定していないもの。 予定進り終了 同時である場合の。また、本本本の現的実施は、今後の 信頼である。また、本本本の現的実施は、今後の 極端事態に対し、最上実施をして参照できるよう、資料を 整理し活用するよう努める。	-	防衛装備庁技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0324 -	-	-			最終実施年度	
309 最	s外線画像高解像度化実験装置(搭載型)の 労党試作	H26	H30	-	-	- 外部有識者の血検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	・本事業においては更なる契約を予定していないものの、 得られた効率化等のノウハウは、今後の配似事業に適切い 交換するよう別から、また、本事家の契約策略は、今後の 極端事に対し、最上策略として参照できるよう、資料を 整理し活用するよう別かる。	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0325 -	00 -	-			平成30年度対象	
310	回転買哨戒機(能力向上型)の開発	H27	H34	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・継続案件ではあるものの、見直せる仕様等があれば見直す 等、コスト経滅方策の検討等を不断に実施し、その結果を反検 することにより、効率的な予算要求、予算執行に努められた い。	25, 511	16, 581	▲8, 930	-	執行等改善 執行等改善 方限の検討等を行い、効率的な予算執行に努める。	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0326 -	00 -	-			平成30年度対象	
311 11	<b>動</b> 声クチュエーションシステムの研究試作	H27	Н31	1, 259	1, 048 1, 04	・本事業は合和元年度が終了年度であるが、本事基 におけるコスト組織の設備や得られた効果について は機能事業に適宜反映して欲しい。	蒙 て 終了予定	が部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	・本事業においては更なる契約を予定していないものの、 用ちらたが夢を出帯のノウハウは、今後の新知事制に適切い 反映するよう別のも、また、本事素の契約実施は、今後の 報告事業に対し、基本規能として参照できるよう、資料を 整理し活用するよう別から。	ol –	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基施整備費 (大事項) 研究開発に必要な結長	防衛省	- 0328 -	00 -	-			最終実施年度	
312 🕸	<b>新多用途へリコプターの開発</b>	H27	H31	12, 876	12, 876 12, 8	・本事業は令和元年度が終了年度であるが、本事第 におけるコスト総滅の取組や得られた効果について は類似事業に適宜反映して欲しい。	载 て 終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	本事業の管理に当たって取り入れたMSS、EWといった連接 予定通り終了 予定通り終了 及び実績等を類似事業を行う部署に情報を共有・反映し、 更なるプロジェクト管理に関する知思の変化に努める。	_	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0329 -	-	-			最終実施年度	
313 🚊	高高度過撃用飛しょう体技術の研究試作	H27	Н33	-	-	- 外部有識者の血検対象外である。	事業内容の一部改善	・研究媒件の順連に当たっては、当初契約においてはある程度、競争性が働く見込みが順待できるものの、その後の契約においては競争性が開作できないところ、競争性が働きづらい分野においては、価格が高よよりになり、高様も中継続きる側があることから、価格面に注力した数据(仕様報査等)をさらに推進し、価格の低減に努めてほしい。	930	1, 953	1, 023	-	・本事業において得られた効果化等のノウハウは、今後の 経営事業に増加に投資するよう時から第、個種語に注力し 年度内に改善を検 され、接受性を実に推進し、価格の促進に努わる。 でお、接受性の経度の取扱となった効果をレビューシー ・の「事業所管部局による点検・改善(提手性が確保され でしななどませんの選定に実施り、選集に機能があり、選集に機能がある。	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0331 -	00 -	-			平成30年度対象	
314 先	<b>- 送対艦・対地弾頭技術の研究試作</b>	H27	H35	367	367 36	67 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	研究試作の原連に当たっては、当初契約においてはある程度、競争性が働く見込みが指待できるものの、その後の契約においては接手性が指待できるものの、その後の契約においては接手性が指待できないところ。競争性が働きづらい対所においては、最後年か後後する所向があることから、価格面に注力した取相(性棒類変等)をさらに推進し、極めの低減に努かてほしい。	-	-	-	-	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の 機能事業に適別に反映するよう形の名等、価格高に注力し 大阪験を受け落金は、価格の低減に対象がる。 ・なお、接触性の複貨の取扱及びその結果をレビューシー が 「事業所管制による起後、空間・例学化が収金しているなど支出先の選定は支出か)」欄に継続的に記載す	_	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0333 -	00 -	-			平成30年度対象	
315 1	I E D 走行間接知技術の研究試作	H27	Н31	-	-	・本事業は平成27度要から20年度にかけてシステム設計・装御等を技術し、平成20年度から14年度は設計を実施するとの事だが、今年度は千万届的対け、大いには登上の、「資金のから、今年度は千万届的対け、大いには登上の第一次で、大いには14年度を対し、14年度のカーストでは、14年度のカーストでは14年度を対し、14年度のカーストで利用し、大いには14年度のカーストで利用し、大いには14年度のカーストで利用し、大いには14年度のカーストでは14年度のサーストでは14年度のカーストでは14年度の14年度のカーストでは14年度のカーストでは14年度の14年度の14年度の14年度の14年度の14年度の14年度の14年度の	上 先 就 曾 品 終了予定	が都有温者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	・本事業においては要なる契約を予定していないものの。 南小はためまた場合のプルウルは、神秘の発化等最近高級に がはないまた。 を経過を基本に対し、 を提出、表示機能して参照できるよう、資料を を提出、活用するよう場かる。 ・なる。「紅鉄」は繋が実施し、試験に必要な経費については「別等集」で計上している。	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力進盤整備費 (大等項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0334 -	00 -	-			最終実施年度	
316 港	潜水艦内空気清浄技術の研究試作	H27	H31	-	-	・本事業は今年度が終了年度であるが、本事業におけるコスト総裁の取組等については類似事業に適望 反映してもらいたい。	6 食 終了予定	外部有識者の所見を指まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	・本事業においては要なる契約を予定していないものの、 得られた効率に等のノウハウは、今後の仮知事業に通切に 反映するよう別かる。また、本事業の契約実際は、今後の 整理し活用するよう別かる。	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究網発に必要な経費	防衛省	- 0335 -	00 -	-			最終実施年度	
317 前	今粛型魚雷用動力装置の研究試作	H27	H30	-	1, 095 1, 09	95 外部有識者の点検対象外である。	終了予定	平成30年度で終了する事業ではあるが、本事業で得た効率化等 のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映された い。	-	-	-	-	予定通り終了 本事業におけるコスト耐減の取組や効率化等のノウハウは、今後の類似の事業に通切に反映する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0336 -	-	-			平成30年度対象	$\blacksquare$
318 🕸	<b></b> 新型護衛艦用レーダシステムの研究試作	H27	H32	2, 473	3, 267 3, 26	67 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 繊維の状況が緩続していることから、事業管理を通切に進め ふぐき。 ・ 契約実施の分析及びコスト抵拡方策の検討等を実施し、その 結果を今後の所似事業に適切に反映されたい。	-	-	-	-	・外等本語を表が行政事業とビュー推選チームの形見を設 また。レビュー芸術と通り、理論・連切・経験・性の確保の影響について (取得を行うたうがのる。 ・ 板型振振順にナリ当前計画からの変更が生じたが、工 板の見直し等により事業を了時期に影響ないよう勢める。	-	防衛装備庁 ブロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防密力基层整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0337 -	-	-			平成30年度対象	
319 対	v世代データリンク高速・高信頼化技術の研 就試作	H27	H32	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・民生品等の活用や他事業との工数比較により経費が鄭減され ていることが確認出来た。本事業で得られた成果やコスト総減 の取組については他の事業においても活用されたい。	1,591	-	<b>▲</b> 1, 591		<ul> <li>本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の 現状通り 期保事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契 約実額は、今後の原経事業に対し、過去契頼として参照で きるよう、資料を整理し活用するよう努める。</li> </ul>	2	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0338 -	-	-			平成30年度対象	
320 幣作	就術データリンク妨害用送受傭技術の研究試  - 	H27	H31	1, 745	1, 745 1, 74	・本事業は今年度で持了体度であるが、本事業の 限については、最大限の海風を図ってもらいたよう。 また、本事業に対するコスト機関の影響でついて は 短続年業に適宜度後してもらいたい、なお、防御 体別に存在する研究機の好価機関がいなるコン ンとを付しているのか、研究の最初の目的と終すが の概念との簡単であって、可能な事 面で明にするべきである。	て 新 終了予定 ※	外部有識者の所見を認まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	・本書集においては東なら総約を予定していないものの、 構られた途差を準のノケッのは、全後の経済事託・適別 反映するよう時から、また、本事をの投資機能、全機 予定進り終了 整理に活用するよう時から、また機能として参照できるよう。資料を 開催し活用するよう時から、 ・観点上、原来の延差が得かれたがについて、未年度に ・観点上、原来の延差が得かれたがについて、未年度に 成者も含めがあらかになる子とになっており、熱寒としてご指摘の 点も含め明らかになる子とである。	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤指揮費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0339 -	-	-			最終実施年度	
321 湯	将機動パワードスーツの研究試作	H27	Н33	-	-	<ul> <li>外部有識者の直検対象外である。</li> </ul>	事業内容の一部改善	<ul> <li>・民生品の活用や過去の技術的成果の利活用によってコストの 低減に努めていることが確認できた。本事業で得られた効率化 等のノウハウについては、今後、類似の事業に適切に反映され たい。</li> </ul>	-	-	-	-	・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の 年度内に改善を検 照标事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契 計 対象機能、今後の原体事業に対し、過去業機として参照で さるよう、資料を整理し活用するよう努める。	ē.	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0340 -	-	-			平成30年度対象	
322 生	上体検出レーダの研究試作	H29	Н33	-	-	- 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 民生品の活用や過去の技術的成果の利活用によってコストの 低減に努めていることが認められる。引き続き、効率的な予算 要求・執行に努められたい。	509	-	<b>▲</b> 509	-	本事業において得られた効率化率のノウハウは、今後の 年度内に改善を検 類似事業に適切に反映するよう努める。また、本事業の契 財実機は、今後の服役事業に対し、過去実験として参照で きるよう、資料を整理し活用するよう努める。		防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0341 -		-			平成30年度対象	

事業名	ネスコンと 事業開始 年度	事業終了	平成30年度	平成3	3 O 年度 外部有識者の所見		行政事業レビュー推進チームの所見	平成31年度 当初予算額	平成32年度 要求額	差引き		反映状況	債考	担当部局庁	会計区分	項·事項			平成30年度レビューシート番目	•		外部有識者点検対象 (公開プロセス会れ)	25:17
	年度	(予定)年度	補正後予算額	執行 可能額	************************************	評価結果	所見の概要	A	Service E	B-A=C	反映額	反映内容  ・本事業において得られた効率化等のノウハウは、今後の		22 et 10 M(1)	241927	7.77	1	1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合	※対象となる場合、理 由を記載	調査
将来軽量橋梁構成要素の研究試作	H29	Н33	-	-	- 外部有識者の直接対象外である。	事業内容の一部改善	・研究操作の調査に当たっては、当初契約においてはある程 度、競争性が働く見込みが照待できるものの、その後の契約に おいては競争性が開待できないところ、競争性が働きづらいう 野においては、信格が系止まりになり、高澤札卓が継続する傾 向があることから、価格面にだりした宏観(仕様頼査等)をさ らに推進し、価格の低減に努めてほしい。	-	385	385	-	解似事家に適切に反映するよう努力の名等。 無格面に注力した別様で変化を発生を発生を指す。 極端の極端に対力した別様を変化を表し、極端の極端のよう的な なお、競争性の確保の影響及びその結果をレビューシートの「事業所管験的による機を全管、競争性の対象の大型とは大いるなど支出失の選定は妥当か)」 欄に継続的に記載する。	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省	- 0342 - 0				平成30年度対象	
開機用エンジンシステムの研究試作	H30	H31	14, 080	14, 080	- 本事業は今年度が終了年度であるが、本事業にお 14,080 けるコスト総滅の取組等については類似事業に適 反映してもらいたい。	5 董 終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	予定通り終了 本事業におけるコスト組滅の取組等については、今後、類 似事業に適宜反映する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 新30	- 0012 - 0				前年度新規	
艦載砲用ロケットアシスト長射程弾技術の研究試作	H28	H30	1, 236	1, 236	・本事業は100年度で終了年度であるが、本事業に おけるコスト端端の改建等については類似事業に近 変成してもらいとい、電影所管観形による成象・電 者のあり、「国際なりの必要計 については ましまっち、「国際なりの必要計 についてしま しているこのの第目に同じまず他人でいる。 見の母籍に用して何齢かつかの要計についている。 の母籍を得るための工夫が必要。 「事業の有効計」について、別報では場所が行わ では、「一年の有効性」について、別報では場所が行わ にしいと思われるが、国際なか考り支払性の研究、 果、有効性は少によっトドに配義することによ り、説明する必要があるのではないか。 り、説明する必要があるのではないか。	数 数 割 終了予定 れ ま	外部有識者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	-	-	-	-	予定連り終了 外部有限者の所見を指まえ、本事業におけるコスト組織の 数担等について短知事業に反映する。	-	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防能力基施整備費 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 新30	- 0013 - 0				新年度新規	
研究試作專業(技術計画官)	Н30	終了予定なし	4, 751	4, 751	- 静巻性の海原の取組について、各研究試修においては無知契約時(その)」が重要であることから、引き続き、交流事業な業を削退を行うため、 引き続き、交流事業な業を削退を行うため、 者に大き組み方形を検討し、競争性接側に努めらけ また、事務、会研究所で (中の 2周期) の は試験者性の水が便路の受害性が固られる分野では ないことを確認し、野田を見継を教験と ものを性」「物態の選正性」「海痛の急声性」を解 し極格文声等において進起と関係を対象し、 い	れ 事業内容の一部改善 ま り り	外部有識者の所見を請求えて、適切に対応されたい。	13, 890	13, 351	<b>▲</b> 539	-	・本事業において博られた効率化等のノウハウは、今後の 簡節事業に適切に反映するよう努める場。 (番無数には力し を度内に改善を検 が した、	-	防衛装備庁 技術戦略部	一般会計	(項) 防衛力高級登機機管 (大事項) 研究開発に必要な経費	防衛省 新30	- 0014 - 0				韵年度新規	
施策名:4-(8) 地域コミュニティーとの連携 移転措置事業	\$49	終了予定なし	3, 932	3, 793	3,433 外部有識者の直接対象外である。	現状通り	・毎年度、緑越が生じている。事業の性質上困難な部分もある かと思われるが、引き続き低減のための努力を行い、可能な限 リ予算の効率的執行に努められたい。	4, 489	1, 963	<b>▲</b> 2, 526	-	・ 発毛指言事業は、建物等の所名をからの移毛発信を受け、 17、 移転機関等を整理していることから、内容を専用性に 原状通り 最初なることは難しい面もあるが、引き継毛、縁起修進及 が集争的と同様が立て手事をが、引き継毛、縁起修進及 が集争的と手動が立て手事を上がある。	-	地方協力局	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省	- 0343 - 0				平成28年度対象	Ī
民生安定助成事業	\$49	終了予定なし	34, 796	34, 165	33,342 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・毎年度、経越が生じている。事業の性質上困難な部分もある かと思われるが、地方公共団体等い対し事業の進勢状況及び精 査を確認し、効率的な予算要求、予算条件に努められたい。 ・引き接き、事業内容の指蓋を連切に実施し、効率的な予算 執行及び予算要求に取り組むともに事業効果の更なる向上に努 かられたい。	36, 320	21,060	<b>▲</b> 15, 260	-	地方公共団体等における事業の連絡状況の形態及び事業内 部の機会を毛実施し、引き締合効率的な予算要求及び予算 執行に努め、変なる事業効果の向上を図る。	-	地方協力局	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費 (項) 在日米軍等駐留際連絡費 (大事項) 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の司 の実施に必要な経費	防衛省	- 0344 - 0				平成29年度対象	İ
緑地整備事業等	\$49	終了予定なし	914	914	852 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	のつれてい。 ・一般競争入札において一者応札が見受けられるものの、要因 分析や対策が検討されており、次回入札の際には改善が図られ るようにされたい。 ・契約実施の分析記がコスト総減方策の検討等を不断に実施 し、その結果を反映することにより、効率的な予算要求、予算 執行に契約られたい。	843	1,038	195	-	- 者応利については、発注単位の見重し等により改善を図 あこととする。 また、引き続き、地方公共団体等に対し使用許可を行うこ だにより、コストの指摘に努めることとする。	-	地方協力局	一般会計	(項) 防衛力基整整備費 (大事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省	- 0345 - 0				平成30年度対象	Ī
騒音防止事業 (住宅防音)	\$49	終了予定なし	41, 588	39, 755. 0	39,003.0 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・応礼者数を増やし競争性を高めるための措置が行われている ことは評価できる。他方で、一者応札のものも見受けられるこ とから、十分な要因分析を実施し、競争性の確保に努められた い。	56, 284	52, 022	<b>▲</b> 4, 262	-	・補助金適正化はの規定を踏まえ、「公正に契約金額を決 定しなければならない」旨を交付条件に付しているとこ ろ、今後も、国の契約に承じた適切な契約となるよう補助 事業者への説明、周知を行り、競争性の程度に努めたい。	-	地方協力局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費 (項) 在日米軍等駐留開連結費 (大事項) 在日米軍の兵力構成見直し等に関する政府の取	防衛省	- 0346 - 0				平成27年度対象	İ
信料	\$27	終了予定なし	128, 096	128, 096	127,701 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・引き続き、防衛施設の継続的・安定的な使用確保のため、適 正な評価額の算定に努め、土地所有者の理解のもと円滑に事業 を進められたい。	128, 958	130, 057	1, 100	-	・行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえて、引き続き、防衛監験の継続的・完定的な専用確保のため、適正な「評価板の変に形め、土地所有者の理解のもと円滑に事業が進むよう別かにいく。	-	地方協力局	一般会計	の豪族に必要な経費 (項) 防衛力基盤整備費 (項) 防衛力基盤整備費 (項) 在日本軍等経際設議接費 (項) 在日本軍等経際設議接費 (本) 本土措置の東部に必要な経費 れた措置の東部に必要な経費 れた措置の東部に必要な経費	防衛省	- 0347 - 0				平成29年度対象	İ
神信経費等	\$27	終了予定なし	10, 644	10, 755	・例年繰り越しが生じているが、事業の性質上間 な影かもあるかと思われるが、引き続き組成のため の男かられて、即ながより予算の効率を対す。 の男からでい、現を選り予算のが事を対していては、3 金素組織を打撃して「動を購入」については、3 金素組織を対象をは、自己を担かつ効率がある たれたい。また、周辺財金の練工・事についても、3 き続き、原薬にわらず上手を折折的に実施し、効率 的な子質の執行に努められたい。	n n n n n n n n n n n n n n n n n n n	外部有識者の所見を謝まえて、適切に対応されたい。	14, 389	13, 611	<b>▲</b> 778	-	・外部有違者の所見を指まえ、引き続き、繰り越し低速の ための努力を行い、可能な限り手質の効果学的終行に努めて いたした。 を対している。 一般である。 一を 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	-	地方協力局 整備計画局	一般会計	(項) 防衛力基礎整備費 (大事項) 地域コミニティーとの連携に必要な経費 (第) (大事項) 地域コミニティーとの連携に必要な経費 (第) (大事項) 地域国際連絡費 の実施に必要な経費 (大事項) 地域の長力構成見量し等に関する政府の取 の実施に必要な経費 大地域に関する特別行動委員会最終報告に達り2 れた措置の実施に必要な経費	- 1	- 0348 - 0				その他	
障害防止事業	\$49	終了予定なし	9, 938	10, 181	9,938 外部有識者の点検対象外である。	現状通り	・毎年度経経を発生させているところ。用地直収に係る地種者 との原型の開催性は採尿できるが、関係住民の生活の安定及び 様性の向上への影響もあることから、事業管理を通切に進めて ほしい。 ・地方自治体 (補助事業者) が発注する施設工事等に対して、 引き極き、競争性の確保やコスト経滅に係る取り組みを推進す ることにより、異用が効果の高い事業としてほしい。	10, 186	3, 162	<b>▲</b> 7, 023	-	・等業の実施については事業管理を適切に進めるととも 現状通り に、引き続き、競争性の保保やコストを滅に係る取り組み を推進し、負用対効果の高い事業となるよう別める。	-	地方協力局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省	- 0349 - 0				平成28年度対象	Ī
慈音的止事業(一般防音)	\$49	終了予定なし	11, 204	10, 586	【コスト抵謝に係る取り組みについて】 ・機器性臓に係る計画・工法は大変評価できる。 り場かであることが関節できた。 ・他方、さらなコスト性臓についば等性の場合。 ・他方、さらなコスト性臓についば等性の場合。 ・現象をはないが、できないが、は無性の場合。 ・現象をはなるが、ファート等を表現します。 ・現象がなる機能の指導について、 ・現象がなる機能の指導について、 ・現象がなるが、 ・現象がなるが、 ・表していて、そのではないか、 ・また、自然におけるなど、より、より、本り、本り、ないで、は、ない、たいで、また。 ・また、自然におけるなど、より、より、本り、本り、ないで、は、ないで、ないか、 ・また、自然におけるなど、より、より、本り、本り、ないで、は、ない、たいで、ないか、 ・また、自然におけるなど、は、より、本り、本り、本り、本り、本り、本り、本り、本り、本り、本り、本り、本り、本り	重 本な 本業内容の一部改善 見	公開プロセスの議論、有識者からのコメントを請求えて、適切 に対応されたい。	11,958	8,664	<b>▲</b> 3, 294	▲737	にあたっては、関係自治体等の見及び傾信の適当を指定 えながら、令後も引き後者に進んでいく。 加えて、往我における過程後で告報を把着すたか。令 和えて、往我における過程後で告報を把着するため、令 和文を集合が場合事業を近月用書を表したアンケート指定を開催し、必要に応じて、調査機果の事業への反映 を認る。 (信息要求における反映状況) 指摘・二正集の事例を採用したことによるコスト削減効	-	地方協力局	一般会計	(項) 防能力高値整備者 (文事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省	- 0350 - 0				その他	
退函改修等事業	\$49	終了予定なし	7, 222	7, 671	7.414 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	● 電視機能を発生させているところ、用地質型に係る地域者 と可能機能開発性は極端できるが、関係性性の起生の変更点が 構造の用えへのが考しまることから、表現を重要が引きませ ほしい。 ・ 地方自然体(傾動事業者)が発生する地質工事等に対して、 引き組織と、競性性の情報やコストは成化される場合が過去を建造す ことにより、最初が表現の場合を表してほしい。	7, 489	4, 263	▲3, 227	-	○国用中報38件/17件 ○向波線737.042千円 ●整数の第第二(72) ●数の第第二(72) ●数は、少れでは、やむを得ない事情によりまじたもので あるが、地方公共同様とのピアリンプにおいて事故の事故 状況及び最もしについて、これまで以上に確認及が報査を 観点、通知の事故では「350年では の事故に、通知の事故では「350年では の事故に、通知の事故に「350年では の事故に、表現の事故に「350年では の事故に「450年では、250年では の事故に「450年では、250年では の事故に「450年では、250年では の事故に「450年では、250年では の事故に「450年では、250年では の事故に「450年では、250年では の事故に「450年では、250年では の事故に「450年では、250年では 150年では、250年では、250年では 150年では、250年では、250年では 150年では、250年では、250年では 150年では、250年では 150年では、250年では 150年では、250年では 150年では、250年では 150年では、250年では 150年では、250年では 150年では、250年では 150年では、250年では 150年では、250年では 1	-	地方協力局	一般会計	(項) 防能力基礎整備費 (大事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省	- 0351 - 0				平成27年度対象	
防衛施設周辺整備統合事業	H16	終了予定なし	379	381	340 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・毎年一定の線越額及び不用額が発生しているため、地方公共 団体等に対し事業の進捗状況及び見通しについて確認及び精査 を徹底し、効率的な予算要求、予算執行に努められたい。	588	602	14	-	執行等改善 地方公共団体等における事業の連移状況及び見通しの把握 に努め、より効率的な予算要求及び予算執行に努める。	-	地方協力局	一般会計	(項) 防衛力基盤整備費 (大事項) 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省	- 0352 - 0				平成27年度対象	
旅業名:4-(6)地域コミュニティーとの連携、4 行率広報	1-(9)情報発信(	が 終了予定なし	328	328	284 外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・引き続き、契約実施の分析及びロスト組済方面の検討等を行 い、効率的な予算要求、予算能行に関められたい、また、毎年 度一定額の不用が生じていることから、執行実施の分析を行 い、予算要求に適切に反映されたい。	326	333	7	-	・ 5) き続き、契約票額の分析及びコスト低減方策の機計等 表行等改善 を行い、機器等の見重し等を励らなどして、効率的な予算 要素及び予算執行に努めていて。	-	大臣官房	一般会計	(項) 防電本等基準 (大事項) 財政者を有一般行政に必要な経費 助主自申報の選集に必要な経費 助主自申報の選集に必要な経費 対型自申報の選集に必要な経費 が取り、対策が対象を対象を対象を対象を (本事項) 情報をは、企業を登録 (本事項) 情報をは、企業を登録 選集、企業を受力を提供し、企業を提供し、企業を経費 選集、企業を受力を提供し、企業を経費	防衛省	- 0353 - 0				平成28年度対象	
印刷物広報	S29	終了予定なし	139	139	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	果を に生生る 事業内容の一部改善 か有	外部有護者の所見を讃まえて、適切に対応されたい。	120	123	2	-	・ 一柱応札となった英国については、一定の具備条件を付 したことが1つの英国と考えられるため、仕場番の恵且し 受験の支重から変更を表帯するは、「降争入利(側等) 関係するなどして、入札集者を書やし、競争性の用上に努 アンケート等を出てに関助の定形の内の対性の検証を行 うなどして、広報体制の登録に努める。 引き続き、前年を取りた数にの対して対して、広報体制の支援に関わる。 日本を記るなどして、加率的な予算要求及び予算執行に 努めていく。	-	大臣官房	一般会計	(項) 防衛本省共通費 (本事項) 防衛本衛一般行政に必要な経費 (大事項) 防衛力基型機関 (大事項) 情報発気に必要な経費 地域コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省	- 0354 - 0				その他	
視聴覚広報	\$29	終了予定なし	58	58	23 外部有限者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	・執行率について改善傾向が見られる。更なる計画管理や執行 実績の分析を行い、その結果をレビューシートに記載の上で、 予算支承に適切に反映されたい。	59	61	3	-	・入札による価格の競争性が働き、執行率は低かったもの の、改善傾向が見られることから、引き続き、執行実領等 の施金行い、集集等の変量し等を認るなどして、適切な 予算支承式が予約付三分からい。	-	大臣官房	一般会計	(項) 防衛本省共通費 (大事項) 防衛本省一般行政に必要な経費 (項) 防衛力基盤登機費 (大事項) 情報労働に必要な経費 地深コミュニティーとの連携に必要な経費	防衛省	- 0355 - 0				平成30年度対象	+
広報体制の整備	S29	終了予定なし	170	170	136.0 外部有職者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 一般競争人札を実施しているものの、一者亦札の状況が見受 けられることから要別分析のうえ、その理由についてレビュー シートにおいて説明し、事業を選定の単当性について国民の理 接を得られるようにすることもに応え者性大力ための機計を実 にし、競争的の上に努められた。 ・ 「おいました」というない。 ・ 「おいました」の機計を大手が大力をあります。 ・ 「おいました」の場合は多ったに実施 数十に努むるとなってしまう。効率的な子集要求、学	221	255	34	-	- 一書応見となった要別については、一定の真機条件を付 したことが1つの専別と考えられるため、仕機器の原理し 中間の重要が表現しませる時ではは、19年 入札伽略を 観覧するなどして、入札集者を増やし、競争性の向上に努 のも。 うら機能、前年度の契約機能や単価等の見服しを超るな として、効率的タイ等要素及が手架を	-	大臣官房	一般会計	(項) 防衛本省共通費 (大事項) 防衛本省一級行政に必要な経費 (大事項) 防衛本省一級行政に必要な経費 海上前金額の選案に必要な経費 (第) 防電力力を経費 (大事項) 信頼発の選集に必要な経費 (大事項) 信頼発配に必要な経費	防衛省	- 0356 - 0				平成27年度対象	

#### ※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

※平成31年以降の長額	FR 2																							
**		T - 11144	本会のフ	Tirth o o fresh	平成30	年度			行政事業レビュー推進チームの所見			差引き			反映状况							平成30年度レビュ	ーシート番号	外部有識者点検対象
事業 番号	業名	年度	(予定)年度	補正後予算額	執行 可能額	執行額	外部有識者の所見	評価結果	所見の概要	当初予算額	要求額	B-A=C	反映額		反映内容	備考	担当部局庁	会計区分	項•事項	-		2つ目	4-5	(公開プロセス当む) 製託 報助 基金等 基金等 出金等 出金等 出金 (公開プロセス当む) 製託 (報助) (公開プロセス当む) 製品 (公開プロセス当む) (公開プロセス当む) (公開プロセス当む) (公開プロセス当む) (公開プロセス当む) (公開プロセス当む) (公開プロセス当む) (公開プロセス当む) (公開プロセス当む) (公用プロセス当む) (公用プロセス) (公用プロセ
					77,200					A	В	B-A=C			T						1つ目	20日	3つ目	3つを超える場合 品との場
341 防衛研究所における#	教育に要する経費	S29	終了予定なし	296	296	279	・本来の防衛研究所による事業の評価は、教育・研 安や高度選集への知的支援の効果にあるが、こうし た成日レビューシートからは実施が支むい。アウ トなくよう場合が必要である。 市を受けるである。 本のでは、大きない。 大きないました。 大きないました。 ・電車所能はよりないました。 ・電車所能はよりなが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、である。 ・電車所能はよりな様々の事性を含かした。 ・電車所能により成後、できたが事性できた。 ・電車所能により成後、できたが事性できたが、 ・電車所能により成後、できたが事性できたが、 ・電車所能により成後、できたが事性できたが、 ・電車所能によりな様々の事性できたが、 ・電車所能により成後、できたがまたが、 ・できたが、	現状通り	- 外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	269	282	13	<b>▲</b> 2	総滅	教育、研究に関して必要な商品の購入、部外投資機等について、契約部だけでなく。底要更に効果や物率をも金かたいてより必要が関係されていません。まとの基本ともが生まります。 は等による効率的な販売や金属による設定の透明性、競争 性の確保、競性で金額の経路がより現在のよれ、対策のあっまた。 他減を企業し、効率的な下等度率、執行に努める。また、 市場とで機能等をよれては、変にの対象が関係を収象する ることによりま、354千円の機能を認った。	「新しい日本のための 優先課題推進枠」1	人事教育局	一般会計	(項) 防能本者共通費 (年期) 防能本者共通費 (本事) 防能力基準原準 の連貫に必要な経費 (項) 防能力基準原準 の連貫に必要な経費 (大事項) 知的基盤の登儀に必要な経費	防衛省	- 0357 - 00			その他
いずれの施策にも関え	重しないもの																	1						
342 日露海上事故防止協定	世年次会合	Н6	終了予定なし	-	-	-	・諸外国との信頼機成及び情報の交換のため、実務 者を現地に派遣し対話することは大変有効である。 ・引き続き、計画的に開催回数の妥当性を見極め事 業を推進してほしい。	現状通り	・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。	2	1	▲2	-	現状通り	引き続き、開催回数の妥当性について見極め、さらなる効 率的な予算執行に努める。	-	統合幕僚監部	一般会計	(項) 防衛本省共通費 (大事項) 防衛本省一般行政に必要な経費	防衛省	- 0358 - 00			その他
343 軍備管理・軍総		\$55	終了予定なし	5	5. 0	9. 0	- 平成30年度の執行額が予算額を大幅に起通しているが、その要因分析を行い、その結果をレビューシートに記載することにより執行の妥当性について、国民の理解が得られるようにするとともに、通切な予算計上及び予算執行に努められたい。	現状通り	<ul><li>・外部有識者の所見を踏まえて、適切に対応されたい。</li></ul>	4	5	1	-	現状通り	グローバルな安全保障環境の改善を図るためには、準備管理・重線・不拡散の分野に取り組んでいくことは不可欠である。今後も事業を継続していくことが、日本者の早期確定に野めることにより、無弦度の割引制度を利用するなど、引き続き、効率的・効果的な予算要求・執行に努めていく。	-	防衛政策局	一般会計	(項) 防衛本省共通費 (大事項) 防衛本省一般行政に必要な経費 統合高標整節の運営に必要な経費	防衛省	- 0359 - 00			その他
344 被服購入等に係る経動	ŧ	\$27	終了予定なし	11.914	11, 035	10, 727	外部有識者の点検対象外である。	事業内容の一部改善	- 2か年続けて協議を発生させているところ、計画において登場 すべき被励の起布が遅れているのではと印象を持ち、事業管理 を適切に進めるべき。 支援ホリストを参考すると、随意契約が敬見される。一定の 品目を主ため一般競争入れてすることにより、競争性による領 物の実施性変えなったメリットが指揮できる余池があり 引き載さ、返答に努みったメリットが指揮できる余池があり 引き載さ、返答に努みられたい。	8, 207	10, 335	2, 128	-	執行等改善	30年度に接越しが発生したのは交往業者の下消負業者の 工場大災等によるものであり、やむを得ない場合あるが、 でも接受計画は7年度を持てきるう多れてを指す。 たり、概要契約についてもその大車が一般競争人払からの おり、概要契約についてもその大車が一般競争人扱からの 無件が複数ある場合はまとめた調差を行っていることか ら、防衛後としてもれまなスケールソットの追求支が 排骨性の機は「別のできたとってあるが、引き機会等率 別に予算的できたとろうたあるが、引き機会等率	「新しい日本のための 優先課題推進枠」381	防衛装備庁 プロジェクト管理 部	一般会計	(項) 防能本体共通費 (大事項) 転換等機関等の運営に必要な経費 技術を機関性の運営に必要な経費 独立自動物の運営に必要な経費 海上自動物の運営に必要な経費 海上自動物の運営に必要な経費 新立自動物の運営に必要な経費	防衛省	- 0360 - 00			平成29年度対象
行政事業レビュ				3, 301, 139	3, 259, 515	3, 102, 843			一般会計	2, 923, 298	3, 026, 396	103, 098	<b>▲</b> 3, 453											
11000000	V3 NP																							
行政事業レビュー	一対象外 計			2, 338, 119					一般会計	2, 334, 142	2, 295, 855	▲38, 288												
合	ž†			5, 639, 258					一般会計	5, 257, 440	5, 322, 250	64, 810												
L																								

- 該当がない場合は「一」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

- 注1. 該当がない場合は「一」を配配し、負の数値を配載する場合は「4」を使用する。
  注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から総越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。
  注3. 「反映内容」個の「廃止」、「総減」、「執行等改書」、「年度内に改善を検討」、「予定遇り終了」、「現状通り」の考え方については、次のとおりである。
  「廃止」:平成31年度の点核の結果、事業を無止し平成32年度予算概算要表において予算要表を行わないもの(額等度接げ事業等は含まない。)
  「総減」:平成31年度の点核の結果、事業を無止し平成32年度予算概算要表において予算要表を行わないもの(額等度接げ事業等は含まない。)
  「総済」:平成31年度の点核の結果、更直上が行われ中名32年度予算概算要表ではで何らかの削減を行うものの(事業の見起しを行い、部分的に予算の縮減を行うものの、事業全体としては概算要表額が増加する場合も含む。)
  「執行等改善」:平成31年度の点核の結果、平成32年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの(概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を包含決済み」となるものに限る。)
  「年度内に改善を検討」:平成31年度の点核の結果、平成32年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、平成31年度末までに執行等の改善を検討しているもの(概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を包決定済み」となるものは含まない。)
  「予定送り終了」:新年度の点核の結果、平成32年度予算概算要表での金額に反映は行わないものの、平成31年度末までに執行等の改善を検討しているもの(概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を包急決定済み」となるものは含まない。)
  「現状通り」:平成31年度の点核の結果、平成32年度予算無算要表の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がいもの(廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの)